

浦和競馬場非常用発電機棟建築工事

- A-1000 建築図
- S-2000 建築構造図
- E-3000 電気設備図
- M-4000 空気調和設備図
- P-5000 給排水衛生設備図
- L-6000 外構図

1. 建築概要

工事名称	浦和競馬場非常用発電機棟建築工事	(申請部分)	(申請部分 当該建物以外)	(申請以外の部分)	(合計)
工事場所	埼玉県さいたま市南区大谷場一丁目8番42号	敷地面積	147,658.78 ㎡		
建築主住所氏名	埼玉県さいたま市南区大谷場一丁目8番42号 埼玉県浦和競馬組合	建築面積	267.18 ㎡	632.15 ㎡	9,591.15 ㎡
都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等	○さいたま都市計画区域内 (○市街化区域 ・ 市街化調整区域 ・ 区域区分非設定)	延べ面積(建築物全体)	267.18 ㎡	1220.86 ㎡	20,474.17 ㎡
用途地域	・ 準都市計画区域内 ・ 都市計画区域及び準都市計画区域外 ・ 第×種低層住居専用 ・ 第×種中高層住居専用	地階の住宅の部分	- ㎡	- ㎡	- ㎡
防火地域	○ 防火地域 ○ 準防火地域 ○ 指定なし	共同住宅の共用の廊下等の部分	- ㎡	- ㎡	- ㎡
法定容積率	200 %	昇降路の部分	- ㎡	11.30	61.99 ㎡
法定建ぺい率	60 %	自動車庫等の部分	- ㎡		134.58 ㎡
その他の区域、地域、地区又は街区	第1種住居エリア：高度地区(20m)、景観誘導区域、下水道処理区域 無指定エリア(過半)：都市計画公園(浦和記念公園)、景観誘導区域、下水道処理区域	住宅の部分	- ㎡	- ㎡	- ㎡
法的な技術対応		延べ面積(容積対象)	21,754.34 ㎡ (申請部分267.18㎡, 申請部分当該建築以外：1209.56㎡) (申請以外の部分：20,277.60㎡)		
主要用途	危険物の貯蔵又は処理に供するもの	容積率	14.74 %		
工事種別	・ 新築 ○ 増築 ・ 改築 ・ 移転 ・ 用途変更 ・ 大規模の修繕 ・ 大規模の模様替え	駐車台数	0 台 711 台 711 台		
主体構造	○ S造 ・ SRC造 ・ RC造 ・ W造	建築物の数	申請に係る建築物の数 5 同一敷地内の他の建築物の数 50		
階数	地上1階	最高の高さ	8.70 m (平均地盤面より)		
耐火・準耐火建築物	・ 耐火建築物 ・ 準耐火建築物 ○ その他	最高の軒の高さ	7.60 m (平均地盤面より)		
防火対象物の用途区分		平均地盤面の高さ	TP+11.65 m		
基礎地業	杭基礎	設計地盤面	TP+11.65 m (設計GLの高さ)		
主たる外部仕上		基準階	階高 - m 天井高 - m		
		面積	- ㎡		
工事着手予定年月日	令和4年 月 日	主なスパン	6.2×6.5 m		
	令和5年 月 日	基礎下端	1FL-1.9 m		
工事完了予定年月日	令和5年 月 日	その他	・ 客室数 - 室 ・ ベッド数 - 床 ・ 住戸数 - 戸 ・ 収容人数 - 人		
		特例の適用の有無	建築基準法第56条第7項の規定による特例の適用の有無 ・ 有 ○ 無		
		特例の区分	適用があるときは、特例の区分 ・ 道路高さ制限不適用 ・ 隣地高さ制限不適用 ・ 北側高さ制限不適用		
		許可・認定等			

2. 電気設備概要

電力	引込	方式	回数	KV
電源設備	変圧器	台	KVA	
	発電機	台	V	KVA
	蓄電池	セル	V	組
	C V C F	台	V	KVA
幹線	照明	単相	3 線式	210/105 V
	動力	三相	3 線式	210 V
負荷	設備容量	3.65	KW	
	基準部照明	300 Lux	光源種別	LED
監視制御	方式	○ 集中 ・ 個別 ・ 遠方 ・ 手元		
	引込	100 回線		
電話	中継方式			
	内線容量	回線	回線	回線
防災	発電機	1 台	6600 V	2000 KVA
	蓄電池	セル	V	組
	火災報知機	回線		
	非常照明	・ 電池別置 ○ 電池内蔵 ・ 発電機直入		
	非常放送	W ・ 専用 ・ 兼用		

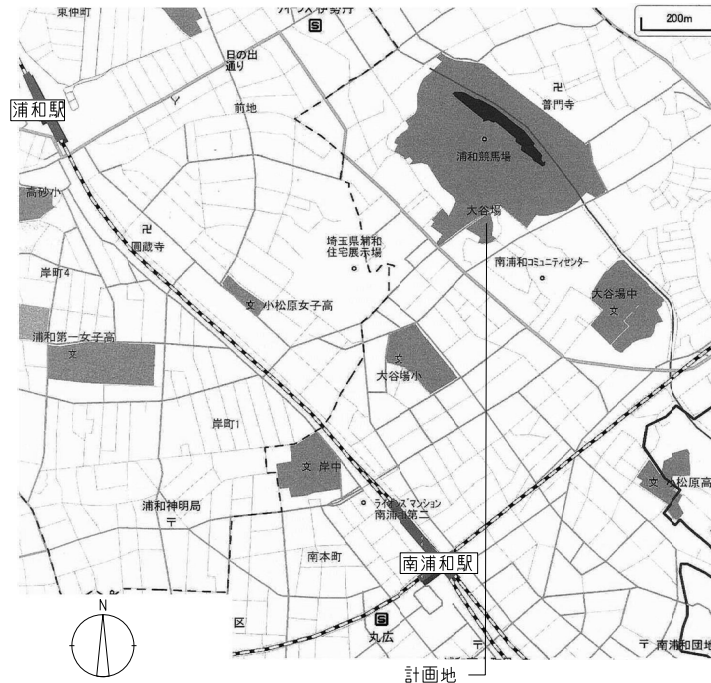
3. 空調設備概要

熱源	エネルギー	・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ・ 電気 ・ DHC (・ 高温水 ・ 蒸気 ・ 冷水) ・ 太陽熱 冷凍機 (・ ターボ台 ・ レシプロ式台 ・ 吸収式台 ・ スクリュー台)		
	装置	・ 直燃冷水機台 ・ ボイラー台 ・ 蓄熱槽 ㎡ ・ コレクター ㎡ ・ 空冷式パッケージ型空調機 (EHP)		
空調方式	総容量	冷熱源	KW	温熱源
	インテリア	・ 中央式	空冷パッケージ方式 (EHP)	
	ペリメーター	・ 個別式	空冷パッケージ方式 (EHP)	
制御	空調	・ 電気式 ・ 空気式 ・ 電子式		
	防煙ダンパー	・ 電気式 ・ 空気式		
換気	・ 中央式 (・ 1種 ・ 2種 ・ 3種)	○ 個別式 (○ 1種 ・ 2種 ・ 3種)		
排煙	方式	・ 自然排煙方式 ・ 機械排煙方式		
	制御	・ 電気式 ・ 空気式		

4. 給排水衛生設備概要

給水	水源	・ 上水 ・ 雑用水	引込口径	mm	・ 直結給水 ・ ポンプ圧送 ・ 重力給水
	受水槽	上水 ㎡ × 基			・ 雑用水 ㎡ × 基 (ピット利用)
給湯	高置水槽	上水 ㎡ × 基			・ 雑用水 ㎡ × 基
	・ 中央式 ・ 個別式	熱源 (・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ・ 電気 ・ 蒸気 ・ ソーラー)、貯湯槽 (㎡ × 基)			・ ソーラー)、貯湯式 ・ 瞬間式 ・ 循環式
排水	屋内排水	○ 合流 (○ 地上階 ・ 地下階)、・ 分流 (・ 地上階 ・ 地下階)、・ 再利用装置 (・ 有 ・ 無)			
	屋外排水	○ 下水道放流 (○ 汚水 ・ 雑用水 ○ 雨水)、・ 浄化槽 ()			
ガス	・ 都市ガス	引込口径 (中圧 mm) (低圧 mm)、発熱量 ()			
	・ プロパン	kg ポンプ 本立 組			
消火	・ 屋内消火栓 ・ 屋外消火栓	・ 連結送水管 ・ 連結散水 ・ スプリンクラー消火 ・ 粉末消火 ・ 泡消火			
	・ ハロゲン化物消火 ・ 炭酸ガス消火	・ 消防用水 (㎡) ・ 消防水利 (㎡)			

付近見取図



2章 仮設工事	6章 コンクリート工事	7章 鉄骨工事	8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事																																																												
<p>2.2節 縄張り、道方、足場その他</p> <p>●2.2.1 (付加) 敷地周辺の工事により影響の受ける可能性のある範囲及び項目について現地調査・測量（高低含）を行い、その結果を監督員に報告するとともに総合施工計画書に反映する。</p> <p>(付加) 現地調査結果を反映した「縄張り計画書（建物位置確認計画書）」を作成して監督員の承認を受ける。</p> <p>●2.2.4 足場 その他</p> <p>(2) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>(付加) (5)足場等はJIS規格の施工標準に基づくものとし、仮囲いの材料・外観・仕上などは下記とする。 ※ 監督員と協議する ・ 設置しない</p> <p>(付加) (6)騒音・振動計の設置 ※ 監督員と協議する ・ 設置しない</p> <p>(7)墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省 H30.6.22)による。 ・フルハーネス型落下制止用器具を用いる。</p>	<p>下記項目以外は構造特記仕様書による。</p> <p>6.2節 コンクリートの種類及び品質</p> <p>●6.2.5 コンクリートの仕上り</p> <p>(付加) (2)(7)(a)コンクリート打放し仕上げの種類は表6.2.4により、適用箇所は6.8.2による。</p> <table border="1" data-bbox="934 231 1469 462"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="2">コンクリートの内外装仕上げ</th> <th colspan="2">適用部位による仕上げの目安</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>平たんさ</th> <th>柱・梁・壁</th> <th>床</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ n種</td> <td>6.16.2</td> <td>6.16.2(7)による (3mにつき4mm以下)</td> <td>全て</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ a種</td> <td>コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び表面状態が必要な場合</td> <td>3mにつき7mm以下 (付加)フリーアークセーフフロア範囲は2mにつき6mm未満</td> <td>a種：塗装仕上げ、 壁紙張り、接着剤によるタイル張り</td> <td>a種：合成樹脂塗床、 ビニル系床材張り、 床コンクリート直均し仕上げ、フリーアークセーフフロア b種：防水下地</td> </tr> <tr> <td>○ b種</td> <td>仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合</td> <td>3mにつき10mm以下</td> <td>その他は、仕上げ材の指定する仕様による（仕上げ材張り、セメントモルタルによるタイル張り、モルタル塗りなど）</td> <td>その他は、仕上げ材の指定する仕様による（カーペット張り、セルフレベリング材塗り、タイル張り、モルタル塗り、二重床など）</td> </tr> <tr> <td>○ c種</td> <td>仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合</td> <td>1mにつき10mm以下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	コンクリートの内外装仕上げ		適用部位による仕上げの目安		種別	平たんさ	柱・梁・壁	床	・ n種	6.16.2	6.16.2(7)による (3mにつき4mm以下)	全て		◎ a種	コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び表面状態が必要な場合	3mにつき7mm以下 (付加)フリーアークセーフフロア範囲は2mにつき6mm未満	a種：塗装仕上げ、 壁紙張り、接着剤によるタイル張り	a種：合成樹脂塗床、 ビニル系床材張り、 床コンクリート直均し仕上げ、フリーアークセーフフロア b種：防水下地	○ b種	仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	その他は、仕上げ材の指定する仕様による（仕上げ材張り、セメントモルタルによるタイル張り、モルタル塗りなど）	その他は、仕上げ材の指定する仕様による（カーペット張り、セルフレベリング材塗り、タイル張り、モルタル塗り、二重床など）	○ c種	仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合	1mにつき10mm以下			<p>7.9節 耐火被覆</p> <p>●7.9.2 耐火被覆の種類及び性能</p> <p>※ 下記による。（建築基準法施行令第107条による仕様規定の場合） ・ 構造特記仕様書による。（建築基準法施行令第108条による耐火性能検証の場合）</p> <table border="1" data-bbox="1632 231 2166 462"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料・工法</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ラス張りモルタル塗り</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 耐火材吹付け</td> <td>◎ 半乾式吹付けロックウール ・ セラミック系耐火材吹付け ・ 石膏系耐火材吹付け ・ セラミック系耐火材こて押え</td> <td>柱、梁、間柱、中間梁(25mm)</td> </tr> <tr> <td>・ 耐火板張り</td> <td>・ けい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 耐火材巻付け</td> <td>◎ ロックウール巻付け (◎高張り ・ 直張り)</td> <td>外周部梁(20mm)</td> </tr> <tr> <td>・ 耐火塗料塗り</td> <td>・ 膨張型耐火シート巻付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄骨梁貫通部耐火被覆材</td> <td>・ 熱影響型薄型耐火被覆材 ・ 高性能耐火被覆材</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>耐火塗料塗りの仕上塗料の種類（ ・ 内外用 ・ 外外用 ） 耐火被覆の仕様は製造者の製品の大気認定仕様による。</p> <p>耐火被覆材の落下防止対策 (7)耐火被覆が必要な部位に締め目塗装を施す場合は、耐火被覆の接着性を阻害しない塗装材を選択すること。</p> <p>(1)半乾式ロックウールを使用する場合はスラリ吹き等発塵対策をすること。</p> <table border="1" data-bbox="1632 588 2166 693"> <thead> <tr> <th>性能</th> <th>部位・部分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 30分耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ 1時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 2時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 3時間耐火</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	材料・工法	部位	・ ラス張りモルタル塗り	—		○ 耐火材吹付け	◎ 半乾式吹付けロックウール ・ セラミック系耐火材吹付け ・ 石膏系耐火材吹付け ・ セラミック系耐火材こて押え	柱、梁、間柱、中間梁(25mm)	・ 耐火板張り	・ けい酸カルシウム板		○ 耐火材巻付け	◎ ロックウール巻付け (◎高張り ・ 直張り)	外周部梁(20mm)	・ 耐火塗料塗り	・ 膨張型耐火シート巻付け		・ 鉄骨梁貫通部耐火被覆材	・ 熱影響型薄型耐火被覆材 ・ 高性能耐火被覆材		性能	部位・部分	・ 30分耐火		◎ 1時間耐火		・ 2時間耐火		・ 3時間耐火		<p>8.1節 共通事項</p> <p>●8.1.1 一般事項 (付加) 8章のALC・押出成形セメント板は、31m以下の建物に適用する。31mを超える建物は、31m以下の部分を含め、全ての外装パネルに17章カーテンウォール工事の性能の内、耐風圧性能、層間変位追随性能、耐火性能、断熱性能、水密性能を適用する。</p> <p>○8.1.3 整穴区画・防護区画 (付加) 東京消防庁管轄の物件については、「乾式工法を用いた防火区画等における煙等の漏えい防止対策に係る指導基準」[21予字第11号]を適用する。</p>
種別	コンクリートの内外装仕上げ		適用部位による仕上げの目安																																																												
	種別	平たんさ	柱・梁・壁	床																																																											
・ n種	6.16.2	6.16.2(7)による (3mにつき4mm以下)	全て																																																												
◎ a種	コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び表面状態が必要な場合	3mにつき7mm以下 (付加)フリーアークセーフフロア範囲は2mにつき6mm未満	a種：塗装仕上げ、 壁紙張り、接着剤によるタイル張り	a種：合成樹脂塗床、 ビニル系床材張り、 床コンクリート直均し仕上げ、フリーアークセーフフロア b種：防水下地																																																											
○ b種	仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	その他は、仕上げ材の指定する仕様による（仕上げ材張り、セメントモルタルによるタイル張り、モルタル塗りなど）	その他は、仕上げ材の指定する仕様による（カーペット張り、セルフレベリング材塗り、タイル張り、モルタル塗り、二重床など）																																																											
○ c種	仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合	1mにつき10mm以下																																																													
種別	材料・工法	部位																																																													
・ ラス張りモルタル塗り	—																																																														
○ 耐火材吹付け	◎ 半乾式吹付けロックウール ・ セラミック系耐火材吹付け ・ 石膏系耐火材吹付け ・ セラミック系耐火材こて押え	柱、梁、間柱、中間梁(25mm)																																																													
・ 耐火板張り	・ けい酸カルシウム板																																																														
○ 耐火材巻付け	◎ ロックウール巻付け (◎高張り ・ 直張り)	外周部梁(20mm)																																																													
・ 耐火塗料塗り	・ 膨張型耐火シート巻付け																																																														
・ 鉄骨梁貫通部耐火被覆材	・ 熱影響型薄型耐火被覆材 ・ 高性能耐火被覆材																																																														
性能	部位・部分																																																														
・ 30分耐火																																																															
◎ 1時間耐火																																																															
・ 2時間耐火																																																															
・ 3時間耐火																																																															
<p>2.3節 仮設物</p> <p>●2.3.1(1.1.12) 監督員事務所等 (付加)</p> <p>(1) ◎ 設ける ・ 設けない</p> <p>監督員事務所の規模 種別（面積） ・ 1号（10㎡程度） ○ 2号（20㎡程度） ・ 3号（35㎡程度） ・ 4号（65㎡程度） ・ 5号（100㎡程度） ・ 他（ 程度）</p> <p>監督員事務所の仕上げ 床：ビニル床シート張り又はタイルカーペット敷き程度以上 内壁、天井：せつこうボード張りの上、合成樹脂エマルジョンペイント塗り程度以上 注）監督員事務所を敷地内外の借室を利用する場合も同規模・同仕上げ程度とする。</p> <p>(2)監督員事務所の設備・備品は監督員と協議するものとして下記を原則とする。 また、監督員事務所のレイアウトを提出し、監督員の承認を受ける。</p> <p>1 監理事務所は施設可能とし、3号以上は原則、専用区画とする。仕上げは上記程度とする。 2 電気、給排水、衛生、冷暖房の設備を設ける。 3 什器、備品は下記による。 机、椅子、書棚、見本棚、白板、図面かけ、ロッカー、掛け時計、消火器、ゴム長靴、雨がっぱ、安全ベルト、懐中電灯、電話 4 これらの諸設備を含む監督員事務所の維持管理および工事監理に必要な備品（監理関係図書を含む）の費用は工事費に含まれるものとする。</p> <p>(付加) (4)現場表示板 ○設置する（(1.1.12)による表示 ・ 要 ○不要） ・ 設置しない (付加) (5)工事用搬入経路 ○図示 (付加) (6)仮囲い ○図示 (付加) (7)交通誘導員 必要に応じて搬入経路付近に交通誘導員を配置する。 必要箇所 ・ 監督員の指示による ○図示 (付加) (8)快道トイレ ○設置しない</p> <p>●2.3.4 (付加) 構内既存の施設を工事に用い ※ 利用できない ・ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ） 工事に用い及び工事に用い 構内既存の施設を工事に用い ※ 利用できない ・ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ）</p>	<p>6.3節 コンクリートの材料及び調査</p> <p>●6.6.4 打雑ぎ (付加) (2)打雑ぎ面の目地の寸法 ※ 図示 ・ 20×20 ・</p> <p>6.8節 型枠</p> <p>●6.8.2 材料 (付加) (1)(2)コンクリート打放し仕上げの種類とせき板材料及び厚み</p> <table border="1" data-bbox="934 703 1469 808"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>合板の厚さ</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 6.16.2 化粧打放し仕上げ</td> <td></td> <td>6.16.2による</td> </tr> <tr> <td>◎ A種</td> <td>※ 12mm</td> <td>・ 15mm 外壁RC立ち上がり</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>※ 12mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>※ 12mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5)MCR工法の適用は、11.2.7「施工」の特記による。</p> <p>●6.9.6 (付加) 躯体の補修を行う場合は告示1372号に適合する材料であることを確認すること。</p> <p>●6.16.2 (付加) (1)目的 「標記6.2.5、構造体コンクリートの仕上り(2)コンクリートの仕上り状態、(7)コンクリートの仕上げ、(a)合板せき板を用いるコンクリート打放しの仕上げ」に規定されている表6.2.4のA種よりも良好な仕上がりとする。また合板以外の特殊なせき板を用いる場合も同様に良好な仕上がりであることを目的とする。</p> <p>(2)施工箇所 ※ 図示 ・</p> <p>(3)コンクリートの試験練と配合計画 コンクリートは生コン工場へ社とし、調査は試験練により決定する。決定された調査は変更しない。したがって、温度補正等も考慮の上調査計画すること。 このとき、単位水量は175kg/m以下、水セメント比は55%以下とする。</p> <p>(4)型枠 型枠材の種類 ※ 型枠用合板 ・ 本実板 ・ 鋼製型枠 ・ ゴム、プラスチック系型枠 型枠用合板の材料及び工法 型枠用合板の厚さ ・ 15mm ・ 12mm（支保工強度を確保し、15mm厚と同等の強度とする。） 型枠用合板は表面加工品（樹脂塗装合板）とする。やむをえず現場塗装を行う場合はウレタン系樹脂とする。 当型枠用合板は、新品を使用し化粧打放し仕上げ部分では転用しない。 型枠の寸法は900mm×1800mmを基本とし、割付によってそれを超える寸法に対応できる型枠とする。 型枠およびPコーン割付は、割付図を作成して監理者の承認を受ける。Pコーン割付は、縦横@450mmを基本とする。 側圧の検討を行い、適切な支保工強度を確保し施工計画書に反映させる。 型枠ジョイント部は、止水テープ等のノロ漏れ防止処置を行う。 入隅の本口はかんな掛けを行い、ウレタン塗装を行う。 水平・垂直の打ち雑ぎは打雑ぎ部詳細及び打雑ぎ計画図を作成し、監理者の承認を受ける。 鉄骨にセパレータ貫通孔を設ける場合は、鉄骨製作段階で最終割付を考慮して設ける。 開口回り等で型枠形状の特殊な部位は予め型枠計画図を作成し、監理者の承認を受ける。 建具など製作物関連との取合いが生じるものは、事前に製作寸法を確認できる計画とする。 設備機器の取付け方法についても設備業者と協議して計画を行う。 本実板の材料 樹種（ ） 寸法・板厚（ ） パネル寸法（ × ） 鋼製型枠の材料 材質（ ） 寸法・板厚（ ） パネル寸法（ × ） ゴム、プラスチック系型枠の材料 材質（ ） 寸法・板厚（ ） パネル寸法（ × ）</p> <p>(5)打設計画書 一日の打設数量、ポンプ車・作業員の配置および打設順序等を検討したコンクリート打設計画書を作成し、監理者の承認を受ける。</p> <p>(6)試験施工 基礎もしくは地下ピットなどで型枠の組み方、たたき方法、バイブレーターの方法、残木の入れ方、面木材質、釘処理、ノロ防止、設備機器打込み方およびコンクリート表面状態を検討するため試験施工を実施し、打設計画書に反映させること。</p> <p>(7)コンクリートの仕上がり精度 コンクリートの平たんさは、3mにつき4mm以下とする。</p> <p>(8)養生計画書 打設後の表面の汚れを防止するための方策を検討して養生計画書を作成し、監理者の承認を受ける。</p> <p>(9)打放し化粧仕上げ面の補修 打放し化粧仕上面の補修範囲および補修方法は監理者の承認を受ける。 補修方法は表面仕上材と整合していること。</p> <p>(10)表面仕上げ材の塗装試験 ※ 行う ・ 行わない (11)モックアップ ※ 行う（大きさW _____ mm×H _____ mm程度） ・ 行わない</p>	種別	合板の厚さ	施工箇所	・ 6.16.2 化粧打放し仕上げ		6.16.2による	◎ A種	※ 12mm	・ 15mm 外壁RC立ち上がり	・ B種	※ 12mm		・ C種	※ 12mm		<p>8.2節 補強コンクリートブロック造</p> <p>○8.2.2 材料 (1)種類及び厚さ 断面形状による区分 ※ 空洞ブロック ・ 型枠形状ブロック 外部形状による区分 ※ 基本形ブロック ・ 異形ブロック 寸法精度による区分 ※ 標準精度ブロック ・ 高精度ブロック 圧縮強さによる区分 ※ 16(C種) ・ 08(A種) ・ 12(B種) 透水性による区分 ※ 普通ブロック ・ 防水性ブロック 化粧の有無による区分 ※ 無 ・ 有</p> <p>○8.2.4 コンクリートの調査 (2)充填以外のコンクリートの設計基準強度 ※ F c 21N/mm² ・</p> <p>○8.2.5 鉄筋の加工及び組立 (2)各部の配筋 ※ 日本建築学会「壁式構造配筋指針・同解説」による ・ 図示による</p> <p>8.3節 コンクリートブロック張壁及び脚</p> <p>○8.3.2 材料 (1)ブロックの種類及び施工箇所は表 8-3-1 及び下表による</p> <table border="1" data-bbox="2329 724 2878 787"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>圧縮強さ</th> <th>透水性</th> <th>化粧</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地流し</td> <td>16 (C種)</td> <td>防水性ブロック</td> <td>無</td> <td>150mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>○8.3.4 鉄筋の加工及び組立 (1)(1)壁鉄筋の継手、定着及び未端部の折り曲げ形状 ※ 図示 (2)各部の配筋 ※ 構造図「標準配筋要領図」及び日本建築学会「壁式構造配筋指針・同解説」による ・ 図示による</p>	施工箇所	圧縮強さ	透水性	化粧	厚さ	地流し	16 (C種)	防水性ブロック	無	150mm	<p>8.4節 ALCパネル</p> <p>●8.4.2 材料 (1)区分・種類・厚さ及び取付け工法</p> <table border="1" data-bbox="2329 1039 2878 1186"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>厚さ・長さ</th> <th>耐火性能</th> <th>取付け工法（種別）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外壁</td> <td>※ 図示</td> <td></td> <td>※ A種（縦壁ロック工法） ・ B種（横壁アンカー工法）</td> </tr> <tr> <td>内仕切壁</td> <td>※ 図示</td> <td></td> <td>※ C種（縦壁ロック工法） ・ D種（横壁アンカー工法） ・ E種（縦壁フットプレート工法）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)取付け完了後の欠け、傷等がある場合は、監理者と協議のうえ、補修用モルタルを用いて補修する。</p> <p>(7)入隅・出隅の伸縮目地幅 ※ 想定変位量による ・ (8)耐火目地材 ※ アルカリアースシリケートウール（JIS A 9504同等以上） ・ JIS A 9504製品 場所（ ）</p> <p>EVシャフトやガス消火設備がある室は風圧力を考慮しパネル・取付け金物・工法を適定し、気密のためシールを行う</p> <p>●8.4.8 耐震性能 (付加) 縦性能に対する安全性能は下記とする。 設計用震度 kh=1.0、kv=（ ※ 1.0 ・ 0.5 ） パネルおよび取付け金物の強度が短期許容応力度内にあり、パネルの破損や脱落、取付け金物の有害な残留ひずみがないものとする。 層間変位追随性能は下記とする。 補修の必要無しに継続使用できる限界 ※ ±H/300 ・ ※ ±H/200 ・ ※ ±H/100 ・ ±H/150 構造物が鉄骨造の場合層間変位±H/100に対してパネルの脱落が無いものとする</p> <p>○8.4.9 耐風圧性能 (付加) 設計風圧は、風洞実験を行っている場合は実験結果による。風洞実験をしていない場合は建築基準法施行令第82条の5、同第97条、告示第1454号・1458号により算定する（高さ13m以下も適用する）。 地表面粗度区分（ ・ I ・ II ・ III ・ IV ） 再現期間（ ※ 100年 ・ 50年 ） [ガラス協会の再現関係図] 上記による最大耐風圧（正圧 Pa、負圧 Pa）</p>	区分	厚さ・長さ	耐火性能	取付け工法（種別）	外壁	※ 図示		※ A種（縦壁ロック工法） ・ B種（横壁アンカー工法）	内仕切壁	※ 図示		※ C種（縦壁ロック工法） ・ D種（横壁アンカー工法） ・ E種（縦壁フットプレート工法）																							
種別	合板の厚さ	施工箇所																																																													
・ 6.16.2 化粧打放し仕上げ		6.16.2による																																																													
◎ A種	※ 12mm	・ 15mm 外壁RC立ち上がり																																																													
・ B種	※ 12mm																																																														
・ C種	※ 12mm																																																														
施工箇所	圧縮強さ	透水性	化粧	厚さ																																																											
地流し	16 (C種)	防水性ブロック	無	150mm																																																											
区分	厚さ・長さ	耐火性能	取付け工法（種別）																																																												
外壁	※ 図示		※ A種（縦壁ロック工法） ・ B種（横壁アンカー工法）																																																												
内仕切壁	※ 図示		※ C種（縦壁ロック工法） ・ D種（横壁アンカー工法） ・ E種（縦壁フットプレート工法）																																																												
3章 土工事																																																															
<p>3.2節 根切り及び埋戻し</p> <p>●3.2.1 根切り (付加) (8)のり面に崩壊のおそれのある場合は工事に支障をきたさないように処置する。</p> <p>●3.2.2 排水 (付加) (4)排水による周辺環境への有害な影響を防止すること</p> <p>●3.2.3 埋戻し及び盛土 (2) ◎ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ○ 搬入土の場合は土壌汚染対策法の特定有害物質について調査を行ない、同法に定める含有物質濃度に適合したものとします。</p> <p>●3.2.5 建設発生土の処理 ・ 説明書による ※ 構外搬出適切処理 ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷きならし</p>																																																															
<p>3.3節 山留め</p> <p>●3.3.3 山留めの撤去 山留めの存置 ○ 撤去する ・ 存置する（施工箇所 検体汚洗場部分（ ）） ただし本設工事に影響する範囲は撤去する。 また存置する場合は、存置図を作成し完成図に記載する。</p>																																																															
4章 地業工事	構造特記仕様書による。																																																														
5章 鉄筋工事	構造特記仕様書による。																																																														

 <p>株式会社 日本設計</p>		<p>特記</p>	<p>埼玉県浦和競馬組合</p> <p>課長 飛塚 石井 阿相 矢島 阿相</p>	<p>設計 1 級建築士登録第 322998号 平塚 智 設計 1 級建築士登録第 355122号 齋藤 晋佑 設計 1 級建築士登録第 213138号 熊坂 寛</p>	<p>浦和競馬場非常用発電機棟建築工事</p>	<p>図面名称 特記仕様書(3)</p> <p>縮尺 no-scale</p>	<p>TOK_H1HATU.dwg</p> <p>図面番号 A-1005</p> <p>区分 建築図</p>
---	--	-----------	---	---	-------------------------	---	--

8.5節 押出成形セメント板 (BCP)	
○8.5.2 材料	(1)種類・厚さ及び取付け工法
○8.5.3 外壁パネル工法	施工箇所 種類 厚さ 幅 取付け工法 耐火性能
○8.5.4 間仕切り壁工法	外壁 ※フラットパネル 50・60・75 600 ※A種・B種 有・無 ・デザインパネル(図示) 100 900 ・嵌合型タイル支持用パネル(図示) ・ ・レール型タイル支持用パネル(図示) ・ ・高層3階以上仕様の ※ 80・100 図示 間仕切 ※フラットパネル 50・60・75 600 B種 有 ※ 100 900 C種 無 屋上目隠しパネルに使用する場合、およびルーバーには脱落防止対策品を使用すること(ワイヤー入り) 外壁パネルの仕上げ ※工場塗装(製造所の仕様による) ・ 現場塗装(塗装の種類:) (置換) (3)外気に接する取付け金物及び下地金物の仕上げは、溶融亜鉛めっきB種とする。 内部の下部鋼材及び開口補地鋼材 ※8.4.2(3)(イ)の補止め塗装2回塗り(A種またはB種) 内部の取付け金物 ※電気めっきF種・溶融亜鉛めっきB種 (4)パネル幅の最小限度 ※ 300mm ・ その他() (6)パネル相互の目地幅 長辺目地 ※ 8mm以上 ・ 製造所の仕様 () 短辺目地 ※ 15mm以上 ・ 製造所の仕様 () (7)出隅・入隅のパネル接合目地 伸縮調整目地 ※ 25mm ・ 15mm (9)耐火性能 ・ 30分耐火(箇所) () ・ 1時間耐火(箇所) () ・ 2時間耐火(箇所) () EVシャフトやガス消火設備がある室は風圧力を考慮しパネル・取付け金物・工法を選定し、気密のためシールを行う ○8.5.5 溝廻り及び開口部の処置 ○8.5.6 耐震性能 (付加) 慣性力に対する安全性能は下記とする。 設計慣性力 $K_h=1.0$ 、 $K_v=$ (※ 1.0 ・ 0.5) パネルおよび取り付け金物の強度が短期許容応力度内にあり、パネルの破損や脱落、取付け金物の有害な残留ひずみがないものとする。 層間変位追従性能は下記とする。 補修の必要無しに継続使用できる限界 ※ ±H/300 ※ ±H/200 ※ ±H/100 ※ ±H/150 部材に破損、脱落、有害な残留変形が起らず不定形「リ」材の補修のみで継続使用できる限界 部材に破損、脱落を生じない限界 ※ ±H/100 に対してパネルの脱落が無いものとする ○8.5.7 耐風圧性能 (付加) 設計風圧は、風洞実験を行っている場合は実験結果による。風洞実験をしていない場合は建築基準法施行令第82条の5、同第87条、告示第1454号・1458号により算定する(高さ13m以下も適用する)。 地表面粗度区分 (・ I ・ II ⊕ III ・ IV) 再現期間 (※ 100年 ・ 50年) [ガラス協会の再現期間係数] 上記による最大耐風圧(正圧 1872 Pa、負圧 1201 Pa) ○8.5.8 水密性能 (付加) ※二次防水工法 ・ 一次防水工法 一次シーリングと二次シーリングとの間に排水経路を作り、浸入水がパネル最下部で外部に排水できるようにする。

9章 防水工事																																																																																																																							
9.1節 共通事項																																																																																																																							
●9.1.3 施工一般 (付加)	(4)防水の地下となるコンクリート面の含水率は8%以下とする。防水施工に先立ち含水率を測定し、監理者に報告をする。 (付加) (5)水雲試験 ・実施する 実施箇所(・ ドレン回り ・) 試験時間(・ 24時間 ・) ・実施しない																																																																																																																						
9.2節 アスファルト防水																																																																																																																							
●9.2.2 材料	(6)押え金物の材質、寸法 ※ アルミニウム製 L=30×15×2.0 (8)(9)断熱工法の断熱材の材質 ※ 標仕の特記無き場合の記述による 厚さ(mm) ※ 35 図示 (10)絶縁用シート 屋根保護防水工法 ※ ポリエチレンフィルム 厚さ0.15ミリ以上 屋根保護防水断熱工法 ※ フラットヤークロス (14)立ち上がり部分の乾式保護材 ※ 適用する(※ 押出し成形セメント板厚さ15mm ・) ・ 適用しない (削除) (15)立ち上がり部分の保護のれんが (付加) (18)TBI-1、TBI-2、KBI-1、KTBI-1、KTBI-2、の使用材の材質 ルーフイング 粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 改質アスファルトルーフィングシート (JIS A6013 非露出防水用R種II類) ストレッチルーフィング (JIS A6022 ストレッチルーフィング1000) (付加) (19)仕上塗料 (・ 有(種類:)) ⊕ 無 (付加) (20)寒冷地における保護コンクリート上の塗膜防水(X-1) ・ 適用する ⊕ 適用しない																																																																																																																						
●9.2.3 防水層の種類、種別および工法	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋根保護防水</td> <td>・ A-1 ・ A-2 ・ A-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B-1 ・ B-2 ・ B-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3 ※ B1-1 ・ B1-2 ・ B1-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋根露出防水</td> <td>・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 ・ DI-1 ・ DI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋内防水</td> <td>※ E-1 ・ E-2 ・ KE-1 ・ KE-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高耐久性防水</td> <td>・ TBI-1 ⊕ KBI-1 ・ KTBI-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>環境対応型防水</td> <td>⊕ KBI-1 ・ KTBI-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高耐久性防水</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (4)屋根露出防水絶縁工法、(8)屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類および設置数量 ・ 設置する ・ 設置しない (設置:1箇所/50㎡) (4)屋内防水密着工法の保護層を設け、種類は図示による。 (付加) (9)環境対応型高耐久アスファルト防水(屋根保護防水絶縁断熱工法) KTB-1(60年目標) <table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>材料・工法</th> <th>使用量kg/㎡</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>アスファルトプライマー塗り</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>粘着層付改質アスファルトルーフィングシート</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>低煙・低臭アスファルト塗り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>低煙・低臭アスファルト塗り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>断熱材張付け</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>絶縁用シート</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>保護コンクリート</td> <td>—</td> </tr> </table> KTB-1は、KTB-1の工程8.断熱材を抜いた工法とする。 立ち上り部は、断熱材及び絶縁シートを省略する。 立ち上り部における保護コンクリートの適用及び工法は、図示による。 保護コンクリートには、溶接金剛を敷き込む。 (付加) (9)高耐久アスファルト防水(屋根保護防水絶縁断熱工法) TBI-1(60年目標) <table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>材料・工法</th> <th>使用量kg/㎡</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>アスファルトプライマー塗り</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>粘着層付改質アスファルトルーフィングシート</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>改質アスファルトルーフィングシートアスファルト流し張り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>改質アスファルトルーフィングシートアスファルト流し張り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>改質アスファルトルーフィングシートアスファルト流し張り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>アスファルト塗り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>アスファルト塗り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>断熱材張付け</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>絶縁用シート</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>保護コンクリート</td> <td>—</td> </tr> </table> TBI-1は、TBI-1の工程8.断熱材を抜いた工法とする。 立ち上り部は、断熱材及び絶縁シートを省略する。 立ち上り部における保護コンクリートの適用及び工法は、図示による。 保護コンクリートには、溶接金剛を敷き込む。 (付加) (9)環境対応型アスファルト防水 屋根保護防水絶縁断熱工法(冷熱併用) KBI-1 <table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>材料・工法</th> <th>使用量kg/㎡</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>アスファルトプライマー塗り</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>粘着層付改質アスファルトルーフィングシート</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>低煙・低臭アスファルト塗り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>低煙・低臭アスファルト塗り</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>断熱材張付け</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>絶縁用シート</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>保護コンクリート</td> <td>—</td> </tr> </table> ※ KBI-1は、KBI-1の工程6.断熱材を抜いた工法とする。	種類	種別	施工箇所	屋根保護防水	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3		・ B-1 ・ B-2 ・ B-3		・ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3 ※ B1-1 ・ B1-2 ・ B1-3		屋根露出防水	・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 ・ DI-1 ・ DI-2		屋内防水	※ E-1 ・ E-2 ・ KE-1 ・ KE-2		高耐久性防水	・ TBI-1 ⊕ KBI-1 ・ KTBI-1		環境対応型防水	⊕ KBI-1 ・ KTBI-1		高耐久性防水			工程	材料・工法	使用量kg/㎡	1	アスファルトプライマー塗り	0.2	2	粘着層付改質アスファルトルーフィングシート	—	3	改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り	1.0	4	改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り	1.0	5	改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り	1.0	6	低煙・低臭アスファルト塗り	1.0	7	低煙・低臭アスファルト塗り	1.0	8	断熱材張付け	—	9	絶縁用シート	—	10	保護コンクリート	—	工程	材料・工法	使用量kg/㎡	1	アスファルトプライマー塗り	0.2	2	粘着層付改質アスファルトルーフィングシート	—	3	改質アスファルトルーフィングシートアスファルト流し張り	1.0	4	改質アスファルトルーフィングシートアスファルト流し張り	1.0	5	改質アスファルトルーフィングシートアスファルト流し張り	1.0	6	アスファルト塗り	1.0	7	アスファルト塗り	1.0	8	断熱材張付け	—	9	絶縁用シート	—	10	保護コンクリート	—	工程	材料・工法	使用量kg/㎡	1	アスファルトプライマー塗り	0.2	2	粘着層付改質アスファルトルーフィングシート	—	3	改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り	1.0	4	低煙・低臭アスファルト塗り	1.0	5	低煙・低臭アスファルト塗り	1.0	6	断熱材張付け	—	7	絶縁用シート	—	8	保護コンクリート	—
種類	種別	施工箇所																																																																																																																					
屋根保護防水	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3																																																																																																																						
	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3																																																																																																																						
	・ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3 ※ B1-1 ・ B1-2 ・ B1-3																																																																																																																						
屋根露出防水	・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 ・ DI-1 ・ DI-2																																																																																																																						
屋内防水	※ E-1 ・ E-2 ・ KE-1 ・ KE-2																																																																																																																						
高耐久性防水	・ TBI-1 ⊕ KBI-1 ・ KTBI-1																																																																																																																						
環境対応型防水	⊕ KBI-1 ・ KTBI-1																																																																																																																						
高耐久性防水																																																																																																																							
工程	材料・工法	使用量kg/㎡																																																																																																																					
1	アスファルトプライマー塗り	0.2																																																																																																																					
2	粘着層付改質アスファルトルーフィングシート	—																																																																																																																					
3	改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り	1.0																																																																																																																					
4	改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り	1.0																																																																																																																					
5	改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り	1.0																																																																																																																					
6	低煙・低臭アスファルト塗り	1.0																																																																																																																					
7	低煙・低臭アスファルト塗り	1.0																																																																																																																					
8	断熱材張付け	—																																																																																																																					
9	絶縁用シート	—																																																																																																																					
10	保護コンクリート	—																																																																																																																					
工程	材料・工法	使用量kg/㎡																																																																																																																					
1	アスファルトプライマー塗り	0.2																																																																																																																					
2	粘着層付改質アスファルトルーフィングシート	—																																																																																																																					
3	改質アスファルトルーフィングシートアスファルト流し張り	1.0																																																																																																																					
4	改質アスファルトルーフィングシートアスファルト流し張り	1.0																																																																																																																					
5	改質アスファルトルーフィングシートアスファルト流し張り	1.0																																																																																																																					
6	アスファルト塗り	1.0																																																																																																																					
7	アスファルト塗り	1.0																																																																																																																					
8	断熱材張付け	—																																																																																																																					
9	絶縁用シート	—																																																																																																																					
10	保護コンクリート	—																																																																																																																					
工程	材料・工法	使用量kg/㎡																																																																																																																					
1	アスファルトプライマー塗り	0.2																																																																																																																					
2	粘着層付改質アスファルトルーフィングシート	—																																																																																																																					
3	改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り	1.0																																																																																																																					
4	低煙・低臭アスファルト塗り	1.0																																																																																																																					
5	低煙・低臭アスファルト塗り	1.0																																																																																																																					
6	断熱材張付け	—																																																																																																																					
7	絶縁用シート	—																																																																																																																					
8	保護コンクリート	—																																																																																																																					

9.3節 改質アスファルトシート防水																			
○9.3.2 材料	(1)改質アスファルトシートの種類および厚さ ※ 標仕の特記無き場合の記述による (3)断熱工法の断熱材の材質 ※ 硬質ウレタン保温板																		
○9.3.3 防水層の種類、種別および工法	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料塗りの種類</th> </tr> <tr> <td>・ AS-T3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-T4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-J1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-J-T1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-J-J1</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	施工箇所	仕上塗料塗りの種類	・ AS-T3			・ AS-T4			・ AS-J1			・ AS-J-T1			・ AS-J-J1		
種別	施工箇所	仕上塗料塗りの種類																	
・ AS-T3																			
・ AS-T4																			
・ AS-J1																			
・ AS-J-T1																			
・ AS-J-J1																			
9.4節 合成高分子系ルーフィングシート防水																			
○9.4.2 材料	(1)ルーフィングシートの種類 () 工法 種別 材 料 施 工 箇 所 仕上塗料塗りの種類 ・ 接着工法 ・ S-F2 ※ 2.0mm ・ 屋上立上り屋根 ・ グレー ・ カラー ※ S1-F2 ※ 2.0mm ・ ・ グレー ・ カラー ・ S-C1 ※ 1.0mm ・ ・ ・ 機械的 ・ S-M2 ※ 1.5mm ・ ・ グレー ・ カラー 固定方法 ※ S1-M2 ※ 1.5mm ・ ・ グレー ・ カラー ・ S-C1のモルタル塗り厚さ ※ 図示 (2)絶縁シート ※ 発泡ポリエチレンシート (3)(イ)断熱工法の断熱材の材質 ※ 標仕の特記無き場合の記述による																		
○9.4.4 施工	(4)(イ)PCコンクリート部材・ALC下地の目地処理 ※ 絶縁テープ幅100程度 (5)(イ)PCコンクリート部材・ALCの増張り () (6)(イ)建築基準法施行令第82条の5、同第87条、告示第1454号・1458号により算定する(高さ13m以下も適用する)。 地表面粗度区分(・ I ・ II ・ III ・ IV) 再現期間 (・ 50年 ※ 100年 ・ 年)																		

9.5節 塗膜防水																			
○9.5.3 防水層の種類及び工法	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料塗りの種類</th> </tr> <tr> <td>・ X-1</td> <td></td> <td>・ グレー</td> </tr> <tr> <td>・ X-2</td> <td></td> <td>・ カラー</td> </tr> <tr> <td>・ Y-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ Y-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (付加) 仕上塗料の種類 ※ ウレタン樹脂塗料 ・ アクリルシリコン樹脂塗料 ・ 珪藻土樹脂塗料 ・ (1)(イ)X-1において脱気装置の種類及び設置数量 ・ 設置する ・ 設置しない (設置:1箇所/50㎡) (2)(イ)Y-2において保護層の適用 ※ 設ける	種別	施工箇所	仕上塗料塗りの種類	・ X-1		・ グレー	・ X-2		・ カラー	・ Y-1			・ Y-2			・		
種別	施工箇所	仕上塗料塗りの種類																	
・ X-1		・ グレー																	
・ X-2		・ カラー																	
・ Y-1																			
・ Y-2																			
・																			
9.6節 ケイ酸系塗布防水																			
○9.6.1 適用範囲	(2)・地下構造物 ・ 外壁 ・ 床 水櫃ピットへの適用は9.9.11による																		
○9.6.3 防水層の種類及び工法	※ C-U1 ・ C-UP																		
○9.6.4 施工	(2)(-)標仕以外の地下処理 ※ 製造所の仕様による																		
9.7節 シーリング																			
●9.7.2 材料	(2)下記以外は、表9.7.11による。 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	シーリング材の種類(記号)																
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																		
●9.7.3 目地寸法	(1)目地寸法 コンクリートの打継目地及びひび割れ誘発目地 ※ 幅20ミリ以上深さ10ミリ以上 ガラス回りの目地 ※ 幅・深さ5ミリ以上(表16.13.1を除き) ・ 上記以外 ※ 幅・深さ10ミリ以上 ・																		
(付加)	(3)目地幅、目地深さの算定 ※ 17章カーテンウォール工事に該当するものは温度ムーブメント計算、層間変位計算等を行い、寸法を決定する ・ 外装に関わる部分のシール幅の計算書を提出する																		
●9.7.5 シーリング材の試験	(2)接着性試験(実施箇所) () ※ 簡易接着性試験(但し、カーテンウォール工事の場合は17章による) ・ 引張接着性試験 ・ 散水試験(実施箇所) () (付加)																		
9.8節 セメント系防水 (付加)																			
○9.8.2 材料	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ ポリマーセメント系塗膜防水(PB-1)</td> <td>9.9.1で指定する水櫃、地下二重壁排水溝内部</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> 防水材はJIS A 1404またはJASS8に適合するものとする。 防水材の調査および塗り厚さ等は防水材製造所の仕様による。 ポリマーセメント系塗膜防水は日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針・同解説」による。	種別	施工箇所	・ ポリマーセメント系塗膜防水(PB-1)	9.9.1で指定する水櫃、地下二重壁排水溝内部	・		・											
種別	施工箇所																		
・ ポリマーセメント系塗膜防水(PB-1)	9.9.1で指定する水櫃、地下二重壁排水溝内部																		
・																			
・																			

8.6節 薄物押出成形セメント板 (BCP) (付加)																
○8.6.1 材料	種類・厚さ 厚さ35mm以下の薄物パネル <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>・ 外部</td> <td>※ フラットパネル</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁</td> <td>※ フラットパネル</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 仕上材</td> <td>※ フラットパネル ・ 意匠パネル ()</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 地下二重壁</td> <td>※ フラットパネル</td> <td>※ 15</td> </tr> </table> 防水立上り部分の乾式保護材への適用は 9.2.2(14) による。	施工箇所	表面形状	厚さ	・ 外部	※ フラットパネル	・	・ 間仕切壁	※ フラットパネル	・	・ 仕上材	※ フラットパネル ・ 意匠パネル ()	・	・ 地下二重壁	※ フラットパネル	※ 15
施工箇所	表面形状	厚さ														
・ 外部	※ フラットパネル	・														
・ 間仕切壁	※ フラットパネル	・														
・ 仕上材	※ フラットパネル ・ 意匠パネル ()	・														
・ 地下二重壁	※ フラットパネル	※ 15														

9.9節 改質アスファルトルーフィングシート防水																			
○9.9.2 材料	(1)改質アスファルトルーフィングシートの種類および厚さ ※ 標仕の特記無き場合の記述による (3)断熱工法の断熱材の材質 ※ 硬質ウレタン保温板																		
○9.9.3 防水層の種類、種別および工法	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料塗りの種類</th> </tr> <tr> <td>・ AS-T3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-T4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-J1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-J-T1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-J-J1</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	施工箇所	仕上塗料塗りの種類	・ AS-T3			・ AS-T4			・ AS-J1			・ AS-J-T1			・ AS-J-J1		
種別	施工箇所	仕上塗料塗りの種類																	
・ AS-T3																			
・ AS-T4																			
・ AS-J1																			
・ AS-J-T1																			
・ AS-J-J1																			
9.10節 合成高分子系ルーフィングシート防水																			
○9.10.2 材料	(1)ルーフィングシートの種類 () 工法 種別 材 料 施 工 箇 所 仕上塗料塗りの種類 ・ 接着工法 ・ S-F2 ※ 2.0mm ・ 屋上立上り屋根 ・ グレー ・ カラー ※ S1-F2 ※ 2.0mm ・ ・ グレー ・ カラー ・ S-C1 ※ 1.0mm ・ ・ ・ 機械的 ・ S-M2 ※ 1.5mm ・ ・ グレー ・ カラー 固定方法 ※ S1-M2 ※ 1.5mm ・ ・ グレー ・ カラー ・ S-C1のモルタル塗り厚さ ※ 図示 (2)絶縁シート ※ 発泡ポリエチレンシート (3)(イ)断熱工法の断熱材の材質 ※ 標仕の特記無き場合の記述による																		
○9.10.4 施工	(4)(イ)PCコンクリート部材・ALC下地の目地処理 ※ 絶縁テープ幅100程度 (5)(イ)PCコンクリート部材・ALCの増張り () (6)(イ)建築基準法施行令第82条の5、同第87条、告示第1454号・1458号により算定する(高さ13m以下も適用する)。 地表面粗度区分(・ I ・ II ・ III ・ IV) 再現期間 (・ 50年 ※ 100年 ・ 年)																		

9.9節 その他の防水処理 (付加)	<p>●9.9.1 水槽内部の仕上げ</p> <p>内装仕様(床、壁、天井等)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">日本下水道事業団仕様に よる種別</th> <th colspan="4">防食仕様</th> <th rowspan="2">防水仕様</th> <th rowspan="2">断熱 防水仕様</th> </tr> <tr> <th>D種</th> <th>C種</th> <th>B種</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>材料名 硬化後 厚さ(mm)</td> <td>ビニルエステル樹脂ガラスマット2プライ 塗布4回以上</td> <td>ポリウレタン樹脂 塗布1回以上</td> <td>エポキシ樹脂ガラスクロス 塗布2回以上</td> <td>ポリウレタン樹脂 塗布1回以上</td> <td>エポキシ樹脂 塗布2回以上</td> <td>エポキシ樹脂 塗布3回以上</td> </tr> <tr> <td>・厨房排水槽</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・汚水槽</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・雑排水槽</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・中水槽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>・工業用排水槽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・消火水槽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>・雨水利用槽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>・雨水貯留槽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>・自家冷却排水槽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>・補給水槽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>・エレベーターピット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>・駐車場排水槽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>○汚水槽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>・蓄熱槽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table> <p>ビニルエステル樹脂ガラスマット2プライ(D種)へのサーフィスマット1プライの施工 ※ 適用する ・ 適用しない</p> <p>日本下水道事業団の腐食環境条件による分類</p> <p>D種 年間平均酸化水素(H2S)ガス濃度が50ppm以上で、硫酸によるコンクリート腐食が極度に 見られる腐食環境</p> <p>C種 年間平均酸化水素(H2S)ガス濃度が10~50ppmで、硫酸によるコンクリート腐食が顕著に 見られる腐食環境</p> <p>B種 年間平均酸化水素(H2S)ガス濃度が10ppm未満で、硫酸によるコンクリート腐食が顕著に 見られる腐食環境</p> <p>●9.9.2 その他の防水処理</p> <p>外壁などの防水処理</p> <p>(7)土に接する外壁、耐圧盤で、全面に防水層を施工しない場合は次の処理を行う。</p> <p>1)型わく緊要材には止水セパレータを使用する。</p> <p>2)ひび割れのある箇所は、下記イ・ロの処理をする</p> <p>イ、ひび割れの幅が0.2mm未満の場合は、ゴムアスファルト系塗膜防水処理(表9.5.2 Y-Iによる)をする。</p> <p>ロ、ひび割れの幅が0.2mm以上の場合は、ひび割れ部にエポキシ樹脂注入(改修仕様4.3.4)を行う。</p> <p>3)不良部分については、補修方法を書類として提出し、監理者の承認を受ける。</p> <p>(イ)防水のない外部床と外壁の打継部は、塗膜防水を入隅から床と外壁にそれぞれ300mm施す。 施工箇所(※ 図示)</p> <p>(ロ)地下外壁及び耐圧板等の打継部および地下外壁の貫通部には、適切な方法により防水処理を行うこと。</p> <p>(カ)地下外壁防水(ゴムアスファルト系防水の場合は9.5.2による。) ・改質アスファルト系防水 ・ゴムアスファルト系防水(Y-I)</p> <p>内部水回りの防水処理</p> <p>水回りの配管等が防水層を施工しておらず、隣接するEPS等に対して漏水の被害が予想される場合、区画部に立ち上がりを取り付け、防水層を施工すること。 施工箇所(※ 図示)</p>	日本下水道事業団仕様に よる種別	防食仕様				防水仕様	断熱 防水仕様	D種	C種	B種	その他	材料名 硬化後 厚さ(mm)	ビニルエステル樹脂ガラスマット2プライ 塗布4回以上	ポリウレタン樹脂 塗布1回以上	エポキシ樹脂ガラスクロス 塗布2回以上	ポリウレタン樹脂 塗布1回以上	エポキシ樹脂 塗布2回以上	エポキシ樹脂 塗布3回以上	・厨房排水槽	※	・	・	・	・	・	・汚水槽	※	・	・	・	・	・	・雑排水槽	※	・	・	・	・	・	・中水槽						※	・工業用排水槽						・	・消火水槽						※	・雨水利用槽						※	・雨水貯留槽						※	・自家冷却排水槽						※	・補給水槽						※	・エレベーターピット						※	・駐車場排水槽						※	○汚水槽						※	・蓄熱槽						・
日本下水道事業団仕様に よる種別	防食仕様				防水仕様	断熱 防水仕様																																																																																																															
	D種	C種	B種	その他																																																																																																																	
材料名 硬化後 厚さ(mm)	ビニルエステル樹脂ガラスマット2プライ 塗布4回以上	ポリウレタン樹脂 塗布1回以上	エポキシ樹脂ガラスクロス 塗布2回以上	ポリウレタン樹脂 塗布1回以上	エポキシ樹脂 塗布2回以上	エポキシ樹脂 塗布3回以上																																																																																																															
・厨房排水槽	※	・	・	・	・	・																																																																																																															
・汚水槽	※	・	・	・	・	・																																																																																																															
・雑排水槽	※	・	・	・	・	・																																																																																																															
・中水槽						※																																																																																																															
・工業用排水槽						・																																																																																																															
・消火水槽						※																																																																																																															
・雨水利用槽						※																																																																																																															
・雨水貯留槽						※																																																																																																															
・自家冷却排水槽						※																																																																																																															
・補給水槽						※																																																																																																															
・エレベーターピット						※																																																																																																															
・駐車場排水槽						※																																																																																																															
○汚水槽						※																																																																																																															
・蓄熱槽						・																																																																																																															

13章 屋根及びとい工事													
13.1節 一般事項	<p>●13.1.2 基本要品質 (付加)</p> <p>(4)耐風圧性能 建築基準法施行令第82条の5、同第87条、告示第1454号・1458号により算定する(高さ13m以下も適用する)。 屋根にかかる負圧() Pa 地表面粗度区分(・ I ・ II ○ III ・ IV) 再現期間(・ 50年 ※ 100年 ・ 年) [ガラス協会の再現期間係数] (付加)(5)多雪区域の指定 ・ 有 (積雪荷重 kg/m²) ○ 無 といに対する融雪装置 ・ 有 ○ 無</p> <p>●13.1.3 施工一般 (付加)</p> <p>●13.1.4 その他 (付加)</p> <p>材料・工法は製造所又は専門工事業者の仕様により、監理者の承認を受ける 絶縁塗装 アルミ板に接する鉄部の面には、接触腐食防止処理を行う その他異種金属接触部には接触腐食防止処理を行う JASS12根拠工事2.3「目標性能の要件とレベル、及び検証方法」を適用する</p>												
13.5節 とい	<p>●13.5.2 材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>呼び称</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>たてどい(屋外)</td> <td>※ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 表面処理鋼板 ・ 硬質塩化ビニル雨どい ・ SUS ○ アルミ</td> <td>図示 ・ 塗装()</td> </tr> <tr> <td>軒どい</td> <td>・ 硬質塩化ビニル雨どい ・ RP-VP(リサイクル塩化ビ) ・ SUS ・ アルミ</td> <td>図示 ・ 塗装()</td> </tr> <tr> <td>ルーフドレン</td> <td>○ 鋼鉄 ・ SUS ○ オーバーフロー管 ※ SUS ・</td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>鋼鉄製のものはエポキシ樹脂による電着又は粉体塗装とする (2)多雪地域の軒どいの取付間隔は0.5m以下とする。 ※ 適用する ・ 適用しない</p> <p>(置換)(3)とい受金物・足金物の材質はSUSとし、大きさは表13.5.2による。 (4)鋼管製といの防露巻 ※ 表13.5.4による ・ 図示による アルミ縦樋：井上簡事 アルトイ バンドレストタイプ 同等品以上</p> <p>●13.5.3 工法 (付加)</p> <p>(7)ルーフドレンの取り付けは、コンクリート打ち込み前の先付けを原則とし、つばをコンクリート天端より20mm程度下げて取り付ける。 (付加)(9)軒どいを金属板で製作する場合は水上に立ち上がり兼ねた伸縮継ぎ手を設ける。水位が上昇して継ぎ手を越えた場合でも漏水が発生しないように製作する。 (付加)(10)といの下地材への取り付けはルーズホールで熱伸びに対処する工法とする。 (付加)(11)水受け台はPCとする。 (付加)(12)といの曲がりの部分には掃除口を設け、その下に天井がある場合は天井点検口を設ける。 (付加)(13)落ち葉などによりルーフドレンが詰まる恐れがある箇所は、つまり防止用のSUS網(15mmメッシュ・線径0.7mm程度)をかぶせる。 適用箇所()</p>	材 種	呼び称	備 考	たてどい(屋外)	※ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 表面処理鋼板 ・ 硬質塩化ビニル雨どい ・ SUS ○ アルミ	図示 ・ 塗装()	軒どい	・ 硬質塩化ビニル雨どい ・ RP-VP(リサイクル塩化ビ) ・ SUS ・ アルミ	図示 ・ 塗装()	ルーフドレン	○ 鋼鉄 ・ SUS ○ オーバーフロー管 ※ SUS ・	図示
材 種	呼び称	備 考											
たてどい(屋外)	※ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 表面処理鋼板 ・ 硬質塩化ビニル雨どい ・ SUS ○ アルミ	図示 ・ 塗装()											
軒どい	・ 硬質塩化ビニル雨どい ・ RP-VP(リサイクル塩化ビ) ・ SUS ・ アルミ	図示 ・ 塗装()											
ルーフドレン	○ 鋼鉄 ・ SUS ○ オーバーフロー管 ※ SUS ・	図示											
13.6節 ステンレス防水 (付加)	<p>○13.6.1 材料</p> <p>仕様 JASS 81による 材種 ・ SUS 445J2 ・ SUS 304 ・ TR270C (チタン) ・ 耐火性能 ※ 耐火30分 ・ 塗装品の使用 ・ 使用する ・ 使用しない</p>												

14章 金属工事																																																																																					
14.1節 共通事項	<p>●14.1.2 基本要品質 (付加)</p> <p>(4)設計用震度は各節の記述による。 (5) ※ 表面処理・仕上・特殊加工または難しい加工については、あらかじめ見本を提出し監理者の承認を受ける。 (6)熱伸縮を考慮すること。 (7)外側、くり返し荷重をうける部位、落下の危険性のある部位のボルト・ビスは、ゆるみ止め機能のあるものを選定し、監理者の承認を受ける。</p> <p>●14.1.3 工法 (付加)</p> <p>あと施工アンカー 躯体に固定するアンカーは原則として打込みとする。やむを得ずあと施工アンカーとする場合は、部位、アンカー種類、施工後の確認試験等について施工計画書を提出し、監理者の承認を受ける。 施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない</p>																																																																																				
14.2節 表面処理	<p>(表14.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>仕上の種類</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>仕上の種類</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>※ ヘアライン仕上げ (H)</td> <td></td> <td>・ BA仕上げ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ No2B仕上げ</td> <td>屋内で軽易な場合</td> <td>・ エッチング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ バイブレーション (VR)</td> <td></td> <td>・ パフ仕上げ (No7)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鏡面仕上げ (No8)</td> <td></td> <td>・ 塗装仕上げ</td> <td>外部鋼製建具枠</td> </tr> </table> <p>(付加)</p> <table border="1"> <tr> <th>ステンレスの種類</th> <th>使用箇所</th> <th>ステンレスの種類</th> <th>使用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ SUS304</td> <td>一般部</td> <td>・ SUS430</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SUS400J1L</td> <td></td> <td>・ SUS316</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SUS443J1</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>(1)表面処理・仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・ N-1種</td> <td></td> <td>○ BB-1種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ N-2種</td> <td>17号のカラウール</td> <td>◎ BB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BA-1種</td> <td></td> <td>・ 着色塗装</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BA-2種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>着色塗装は18章による。</p> <p>(付加)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">N-1・N-2の仕様(日本設計特別仕様)</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>表面処理</th> <th>規格番号</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>N-1</td> <td>無着色 陽極酸化塗装複合被膜</td> <td>JIS H8602</td> <td>Al</td> </tr> <tr> <td>N-2</td> <td>着色</td> <td></td> <td>・ 被膜厚 9.0μm 塗膜厚 12.0μm</td> </tr> </table> <p>(2)陽極酸化皮膜の着色方法 ※ 二次電解着色 (色合) ・ 自然発色 (合金発色及び電解発色等) ・ 三次電解着色</p> <p>(付加)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">常温金属溶射</th> <th colspan="2">溶接接合部所・めっき面の補修</th> </tr> <tr> <td>常温亜鉛めっき</td> <td>・ MS工法</td> <td>溶接接合部所・めっき面の補修</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ZRC工法</td> <td>溶接接合部所・めっき面の補修</td> <td></td> </tr> </table> <p>ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきまたはステンレス製とする。</p> <p>○14.2.4 (付加) りん酸亜鉛処理</p> <p>○14.2.5 (付加) ガルバリウム鋼板は、JIS G 3321 溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯による。 塗装ガルバリウム鋼板は、JIS G 3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯による。 高耐食めっき鋼板は、JIS G 3323 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯による。</p>	仕上の種類	施 工 箇 所	仕上の種類	施 工 箇 所	※ ヘアライン仕上げ (H)		・ BA仕上げ		※ No2B仕上げ	屋内で軽易な場合	・ エッチング		・ バイブレーション (VR)		・ パフ仕上げ (No7)		・ 鏡面仕上げ (No8)		・ 塗装仕上げ	外部鋼製建具枠	ステンレスの種類	使用箇所	ステンレスの種類	使用箇所	※ SUS304	一般部	・ SUS430		・ SUS400J1L		・ SUS316		・ SUS443J1		・		種 別	施 工 箇 所	種 別	施 工 箇 所	・ N-1種		○ BB-1種		※ N-2種	17号のカラウール	◎ BB-2種		・ BA-1種		・ 着色塗装		・ BA-2種				N-1・N-2の仕様(日本設計特別仕様)				種類	表面処理	規格番号	種類	N-1	無着色 陽極酸化塗装複合被膜	JIS H8602	Al	N-2	着色		・ 被膜厚 9.0μm 塗膜厚 12.0μm	常温金属溶射		溶接接合部所・めっき面の補修		常温亜鉛めっき	・ MS工法	溶接接合部所・めっき面の補修			・ ZRC工法	溶接接合部所・めっき面の補修	
仕上の種類	施 工 箇 所	仕上の種類	施 工 箇 所																																																																																		
※ ヘアライン仕上げ (H)		・ BA仕上げ																																																																																			
※ No2B仕上げ	屋内で軽易な場合	・ エッチング																																																																																			
・ バイブレーション (VR)		・ パフ仕上げ (No7)																																																																																			
・ 鏡面仕上げ (No8)		・ 塗装仕上げ	外部鋼製建具枠																																																																																		
ステンレスの種類	使用箇所	ステンレスの種類	使用箇所																																																																																		
※ SUS304	一般部	・ SUS430																																																																																			
・ SUS400J1L		・ SUS316																																																																																			
・ SUS443J1		・																																																																																			
種 別	施 工 箇 所	種 別	施 工 箇 所																																																																																		
・ N-1種		○ BB-1種																																																																																			
※ N-2種	17号のカラウール	◎ BB-2種																																																																																			
・ BA-1種		・ 着色塗装																																																																																			
・ BA-2種																																																																																					
N-1・N-2の仕様(日本設計特別仕様)																																																																																					
種類	表面処理	規格番号	種類																																																																																		
N-1	無着色 陽極酸化塗装複合被膜	JIS H8602	Al																																																																																		
N-2	着色		・ 被膜厚 9.0μm 塗膜厚 12.0μm																																																																																		
常温金属溶射		溶接接合部所・めっき面の補修																																																																																			
常温亜鉛めっき	・ MS工法	溶接接合部所・めっき面の補修																																																																																			
	・ ZRC工法	溶接接合部所・めっき面の補修																																																																																			
14.5節 軽量鉄骨壁下地	<p>●14.1.2 基本要品質 (付加)</p> <p>(4)設計用震度 Kh=1.0、Kv=0.5 (5)設計用水平荷重 ※P=125kg/m (h=1,500mmの位置)</p> <p>●14.5.3 形式及び寸法</p> <p>(1)種類(表14.5.1) ※ 表14.5.1のスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 下記の区分による ・ 50形(施工箇所) ・ 65形(施工箇所) ・ 90形(施工箇所) ・ 100形(施工箇所) スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示 ()</p> <p>●14.5.4 工法 (付加)</p> <p>(10)所定の地震力および水平荷重に対して、各部材は所定の強度を有し、たわみ率は(※1/150 ・ 1/120)以下、かつ壁の脱落が無いものとする。 壁高さが5mを超える場合、指定以外の開口補強方法を採用する場合、及び監理者の指示がある場合は、計算書を監理者に提出し、確認を受ける事。</p> <p>(付加)(11)ウイスカ対策 ※ 無 ・ 有 (・ 溶融亜鉛めっき ・ SUS 304) () (箇所) (付加)(12)EPS・PS・機械室などの閉切下部の止水対策 (・ 行う(図示) ○行わない) (付加)(13)地震や強風の瞬間変位により発生する異音の防止を (※行わない ・ 行う(図示)) 発生した場合は受注者の責任で防音処理を行う。(室名) (付加)(14)下地補強が必要な場合は、合板または鉄板などにより適宜行う。</p>																																																																																				
14.6節 金属成形板張り(天井)	<p>○14.1.2 基本要品質 (付加)</p> <p>(4)設計用震度 Kh=1.0、Kv=0.5 (5)耐風圧性能は 14.4.3 による。</p> <p>○14.6.2 材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料</th> <th>製 法</th> <th>表面処理・仕上げ</th> <th>形状・寸法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・ アルミニウム及びアルミニウム合金</td> <td>・ 押出し ・ 板</td> <td>・ BB-1 ・ BB-2 ・ 着色塗装</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鋼板</td> <td>・ ロール ・ 板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○14.6.3 工法 (付加)</p> <p>(1)取付け用下地 ※ 表14.4.2による () (5)伸縮調整継手 ※ 設けない ・ 設ける(施工箇所は図示) (6)結露防止材 ※ 吹付けない ・ 吹付ける(施工箇所は図示) (7)目地寸法及び取付工法は熱伸縮を考慮すること。</p>	材 料	製 法	表面処理・仕上げ	形状・寸法	施 工 箇 所	・ アルミニウム及びアルミニウム合金	・ 押出し ・ 板	・ BB-1 ・ BB-2 ・ 着色塗装			・ 鋼板	・ ロール ・ 板																																																																								
材 料	製 法	表面処理・仕上げ	形状・寸法	施 工 箇 所																																																																																	
・ アルミニウム及びアルミニウム合金	・ 押出し ・ 板	・ BB-1 ・ BB-2 ・ 着色塗装																																																																																			
・ 鋼板	・ ロール ・ 板																																																																																				
14.7節 アルミニウム製笠木	<p>●14.7.1 適用範囲 (付加)</p> <p>製作笠木及び水切金物にも適用する</p> <p>●14.7.2 材料</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">(1)種類、(3)7)表面処理</th> </tr> <tr> <th>種 類</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面処理・仕上げ</th> <th>固定間隔</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 250形</td> <td>1.6</td> <td>※ AB-1又は BB-1種</td> <td>※ 1.3m程度</td> <td>・ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>・ 300形</td> <td>1.8</td> <td>・ BB-2種</td> <td></td> <td>固定方法は図示</td> </tr> <tr> <td>・ 350形</td> <td>2.0</td> <td>()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 着色塗装</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 製作笠木</td> <td></td> <td>○ BB-1種</td> <td>◎ 1.3m程度</td> <td></td> </tr> </table> <p>●14.7.3 工法 (付加)</p> <p>(1)(7)建築基準法施行令第82条の5、同第87条、告示第1454号・1458号により算定する(高さ13m以下も適用する)。 地表面粗度区分(・ I ・ II ○ III ・ IV) 再現期間(・ 50年 ※ 100年 ・ 年) [ガラス協会の再現期間係数] 多雪区域の指定 ・ 有 ○ 無 積雪荷重() Pa (付加)(6)結露防止材 ※ 吹付けない ・ 吹付ける(施工箇所は図示) (付加)(7)雨音防止材 ※ 設けない ・ 設ける(施工箇所は図示) (付加)(8)製作笠木の天端シールは破断時の排水経路を確保するか、又は2重シールとして排水経路を設ける (付加)(9)製作笠木の取り付け方法 ※ 図示 (付加)(10)製作笠木・水切りの水抜き穴の寸法は10φ以上又は15×8以上の長円とする (付加)(11)製作笠木・水切りの目地寸法及び取付工法は熱伸縮を考慮すること。</p>	(1)種類、(3)7)表面処理					種 類	板厚(mm)	表面処理・仕上げ	固定間隔	備考	・ 250形	1.6	※ AB-1又は BB-1種	※ 1.3m程度	・ 適用する ○ 適用しない	・ 300形	1.8	・ BB-2種		固定方法は図示	・ 350形	2.0	()					・ 着色塗装			○ 製作笠木		○ BB-1種	◎ 1.3m程度																																																		
(1)種類、(3)7)表面処理																																																																																					
種 類	板厚(mm)	表面処理・仕上げ	固定間隔	備考																																																																																	
・ 250形	1.6	※ AB-1又は BB-1種	※ 1.3m程度	・ 適用する ○ 適用しない																																																																																	
・ 300形	1.8	・ BB-2種		固定方法は図示																																																																																	
・ 350形	2.0	()																																																																																			
		・ 着色塗装																																																																																			
○ 製作笠木		○ BB-1種	◎ 1.3m程度																																																																																		
14.8節 手すり及びタラップ	<p>○14.8.2 手すり</p> <p>(1)材料及び仕上げ ※ 図示 ガラス手すりの工法は16.14.91による</p> <p>●14.8.3 タラップ</p> <p>(1)材料及び仕上げ ※ 地下以外図示 防水水槽内のタラップ ※ SUS 304 ・ SUS製 樹脂被覆</p> <p>○14.8.4 手すりの強度 グレード (付加)</p> <table border="1"> <tr> <th>日本金属工業協会共同策定「手すりの安全性に関する自主基準」(2007)による</th> <th>グレード</th> <th>荷重(N/m)</th> <th>適用する手すり</th> <th>たわみ制限</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 1</td> <td>735</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 2</td> <td>980</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 3</td> <td>1225</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 4</td> <td>1470</td> <td></td> <td></td> <td>※1/100以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 5</td> <td>1960</td> <td></td> <td></td> <td>※1/100以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 6</td> <td>2940</td> <td></td> <td></td> <td>※1/100以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 7</td> <td>2940超</td> <td></td> <td></td> <td>※1/100以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>(2)強度グレード以上の指定がある場合は、強度およびたわみを確認する構造計算書を作成し、監理者の承認を受けること。グレード3についての構造計算書の作成・承認は監理者と協議による。</p>	日本金属工業協会共同策定「手すりの安全性に関する自主基準」(2007)による	グレード	荷重(N/m)	適用する手すり	たわみ制限	備考	・ 1	735					・ 2	980					・ 3	1225					・ 4	1470			※1/100以下		・ 5	1960			※1/100以下		・ 6	2940			※1/100以下		・ 7	2940超			※1/100以下																																					
日本金属工業協会共同策定「手すりの安全性に関する自主基準」(2007)による	グレード	荷重(N/m)	適用する手すり	たわみ制限	備考																																																																																
・ 1	735																																																																																				
・ 2	980																																																																																				
・ 3	1225																																																																																				
・ 4	1470			※1/100以下																																																																																	
・ 5	1960			※1/100以下																																																																																	
・ 6	2940			※1/100以下																																																																																	
・ 7	2940超			※1/100以下																																																																																	

NIHON SEKKEI
株式会社 日本設計

特記

埼玉県浦和競馬組合

課長 副参事 主幹 主査 担当

飛塚 石井 阿相 矢島 阿相

設計 1級建築士登録第 322998号 平塚 哲
設計 1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑
設計 1級建築士登録第 213138号 坂坂 寛

浦和競馬場非常用発電機棟建築工事

図面名称 特記仕様書(5)

縮尺 no-scale

図面番号 A-1007

区分 建築図

TOK_HIHATU.dwg

●16.2.3 材料	(5) (f)網戸等の防虫網 網の種類 ※ ステンレス製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ・ 合成樹脂製 形式 ※ 外部可動式 ・ 内部可動式 ・ 固定式
(付加) (付加)	(11) 扉縁・額縁のすき間の結露防止の絶縁材 ・ 有 ○ 無 (12) がらりに接続する設備用ダクト等の接続材の材質 ※ アルミニウム ・ 高耐食性めっき鋼板 (JIS G 3323) ・ SUS ・
●16.2.4 形状及び仕上げ	(4) 表面処理 ※ B#2 (○ プラチ系 ・ 黒 ・ ステンパー ・ 白) ・ B#-1 ・ マット調表面処理 ・ 着色塗装 (※ B-F#2 ・) (7) 結露水の処理方法 引違い建具 ・ 外部排水 ・ 結露受けに貯留 ・ その他の建具 ○ 外部排水 ・ 結露受けに貯留 ・
●16.2.5 工法	(2) (f) (b)④ 内付け建具 ※ 製造所の仕様による ・ その他 ()

16.3節 樹脂製建具

○16.3.2 性能及び構造	(2) (7)表16.3.1、表16.3.2による
	種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工箇所 ・ A種 S-4 A-4 W-4 ・ 70 ・ B種 S-5 W-5 ・ 80 ・ C種 S-6 W-6 ・ 120 ・ D種 S-2 W-3 ・ 125 ・ E種 S-3
(付加)	(f)遮音性能 (防音ドアセット・防音サッシ) ・ 適用する (※ T-2 ・ 建具表による ・ T-1 ・ T-3) (g)断熱性能 (断熱ドアセット・断熱サッシ) ・ 適用する (※ H-5 ・ 建具表による ・ H-4) (5)防火戸の指定 防火設備の指定 ・ 有 (部位) ・ 無

○16.3.3 材料	(4)網戸等の防虫網 網の種類 ※ステンレス製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ・ 合成樹脂製 形式 ※外部可動式 ・ 内部可動式 ・ 固定式
(付加)	(7) (a) ガラスの種類 (建具製作所にて嵌め込むこと) ※複層ガラス ・ 単層ガラス ・ 三重ガラス ・ 図示 厚さ：複層及び三重ガラスは遮音性能を要求するときは異厚とする。

○16.3.4 形状及び仕上げ	(6) 表面色 ・ 白 (標準色) ・ シルバー ・ ブラウン ・ 黒
○16.3.5 工法	(2) モルタルはアンカー金物が十分に覆われるように充填する。またアンカーモルタル部からの熱橋対策として、充填モルタル部が完全に覆われるよう断熱処理を施す。断熱材は19.9.3による吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材を標準とする。 鉄骨造又は木造の場合は建具固定アンカー部を完全に覆うように建具枠四周にロックウール(32kg/m ³)を密実に充填する。

○16.3.6 内窓樹脂製建具	(1) 適用 外側側にアルミニウム製建具等の耐風圧性能、気密性能、水密性能を負担する建具がある場合で、その内側に樹脂製建具を設ける場合の当該樹脂製建具に適用する。 (2) 外部建具と樹脂製建具の組合せにより、下記性能を満足させる。 (7) 遮音性能 (防音ドアセット・防音サッシ) ・ 適用する (・ T-3 ・ T-4) (部位) (f) 断熱性能 ・ 適用する (※ H-5 ・ H-4) (部位) (3) 枠見込 ※70 ・ 50 ・ 60 ・ 80 ・ (4) 材料 16.3.3による (5) 形状及び仕上げ 16.3.4による (6) 工法 (a) 内窓樹脂製建具は木製又は樹脂製の四方額縁に密実に取付ける。取付け用四方額縁は熱伝導防止を兼ねた硬質ゴムを用いる等して、外部側建具と密実に連結させる。 (b) 外部側建具と内窓樹脂製建具間の漏気を防止するため取付け用四方額縁裏面には、硬質ウレタンフォーム断熱材t15程度を額縁裏面全面に吹付ける。
--------------------	--

○16.4節 鋼製建具	
●16.4.2 性能及び構造	(2) (7)簡易気密扉 (SAT扉) への簡易気密型ドアセット性能値 ※ 適用する (表16.4.11による) ・ 建具表による ・ 適用しない (付加) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性能 ※ 建築基準法施行令第82条の5、同第87条、告示第1454号・1458号により算定する (高さ13m以下も適用する)。 ・ 風洞試験結果による値。 (日本建築学会「建築物荷重指針・同解説」の設計用再現期間100年を用いた値) ・ 表16.2.11による (・ A種 (S-4) ・ B種 (S-5) ・ C種 (S-6)) ・ その他 (耐風圧性能: Pa、気密性: A-4、水密性: Pa) ・ 最小風圧力 ※ 2000Pa (N/m ²) (高さ13m以下の部位を除く) ・ 2000Pa (N/m ²) (高さ13m以下の部位も含む) (置換) (2) (f)遮音性能 (防音ドアセット・防音サッシ) ○ 適用する (・ 建具表による ○ T-3) ・ 適用しない (9)断熱性能 (断熱ドアセット・断熱サッシ) ・ 適用する (・ 建具表による ・ H-) ○ 適用しない ・ 扉の厚充填 (※80kg/m ³) (部位(※外部に面する扉)) (5)耐震ドアセット・面内変形追従性 ・ 適用する (・ 建具表による ・ D-) ○ 適用しない

●16.4.3 材料	(1) (7)鋼板 ※ JIS G3302のZ12又はF12
●16.4.4 形状及び仕上げ	※ くつずりの厚さ以外は標仕の特記書き場合の記述による。 ※ くつずりに結露受けを設ける。
●16.4.6 標準型鋼製建具	標準型建具 ※ 採用しない ・ 採用する

16.5節 鋼製軽量建具	
●16.5.2 性能及び構造	(2) (7)簡易気密扉への簡易気密型ドアセットの気密性能値 ※ 適用する (※ A-3) ・ 適用しない (置換) (2) (f) 遮音・耐震性能は、16.4.2(2)による。 (付加) (3)品質規格 ※ 建築工事標準仕様書による ・ 製作所標準仕様による 性能 ()
●16.5.3 材料	(1) (f)ビニル被覆鋼板 ・ 採用する ○ 採用しない (f) (f)カラー鋼板 ・ 採用する ○ 採用しない
●16.5.6 標準型鋼製軽量建具	標準型建具 ※ 採用しない ・ 採用する

16.6節 ステンレス製建具

○16.6.2 性能及び構造	(置換) 建具の性能及び構造は16.2.2(1)による。 性能値は16.4.2.2(7)及び16.2.2(2) (f) (9) (5)による。
○16.6.3 材料	(1)材質 (JISによる) ※ SUS 304 ・ SUS 430J1L ・ SUS 443J1 ・ SUS 316
○16.6.4 形状及び仕上げ	

	仕上の種類	施工箇所
※ ヘアライン仕上げ		
・ No2仕上げ		
※ No2B仕上げ		
・ BA仕上げ		
・ エンボス仕上げ		
・ エッチング		
・ バイブレーション		
・ パフ仕上げ (No7)		
・ 鏡面仕上げ (No8)		
・ 密着仕上げ		

○16.6.5 工法	(1) (7)曲げ加工 ※ 角出し曲げ (裏補強材付) ※ b角 (切込み後の板厚 0.75mm) (施工箇所) ・ a角 (切込み後の板厚 0.5mm) (施工箇所) ・ c角 (切込み後の板厚 1.0mm) (施工箇所) ・ 普通曲げ
---------------	---

16.7節 木製建具

○16.7.2 材料	(1)含水率 ※ B種 ・ () (3) (7)かまち及び鏡板の仕様 かまち () 鏡板 () (9)枠、くつずりの材料 枠 () くつずり ()
○16.7.3 形状及び仕上げ	(1) (f)フラッシュ戸の表面板の厚さ ※ 表16.7.6による ・ () (2) (3) (4) (5) 框戸・ふすま・戸ふすま・紙張り障子の見込 ※ 標仕の特記なき場合の記述による ・ 図示 (付加) (6)塗装の種類 ()

16.8節 建具用金物

●16.8.2 材質形状及び寸法	(1)建具金物の種類及び見え掛り部の材質 ※ 表16.8.11による (1)ドアクローザーの耐久性能 (JIS A 1510-3 の解説による) ※ グレード2 ・ グレード1
●16.8.4 鍵	(1)マスターキーの製作 ※ グランドマスターキーシステム ※ 製作する (3 本) ・ 製作しない ・ マスターキーシステム ※ 製作する (本) ・ 製作しない (3)鍵・鍵箱 一般共通事項 1.6.7 鍵の整理、提出による (付加) 外部及び水がかりは、すべてステンレス製とする。 (付加) (4)鍵の種類 ・ デンプルキー (取付場所) ・ ノンタッチキー (取付場所)

○16.8.5 かざり箱	(付加) 市販品 形式 ・ 30組用 × () 個 ・ 60組用 × () 個 ・ 120組用 × () 個
-----------------	--

16.9節 自動ドア開閉装置

○16.9.1 適用範囲	(付加) 歩行者用自動ドアセットはJIS A 4722 及び「自動ドア安全ガイドライン」(JADA)による
○16.9.2 性能等	(2) (7)自動ドア駆動装置の性能値 ※ 表16.9.11による ・ ()
○16.9.3 機構	(1)戸の開閉機構 ※ スライディングドア ・ その他 () (2)引き戸用検出装置の種類 (表16.9.4) ※ 光線スイッチ ・ () (6)凍結防止措置 ・ 適用する (適用箇所は建具表による) ・ 適用しない (付加) (7)非常時扉開放機構 (パニックオープン) ・ 適用する (適用箇所は建具表による) ・ 適用しない (付加) (8)防火設備・特定防火設備の指定のあるものは、非常時閉鎖機構 (パニッククローズ)を適用する。 (付加) (9)その他 (適用箇所は建具表による) ・ 下枠のガイド材を通し材とする ・ ガイドレールをバリアフリー対応とする ・ 不正侵入防止システムを適用する

○16.9.4 工法	(付加) (4)自動ドアが外部に面する場合はガイドレールにはSUS 6.10.0.0の排水管を設置し、側溝に接続すること。 (付加) (5)自動ドア開閉装置は上部設置型とする。
---------------	---

16.10節 自閉式上り引戸装置

○16.10.2 材料	(1)材質 ※ ステンレス鋼板、アルミニウム製等防錆性能を有するもの ・ 製造所標準仕様による
○16.10.3 性能等	引戸装置の性能 ※ 表16.10.11による ・ 表16.10.11によるが手動開き力は7N以下とする (バリアフリー対応) ・

17章 カーテンウォール工事

17.1節 一般事項

●17.1.2 基本要品質	(付加) (4)性能発注 カーテンウォール工事は、「性能発注」とする。性能発注とは、設計図書に示された形状、寸法、材質、仕上げ等の設計上の意図及び諸性能を満たす製品を納入するために、受注者が責任をもって詳細設計、製作及び施工を遂行することをいう。 監理者による製作図及び計算書等の承認は、仕様及びデザイン意図の反映を確認する作業を意味し、受注者のカーテンウォール設計に対するいかなる責任も軽減するものではない。受注者は契約図書との整合性について全ての責任を負うこと。 提案図が、監理者の承認を得られなかった場合、受注者は追加の提案を追加費用無しで監理者の承認を得られるまで提出しなければならない。 監理者の承認を必要とする書類は、意匠確認用モックアップ図、実物大性能試験供試体図、施工図、構造計算書、サンプル、試験報告書、製作要領書、施工要領書、計画方針書その他監理者の指示のあったものとする。
------------------	---

(付加) (5)適用箇所				
材質	部 位	製作及び施工方式	ジョイントの基本システム	備 考
・ アルミ	※ 図示	・ エット ・ ノックアウト	・ 等圧 ・ ダブルパネル	
○ PC	※ 図示	※ 工場 ・ 現場	・ 等圧 ○ ダブルパネル	

既製カーテンウォールは16章、特注カーテンウォールは17章を適用する。

(付加) (6)品質管理	(7)カーテンウォール計画方針書 受注者は製作施工図の作成に先立ち、各部位毎の品質基準、品質確保の方法を記したカーテンウォール計画方針書を作成し、監理者の承認を受ける。 (f)品質管理計画書 受注者は製作に先立ち製造者及び専門事業者と協議し、品質管理の方法、受注者の確認項目、時期、方法、役割分担などを明らかにした品質管理計画書を作成し、監理者に提出して承認を受ける。 (9)提出図書 受注者は施工図、品質性能証明書 (強度計算等の書類を含む)、施工計画書、製作要領書、性能試験計画書を作成し、監理者の承認を受ける。 (5)受注者等による自主的な品質管理 製造者及び専門事業者は、設計図書に示されている品質を確保するために、製造及び取付過程において品質管理を行い記録する。受注者はこれらの品質管理の状況の記録を確認し、監理者に報告する。
(付加) (7)検査	(7)受注者による製品検査 受注者による製品検査は品質管理計画書に基づき製造工程において、施工者が発進前行う。また、初品については必ず製品検査を実際に建て込んだものに近い状態で行う。 (f)受注者による取付検査 受注者は工事の一工程が完了した後、品質管理計画書に基づき製造者及び専門事業者による自主検査記録を確認した後に抽出検査を行う。 (8)技術委員会 ※ 設置する ○ 設置しない 受注者は、当該現場構成員以外の自社の技術部門に属するカーテンウォール工事技術経験者を参加させ、カーテンウォール関連メーカー及び専門事業者側の技術者を加えた技術委員会を設置し、カーテンウォールの詳細設計、製作及び施工の技術検討及び品質の確認を行う。その過程について、日本設計カーテンウォール委員会にも報告を行うこと。
(付加) (9)見本	(7)モックアップサンプル ・ 作成する (サイズR、H、D、/部位:図示) ○ 作成しない (f)受注者は、使用する材料見本を監理者に提出し、承認をうける。 (f)提出する見本には、設計図書に定めた品質が満たされていることを証明する資料を添付する。 (5)色調・仕上げ状態など、製作誤差の生ずるものについては、監理者と協議し許容範囲を決定する。

(付加) (1)各種性能	●17.1.3 性能
耐風圧性能	※ 建築基準法施行令第82条の5、同第87条、告示第1454号・1458号により算定する (高さ13m以下も適用する)。 地表面風圧区分 (・ I ・ II ○ III ・ IV) 再現期間 (・ 50年 ※ 100年 ・ 200年 ・ 300年) [ガラス協会の再現期間係数] ・ 風洞試験結果による値。 日本建築学会「建築物荷重指針・同解説」の設計用再現期間 (※100年 ・ 200年 ・ 300年)を用いた値

最小風圧力	※ 2000Pa (N/m ²) (高さ13m以下のカーテンウォールを除く) ・ 2000Pa (N/m ²) (高さ13m以下のカーテンウォールも含む) ・ 上記耐風圧性能値に対する要求性能は次の通りとし、ガラスや各部分に破損及び残留変形、有害な変形や異音の発生が起これないものとする。 支点間距離(L)に対するたわみ量 ※ L/200以下 ・ 計算箇所については監理者と協議する。
層間変位追従性能	(Hは階高とする) 補修の必要無しに継続使用できる限界 ※ ±H/300 ・ 部材及びガラス等に破損、脱落、有害な残留変形が起これず不定形シートの補修のみで継続使用できる限界 ※ ±H/200 ・ 部材及びガラス等に破損、脱落を生じない限界 ※ ±H/100 ・ ±H/150
慣性力に対する安全性	(f)カーテンウォールの部材断面の算定は、慣性力に対し短期許容応力度以下とする。 (f)慣性力は、設計用震度として kh=1.0、Kv=(※ 1.0 ・ 0.5)を用いて、同時に (※ 考慮する ・ 考慮しない) 条件にて算定する。 ただし以下の部位は下記による。 (部位:) 、 kh= 、 kv=) (9)DPG、MPGなどガラスに局部的な力がかかる場合は衝撃的な力を加えない工夫をすること。

鉛直相対変位追従性能	カーテンウォールは、地震、風、積載荷重、コンクリートのクリープ、熱伸縮、施工誤差による上下階の鉛直方向の相対変位に追従するものとする。 構造変位性能値：最大 () mm
------------	--

水密性能 (漏水を起こさない上限圧力差)	※ 上限値 750Pa (グレード3) ・ 上限値 1000Pa (グレード4) ・ 上限値 525Pa (グレード2) ・ 上限値 () Pa
その他の部分の性能値	※ 正圧最大風圧力の1/2、かつ1500Pa以上を上限値とする (グレード4) ・ 正圧最大風圧力の3/4、かつ2250Pa以上を上限値とする (グレード5) ・ 上限値 () Pa
上記各条件で室内側に漏水がないこと	ただし、()内は社団法人カーテンウォール・防火開口部協会「カーテンウォール性能基準」のグレードを示す

気密性能			
※ 右表による	内外圧力差	気密性能 (m ³ /m ² h)	
	10Paにおいて	※ 0.5以下	
	100Paにおいて	※ 5以下	
	10Paにおいて	※ 0.1以下	
	100Paにおいて	※ 1.0以下	

耐火性能	(7)国住指第619号「カーテンウォールの構造方法について (技術的助言)」に準拠すること。 (f)カーテンウォールと床スラブとの隙間を塞ぐ耐火材料は、法令の規定により床スラブと同等の耐火性能を有するものとする。また1/150の層間変位を受けたとき、脱落のおそれのない構造とする。 (9)PCカーテンウォールを柱、梁の複合耐火被覆として使用する場合は、認定を受けた構造とする。 (5)層間区画を形成する耐火材は、火災時に脱落しない構造とする。 (f)耐火パネルは、構造体と鋼材で接結すること。
------	--

耐温度差性		
右表による	部材の種類	境界の部材温度差
	直射日光のあたる暗色の金属材	80℃
	直射日光のあたる明色の金属材	70℃
	その他の部材	60℃

なお、JASS8防水工事4階シーリング工事「温度ムブットの低減率算定式」を用いてもよい。

熱安定性	想定される部材温度変化に伴う部材の変形により下記の欠陥を生じない構造とする。 (7)ガラスの熱割れ (f)部材の破損又は有害な変形 (9)部材又は表面仕上げ材の剥離 (5)振音 (f)美観上見苦しいひびみ (8)シール材の剥離及び破断 (9)部材の伸び縮みで固定用のねじ・ボルトに応力を生じない構造とする。
------	--

遮音性能	性能値 ※ 開口部を含めた総合透過損失がガラスの遮音性能を下まわらないものとし、開口部の無い場合は、総合透過損失を30dB (JIS : T-2等級) 以上とする。 ・ 35dB (T-3等級) ・ 40dB (T-4等級)
------	---

断熱性能	性能値 ※ パネル部分の熱貫流抵抗値1.0m ² h・K/cal (0.86m ² ・K/W) 以上 ・ () 開口部の性能値 JIS等級 (・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5)
------	--

結露対策	(7)カーテンウォールの室内側及び壁体内に有害な結露が生じないようにする。 なお、有害な結露が生ずるおそれのある場合は適切な処理機構を設ける。 (f)結露水による錆、電位差腐食、凍結等により、性能の低下や機構上の欠陥が生じない構造とする。 (9)結露受けの容量はガラス面及びパネル面の結露量を算定し決定する。 保水可能時間は (・ 24h ・ 48h ・)とする。 (5)結露水量の計算条件は下記による。																				
	<table border="1"> <tr> <th>室内温度</th> <th>室内湿度</th> <th>外気温</th> <th>外表面熱伝達率</th> <th>内表面熱伝達率</th> </tr> <tr> <td>・ 22℃</td> <td>・ 40%</td> <td></td> <td>・ 23W/m²K</td> <td>※ 6W/m²K (隅角部)</td> </tr> <tr> <td>・ 25℃</td> <td>・ 50%</td> <td></td> <td>・ 35W/m²K</td> <td>※ 9W/m²K (一般部)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	室内温度	室内湿度	外気温	外表面熱伝達率	内表面熱伝達率	・ 22℃	・ 40%		・ 23W/m ² K	※ 6W/m ² K (隅角部)	・ 25℃	・ 50%		・ 35W/m ² K	※ 9W/m ² K (一般部)	・	・		・	・
室内温度	室内湿度	外気温	外表面熱伝達率	内表面熱伝達率																	
・ 22℃	・ 40%		・ 23W/m ² K	※ 6W/m ² K (隅角部)																	
・ 25℃	・ 50%		・ 35W/m ² K	※ 9W/m ² K (一般部)																	
・	・		・	・																	
(4)寒冷地では結露水を外部排水する機構としない。																					

耐久性	通常の清掃及び保守を行う前提のもとにカーテンウォールを構成する部材及びガラス等は竣工後10年間は大きかりな補修を要しないものとする。
-----	--

ガラス等常時掛かる鉛直荷重を支える部材の挽み	※ 支点間距離/1500 以下
------------------------	-----------------

振音、摩擦音、雨音対策	定められた風圧力、軀体の変形、外気温の変化等により生ずるカーテンウォールの変形に起因する振音や雨水・結露水に起因する振音の発生を最小限に押さえる為の対策を行うこと。
-------------	--

維持管理用ゴンドラに接触する部材の安全性	衝撃荷重 ※ ガイドローラーを使用した場合、アーム1本当たりkh=0.5、その他の場合kh=1.0の地震力に対して、カーテンウォールに破損、脱落を生じないこと。
----------------------	---

風による荷重	※ ゴンドラが風速16m/secの風を受けたとき、ゴンドラに接触する部材に残留変形がないこと。 ガイドローラー ゴンドラの走行に支障を生じず、振音・異音が生じないこと
--------	---

避雷対策 (側雷対策)	高さ60mを超える場合 JIS A 4201 建築物等の雷保護により対応する。 ※ 側雷対策を行う (方法 : ※回転球体法 ・ メッシュ法 ・) ○ 行わない
-------------	--



特記	埼玉県浦和競馬組合	課長	副参事	主幹	主査	担当	
		飛塚	石井	阿相	矢鳥	阿相	

設計	1級建築士登録第 322398号 平塚 智
設計	1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑
設計	1級建築士登録第 213138号 飯坂 寛

浦和競馬場非常用発電機棟建築工事	図面名称 特記仕様書(7)	TOK_H1HATU.dwg
	図面番号 no-scale	A-1009
	縮尺	区分 建築図

<p>(3)性能の確認 試験の実施の有無にかかわらず、性能確認試験を行い、性能を証明する資料を監理者に提出すること。試験の実施については下記による。</p> <p>一般性能試験 試験項目 遮音性能試験 (JIS A 1416) <input checked="" type="radio"/> 実施する <input type="radio"/> 実施しない 断熱性能試験 (JIS A 4710) <input type="radio"/> 実施する <input checked="" type="radio"/> 実施しない</p> <p>実物大供試体による性能試験 ※ 実施する <input checked="" type="radio"/> 実施しない (7)試験項目 耐風圧性能試験 ※ 実施する <input type="radio"/> 実施しない 層間変位追従試験 ※ 実施する <input type="radio"/> 実施しない 水密試験 ※ 実施する <input type="radio"/> 実施しない 気密試験 ※ 実施する <input type="radio"/> 実施しない 仕上がり状況の確認 ※ 実施する <input type="radio"/> 実施しない 組立方法の確認 ※ 実施する <input type="radio"/> 実施しない 等圧性能確認試験 ※ 実施する <input type="radio"/> 実施しない (試験の方法は、JASS 14実大試験等の解説に準じる。) ・その他 (・ 熱変形試験 ・ 風切音試験 ・ 積雪試験)</p> <p>(4)供試体及び仮型躯体 供試体の寸法 ※ 高さ 2階半、幅3ユニット ・ 図示 仮型躯体は実際の構造体とほぼ等しい条件を備えたものとする。</p> <p>(5)耐風圧試験 (a)たわみならびに歪みの測定は静圧にておこない、繰り返し試験は10分間の周期 2秒の近似正弦波による振動にて行う。 (b)性能値の表示は最大圧力とする。 (c)加圧プロセスは正圧、負圧、正圧の順序とする。 (d)可否の判定は、17.1.3.(1)各種性能の規定を満たすこと。</p> <p>(6)層間変位追従試験 (a)部材の追従状態の定量的測定は静的状態にて行い、動的繰り返し試験は10分間行う。 (b)また静的試験はプラス側、マイナス側、プラス側の順序で行う。 (c)変位プロセスは1/300、1/200、最大変位の順序で行い、各プロセスの中で静的状態の測定と動的状態による繰り返し試験をおこなう。また各プロセスの間に水密試験を行い変位が水密性能に与える影響を確認する。 (d)可否の判定は、17.1.3.(1)各種性能の規定を満たすこと。</p> <p>(7)水密試験 (a)加圧方法は振動とし、加圧時間は各10分間、加圧圧力は500、1000、1500、2000 (Pa) 及び最大圧力とする。 (b)下記の低圧長時間試験、排水経路確認試験を行う。 イ.外部及び内部のシールの長さの30%を切り、0.3mmの隙間を設けた状態で霧状散水にて平均圧力 250Pa、加圧時間120分間の振動の低圧長時間試験。 ロ.無圧下での注水による排水経路確認試験 (着色水を毎分30cm³ 程度合計500cm³注入する) (c)可否の判定は下記による。 イ.最大風圧力及び、1/300の層間変位履歴後最大圧力で漏水が起こらない。 ロ.シール切断時の長時間試験で漏水が起こらない。 ハ.排水経路確認試験で注入水が排水経路以外の部分を通過しない (ファイバースコープやのぞき窓を必要に応じて設け、排水の確認をする。また、試験供試体の解体時にも確認する)。</p> <p>(8)等圧性能確認試験 圧力差測定 外部と中間層部の圧力差を測定する。試験方法はJASS14による。可否判定は50Pa以下とする。</p> <p>(9)試験の順序 1) 水密試験及び圧力差測定 6) 1/200の層間変位追従試験 2) 耐風圧試験 7) 等圧性能確認試験 3) 水密試験 8) シール切断時の低圧長時間水密試験 4) 1/300の層間変位追従試験 9) 排水経路確認試験 5) 水密試験 10) 最大変位時の層間変位追従試験</p> <p>(10)試験計画書の内容は下記による。 1) 試験目的 5) 試験装置の説明 2) 試験場所、期日 6) 試験項目 3) 試験組織及び供試体製作協力業者 7) 試験方法、測定項目、測定点 4) 試験体図 8) 試験工程表 (供試体のための製作図の作成から試験報告書提出まで)</p> <p>(11)試験結果の報告等 (a)試験工程の途中で、試験の進捗状況を監理者に報告すると共に、試験完了後はすみやかに報告書を作成し提出する。 (b)試験により欠陥が明らかになった場合は原因を究明すると共に、その対策案を作り監理者と協議する。 (c)試験途中で供試体に変更を行った場合は、監理者と協議し、必要のある場合は再試験を行う。</p> <p>(12)その他の試験 その他の試験の詳細については監理者と協議して決定する。</p>	<p>17.3節 PCカーテンウォール</p> <p>●17.3.2 材料</p> <p>(1)プレキャスト・コンクリート (7) (a)コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート 1種 (b)設計基準強度 (F_{cd}) ※ 30N/m²以上 ・ (c)スランプ ※ 12cm以下 ・ (d)所要気乾単位容積重量 ※ 2.3以上 ・ 1.9以下 (e)単位水量 ※ 180kg/m³以下 ・</p> <p>(2)鉄筋 ※ SD295A ・</p> <p>(付加) (4)目地シールに用いる不定形弾性シーリング材 ※ 表9.7.11による。 シーリング接着性試験 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>(5)耐火目地材 ※ 必要な耐火性能が証明された製品とし、石綿を含まないものとする。</p> <p>(6)断熱材料 断熱材料は、断熱性、火災防止性を確認したものを使用する。 指定材料 ()</p> <p>(付加) (8)ガasket材料 形状寸法 ※ 図示 材料特性はJIS A5756「建築用ガasket」による。 ガasketがシーリング材と接触する場合は、シーリング材に影響を与えない材料を使用する。</p> <p>(9)摩擦低減材料 1) 撥音防止及び免震のための摩擦低減材料は長期的な性能を確認したものとする。 2) 摩擦低減材料は、部材間をボルト等で緊結した部分で、部材の伸縮や挙動により撥音のおそれのある部分及び免震のため部材間の滑りを必要とする部分には必ず使用する。</p> <p>(置換) (11)先付け材料 サッシ枠 ※ 図示 ゴンドラ用ガイドレール ※ 図示</p> <p>(付加) (12)ねじ・ボルト類 (7)ねじは内外ともにステンレスとする。 (8)屋外に用いるボルト・ナットはステンレスとする。 (9)高力ボルトを用いる場合は 7章 鉄骨工事に準じ、屋外の仕上げはCWコートまたはダクロタイト処理程度、屋外の仕上げは溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T) とする。 (10)摺動部に用いるナットは、溶接、緩み止めナット (Uナット程度) などにより固定する。 鋼製リング状簡易戻り止めは用いない。</p> <p>●17.3.3 形状及び仕上げ</p> <p>(1)寸法許容差 ※ 表17.3.14による (2)PCカーテンウォールの仕上げ ・ 石材 石材の厚さ ※ 30mm以上 石材定着金物 ※ SUS 304 3.0φ以上のスプリング式シアコネクターとする。 ・ 石の裏面処理 ※ エポキシ系又はアクリル系の裏面処理材を塗布 定着金物の数量 シアコネクターの本数 Nは以下による。 N× シアコネクターの長期せん断許容耐力 / 本 > 3×石の自重 又は負の風圧力の3倍の値の大きさの値 シアコネクターの性能試験 シアコネクターのせん断耐力は、コネクター及び石の方向によって異なり、かつ石のせん断耐力、引抜き耐力は石の種類・方向によって異なるので事前試験を行った上で使用する。 ・ タイル 形状及び仕上げは11章タイル工事による。</p> <p>○塗装 ※ 微弾性ヘアクラック追従型ふっ素樹脂エナメル塗り ・ 微弾性ヘアクラック追従型ふっ素樹脂メタリック塗料塗り ○ アクリルシリコン樹脂エナメル塗り (2-ASE) ○ アクリルシリコン樹脂クリアー (2-ASC) 塗装色 (指定色)</p> <p>(4)構造ガasket溝寸法 ※ 図示</p> <p>(2) (7)配筋 ※ 計算書による</p> <p>(2) (7)カーテンウォール部材の取付位置の寸法許容差 ※ 表17.3.21による</p> <p>※ 図示</p> <p>○17.3.6 ガラスの取付け</p>	<p>●17.3.10 (付加) 施工図作成基準</p>	<p>(1)水密設計 (7)ジョイント部には、排水経路を設ける。 (8)雨水又は侵入水の通過部分には水勾配を取る。 (9)ダブルシール又は等圧方式の場合は室内側シール(気密シール)へ雨水が伝わらない構造とする。 (10)外部に排水孔、等圧孔等を設ける場合は、それらの孔からの雨水の侵入を少なくできる構造を採用すること。 (11)等圧方式の場合の圧力差は50Pa以下とし、等圧孔の大きさは過去の試験値により算定すること。ジョイントのシステム ・ 等圧方式 ・ ダブルシール方式 ・ その他 ()</p> <p>(2)メンテナンス、清掃作業に対する配慮 (7)メンテナンス及び清掃を必要とする部分については、これらの作業が安全かつ容易に行われるよう配慮する。 (8)カーテンウォールに荷重のかかる清掃用機械、器具等を使用する場合は、カーテンウォールの構造強度を確認し、機構等がそれらの使用に支障のない材料、表面仕上げ、構造とする。 ルーバーや窓木等に人が乗る場合の強度は、100kgまたは想定荷重の1.5倍を見込むこと。 (9)清掃に使用する薬剤、方法等に指定がある場合は、取扱説明書を提出する。</p> <p>(3)接触腐食 異種金属の接触腐食の生じないこととする。</p> <p>(4)PCカーテンウォールの、繰り返し応力によるひび割れの抑制 (計算による) (7)再現期間30年の風荷重に対して0.2mm以上のひび割れが生じないこと。 (8)水平震度 k=0.5の地震荷重に対して0.2mm以上のひび割れが生じないこと。 (9)開口パネルの場合は上記許容ひび割れ幅を0.1mm以下とする。</p> <p>(5)PCカーテンウォールの打込枠に接続する設備用ダクト等の接続用チャンパー カーテンウォール工事として耐候性・耐風圧性を考慮したものとする。 材 料 ※ アルミ ・ ステンレス 塗 装 ※ ふっ素樹脂焼付塗装 ・ 着色塗装 1) 塗装の種類 ※ ふっ素系 ・ アクリルシリコン系 ・ 2) 塗装の厚さ ※ 40μ以上 ・</p> <p>(6)カーテンウォールを支持する構造部材 ※ 鉄骨工事等を含む ()</p> <p>(7)雨がかりになるPCカーテンウォールの仕上げ (屋上アーチ)などの用途で裏面などの箇所) ※ 17.3.31による着色塗装とする</p> <p>(8)ガasketのクロス部分 ウィンドバリアのガasketのクロス部分は、当該部位から100mm程度、シールを施工すること</p>	<p>●17.3.11 製作基準 (付加)</p> <p>●17.3.12 施工基準 (付加)</p>	<p>(1)材料及び部品 (7)通常の状態できびの発生を予想される金属材料は防錆処理を施す。 (8)材料及び部品は、製作中の品質低下、損傷、発錆等を防ぐため適切な養生を施して取り扱う。</p> <p>(2)製作上の一般事項 製作は、施工図、製作要領書及び社内規格に基づき、十分な技術管理と作業管理のもとに、正確かつ丁寧にを行う。 (3)複数の協力業者による工場組立作業 複数の協力業者が製作にかかわる場合は、各作業の内容、責任範囲を明確に製作要領書に記載すると共に、総合責任者を定めること。 (4)複数の協力業者による同一部材の製作 ガラスを含め、見えがかりになる同一形状、同一仕上げの部材を、複数の製造者が使用する場合は、すべて同一工場で作成する。ただし、適切な対策を講じることで、監理者が承認した場合はこの限りではない。</p> <p>(3)製作上の注意事項 (7)製作工程 PCカーテンウォールの製作工程は、製作要領書に明記する。 (8)社外製作部品およびコンクリート製造材料 社外製作部品の範囲は製作要領書に明記し、製造仕様を記入する。またコンクリート製造材料、セメント、粗骨材、細骨材、混和材に関しては、材料メーカーの品質保証および施工者側の品質管理を明確にする。またコンクリート製造設備の整備点検管理も明確にする。 (9)製作上の注意事項 ①型枠の組立時には、ベッド面の水平を保ち、使用回数に応じて点検調整を行う。 ②使用回数に応じて、組立用ボルト、ノックピンの位置を変えて型枠精度を保持。 ③既型用フックおよび反転用金物は、現場吊り込み用インサートおよびファスナー金物と兼用しない。またそれぞれの金物の補強筋は離れた位置に設置する。 ④コンクリート打設は材料が分離しないように、型枠上を平均に分配して打設する。特に型枠の入り隅等は、水平に回数を分けて打設する。 ⑤蒸気加熱養生は、温度50℃以下とし、加熱時間は6時間程度とする。加熱勾配は20℃/以下とする。</p> <p>(4)検査済票の表示 製作工場から工事現場へ出荷する部材は最終検査に合格したことを証明する検査済票を部材に貼り付ける。検査済票には製造番号、検査内容、検査責任者名、製品番号、検査年月日を明記する。</p> <p>(1)施工計画 (付加) カーテンウォール施工者は、工事に先立ち施工計画書を作成し、監理者に提出する。 施工計画書は下記の内容による (7)施工関係者組織表 (イ)責任体制 (ロ)工程計画 (ハ)部材一覧表 (8)運搬、揚重、保管計画 (9)墨出し計画 (ニ)取り付け方法及び取り付け順序 (9)養生、清掃計画 (ヘ)検査計画 (ホ)安全管理</p> <p>(2)運搬・保管 (7)運搬・揚重 カーテンウォール部材の運搬、揚重に当たっては、部材に損傷をあたえたり、汚したりしないための適切な養生と運搬方法を採用する。 (8)保管 カーテンウォール部材の保管に当たっては、部材に損傷をあたえたり、直射日光や雨水で変質しないよう養生方法及び保管場所に注意する。</p> <p>(3)主要部材の取付け (7)現場溶接あるいは高力ボルト締め付けによって本固定する場合は、固定後すみやかにき止め塗装を行う。 (8)全ての作業工程は、そのつど作業責任者の検査を行い、検査票に記載した後、次の作業に移る。 (9)溶接作業は、溶接作業者の認定試験に合格した者が同等の技術のある者が行う。</p> <p>(4)施工中の養生 日射及び大気汚染によって養生材料が変化し、除去時に接着剤等がカーテンウォール部材に残存することのないように養生材料を選定する。</p> <p>(5)現場表面仕上げ 施工に際して表面仕上げ材が周囲に飛散しないように十分な養生を行う。</p> <p>(6)補修、取り替え カーテンウォールの損傷による補修、取り替えが必要な場合は、予め補修、取り替え箇所施工方法、施工時期等を記した補修、取り替え計画書を作成し、監理者の承諾を得た後行う。</p>
--	--	------------------------------	--	---	---

 <p>株式会社 日本設計</p>	<p>特記</p>	<p>埼玉県浦和競馬組合</p> <p>課長 飛塚 石井 阿相 主査 矢島 阿相</p>	<p>設計 1 級建築士登録第 322998号 平塚 智 設計 1 級建築士登録第 355122号 齋藤 晋佑 設計 1 級建築士登録第 213138号 熊坂 寛</p>	<p>浦和競馬場非常用発電機棟建築工事</p>	<p>図面名称 特記仕様書(8)</p> <p>縮尺 A1:1/xxx, A3:1/xxx</p>	<p>TOK_H1HATU.dwg</p> <p>図面番号 A-1010</p> <p>区分 建築図</p>
---	-----------	--	---	-------------------------	---	--

18章 塗装工事

18.1節 共通事項	
●18.1.1 一般事項	(付加) 塗床は、15章 左官工事 9節 無機質系塗床 及び 19章 内装工事 4節 合成樹脂塗床 による。 防塵塗床 (防塵塗装) は、15章 左官工事 15.9.2 及び 19章 内装工事 19.4.2 の防塵塗床 による。 耐火塗料は、7章 鉄骨工事 7.9節 耐火被覆の項による。
(置換)	工場において塗装を施す工事に通用する
●18.1.3 材料	(2) 防火材料の指定 ※ 図示 ・ 屋内の壁・天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする ()
(付加)	(5) 「標仕」に記載されている事項及び、東京都環境局鉛ガイドラインによる鉛含有量0.06%以下の塗料とする。
(付加)	(6) 建物内部に使用する塗料の種類 ・ 水性系 ・ 水性系又は弱溶剤系 ・

18.2節 素地ごしらえ																																															
●18.2 素地ごしらえ	<table border="1"> <tr> <th>下 地</th> <th>部 位</th> <th>種 別</th> <th>標仕記載番号</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">木部</td> <td>不透明塗料の場合</td> <td>※ A種 ・ B種</td> <td>— (18.2.2) (表18.2.1)</td> </tr> <tr> <td>透明塗料の場合</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>※ A種 ・ B種</td> <td>—</td> <td>(18.2.3) (表18.2.2)</td> </tr> <tr> <td>※ C種 ・ A種 ・ B種</td> <td>—</td> <td>(18.2.4) (表18.2.3)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>※ 塗り工法に応じた節の規定</td> <td>—</td> <td>(18.2.5) (表18.2.4)</td> </tr> <tr> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>—</td> <td>(18.2.6) (表18.2.5)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モルタル及びブラスター面</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>—</td> <td>(18.2.6) (表18.2.6)</td> </tr> <tr> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>—</td> <td>(表18.2.6)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">7節 (DP) 塗りのコンクリート面、 押出成形セメント板</td> <td>※ 塗り工法に応じた節の規定</td> <td>—</td> <td>(表18.2.6)</td> </tr> <tr> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>—</td> <td>(表18.2.7)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">せつこうボード及び その他のボード面</td> <td>※ A種 ・ B種</td> <td>—</td> <td>(18.2.7) (表18.2.7)</td> </tr> <tr> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>—</td> <td>(表18.2.7)</td> </tr> </table>	下 地	部 位	種 別	標仕記載番号	木部	不透明塗料の場合	※ A種 ・ B種	— (18.2.2) (表18.2.1)	透明塗料の場合	※ B種 ・ A種	—	鉄鋼面	※ A種 ・ B種	—	(18.2.3) (表18.2.2)	※ C種 ・ A種 ・ B種	—	(18.2.4) (表18.2.3)	亜鉛めっき鋼面	※ 塗り工法に応じた節の規定	—	(18.2.5) (表18.2.4)	※ B種 ・ A種	—	(18.2.6) (表18.2.5)	モルタル及びブラスター面	※ B種 ・ A種	—	(18.2.6) (表18.2.6)	※ B種 ・ A種	—	(表18.2.6)	7節 (DP) 塗りのコンクリート面、 押出成形セメント板	※ 塗り工法に応じた節の規定	—	(表18.2.6)	※ B種 ・ A種	—	(表18.2.7)	せつこうボード及び その他のボード面	※ A種 ・ B種	—	(18.2.7) (表18.2.7)	※ B種 ・ A種	—	(表18.2.7)
下 地	部 位	種 別	標仕記載番号																																												
木部	不透明塗料の場合	※ A種 ・ B種	— (18.2.2) (表18.2.1)																																												
	透明塗料の場合	※ B種 ・ A種	—																																												
鉄鋼面	※ A種 ・ B種	—	(18.2.3) (表18.2.2)																																												
	※ C種 ・ A種 ・ B種	—	(18.2.4) (表18.2.3)																																												
亜鉛めっき鋼面	※ 塗り工法に応じた節の規定	—	(18.2.5) (表18.2.4)																																												
	※ B種 ・ A種	—	(18.2.6) (表18.2.5)																																												
モルタル及びブラスター面	※ B種 ・ A種	—	(18.2.6) (表18.2.6)																																												
	※ B種 ・ A種	—	(表18.2.6)																																												
7節 (DP) 塗りのコンクリート面、 押出成形セメント板	※ 塗り工法に応じた節の規定	—	(表18.2.6)																																												
	※ B種 ・ A種	—	(表18.2.7)																																												
せつこうボード及び その他のボード面	※ A種 ・ B種	—	(18.2.7) (表18.2.7)																																												
	※ B種 ・ A種	—	(表18.2.7)																																												

18.3 錆止め塗料塗り																										
●18.3.2 塗料種別	<table border="1"> <tr> <th>下 地</th> <th>部 位</th> <th>種 別</th> <th>標仕記載番号</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>一般</td> <td>※ A種</td> <td>— (表18.3.1)</td> </tr> <tr> <td>8節 (EP-G)</td> <td>※ B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>一般</td> <td>※ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>— (表18.3.2)</td> </tr> <tr> <td>8節 (EP-G)</td> <td>※ C種</td> <td>—</td> </tr> </table>	下 地	部 位	種 別	標仕記載番号	鉄鋼面	一般	※ A種	— (表18.3.1)	8節 (EP-G)	※ B種	—	亜鉛めっき鋼面	一般	※ A種 ・ B種 ・ C種	— (表18.3.2)	8節 (EP-G)	※ C種	—							
下 地	部 位	種 別	標仕記載番号																							
鉄鋼面	一般	※ A種	— (表18.3.1)																							
	8節 (EP-G)	※ B種	—																							
亜鉛めっき鋼面	一般	※ A種 ・ B種 ・ C種	— (表18.3.2)																							
	8節 (EP-G)	※ C種	—																							
●18.3.3 錆止め塗料塗り	<table border="1"> <tr> <th>下 地</th> <th>部 位</th> <th>種 別</th> <th>標仕記載番号</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>見え掛り部分</td> <td>※ A種 ・ A種</td> <td>— (表18.3.3)</td> </tr> <tr> <td>見え隠れ部分</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>鋼製建具</td> <td>※ A種 ・ A種</td> <td>— (表18.3.4)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>— (表18.3.2B種)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼面</td> <td>8節 (EP-G)</td> <td>※ C種</td> <td>— (表18.3.2)</td> </tr> <tr> <td>鉛含有量0.06%以下とする</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>	下 地	部 位	種 別	標仕記載番号	鉄鋼面	見え掛り部分	※ A種 ・ A種	— (表18.3.3)	見え隠れ部分	※ B種 ・ A種	—	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※ A種 ・ A種	— (表18.3.4)	その他	※ B種 ・ A種	— (表18.3.2B種)	鋼面	8節 (EP-G)	※ C種	— (表18.3.2)	鉛含有量0.06%以下とする	—	—
下 地	部 位	種 別	標仕記載番号																							
鉄鋼面	見え掛り部分	※ A種 ・ A種	— (表18.3.3)																							
	見え隠れ部分	※ B種 ・ A種	—																							
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※ A種 ・ A種	— (表18.3.4)																							
	その他	※ B種 ・ A種	— (表18.3.2B種)																							
鋼面	8節 (EP-G)	※ C種	— (表18.3.2)																							
	鉛含有量0.06%以下とする	—	—																							

18.4節～18.14節 塗料塗りの種別

●18.4～18.14 塗料塗りの種別																																								
(付加)	<table border="1"> <tr> <th>塗 料 名</th> <th>種 別</th> <th>標仕記載番号</th> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部 屋外 ※ A種 屋内 ※ B種</td> <td>(18.4.3) (表18.4.1)</td> </tr> <tr> <td>・ 塗料の種類 ※ 1種</td> <td>鉄鋼面 ※ B種 ・ A種</td> <td>(18.4.4) (表18.4.2)</td> </tr> <tr> <td>・ クリヤラッカー塗り (CL)</td> <td>木部 ※ B種 ・ A種</td> <td>(18.5.2) (表18.5.1)</td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td>屋内のｺﾝｸﾘｰﾄ面, ｷﾞﾗｽ面 ※ B種 ・ A種</td> <td>(18.6.2) (表18.6.1)</td> </tr> <tr> <td>○ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面, 亜鉛めっき鋼面 ○ 1級 (ふっ素) 2-FUE (18.7.2.3) (表18.7.1) ○ 2級 (ﾌﾞﾘｯｸ) 2-ASE (表18.7.2) ○ 3級 (ﾌﾞﾘｯｸ) 2-UE (表18.7.2)</td> <td>(18.7.2.3) (表18.7.1) (表18.7.2)</td> </tr> <tr> <td>○ ｺﾝｸﾘｰﾄ面, ECP面</td> <td>・ A種 (ふっ素) 2-FUE (18.7.4) (表18.7.3) ○ B種 (ﾌﾞﾘｯｸ) 2-ASE ・ C種 (ﾌﾞﾘｯｸ) 2-UE</td> <td>(18.7.4) (表18.7.3)</td> </tr> <tr> <td>・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>ｺﾝｸﾘｰﾄ面, ｷﾞﾗｽ面, せつこうボード面, その他のボード面 ※ B種 ・ A種</td> <td>(18.8.2) (表18.8.1) (表18.8.3)</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (・ EP ・ EP-Si)</td> <td>ｺﾝｸﾘｰﾄ面, ｷﾞﾗｽ面, せつこうボード面, その他のボード面 ※ B種 ・ A種</td> <td>(18.9.2) (表18.9.1)</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td> <td>屋内のｺﾝｸﾘｰﾄ面, ｷﾞﾗｽ面, せつこうボード面, その他のボード面 ※ B種 ・ A種</td> <td>(18.10.2) (表18.10.1)</td> </tr> <tr> <td>・ ウレタン樹脂ワニス塗り (LC)</td> <td>木部 ※ B種 ・ A種</td> <td>(18.11.2) (表18.11.1)</td> </tr> <tr> <td>・ オイルステイン塗り (OS)</td> <td>木部 ※ () 同品目 (表18.12.1)</td> <td>(18.12.2) (表18.12.1)</td> </tr> <tr> <td>・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>木部 ※ B種 ・ A種</td> <td>(18.13.2) (表18.13.1)</td> </tr> </table>	塗 料 名	種 別	標仕記載番号	・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部 屋外 ※ A種 屋内 ※ B種	(18.4.3) (表18.4.1)	・ 塗料の種類 ※ 1種	鉄鋼面 ※ B種 ・ A種	(18.4.4) (表18.4.2)	・ クリヤラッカー塗り (CL)	木部 ※ B種 ・ A種	(18.5.2) (表18.5.1)	・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	屋内のｺﾝｸﾘｰﾄ面, ｷﾞﾗｽ面 ※ B種 ・ A種	(18.6.2) (表18.6.1)	○ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面, 亜鉛めっき鋼面 ○ 1級 (ふっ素) 2-FUE (18.7.2.3) (表18.7.1) ○ 2級 (ﾌﾞﾘｯｸ) 2-ASE (表18.7.2) ○ 3級 (ﾌﾞﾘｯｸ) 2-UE (表18.7.2)	(18.7.2.3) (表18.7.1) (表18.7.2)	○ ｺﾝｸﾘｰﾄ面, ECP面	・ A種 (ふっ素) 2-FUE (18.7.4) (表18.7.3) ○ B種 (ﾌﾞﾘｯｸ) 2-ASE ・ C種 (ﾌﾞﾘｯｸ) 2-UE	(18.7.4) (表18.7.3)	・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面, ｷﾞﾗｽ面, せつこうボード面, その他のボード面 ※ B種 ・ A種	(18.8.2) (表18.8.1) (表18.8.3)	・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (・ EP ・ EP-Si)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面, ｷﾞﾗｽ面, せつこうボード面, その他のボード面 ※ B種 ・ A種	(18.9.2) (表18.9.1)	・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	屋内のｺﾝｸﾘｰﾄ面, ｷﾞﾗｽ面, せつこうボード面, その他のボード面 ※ B種 ・ A種	(18.10.2) (表18.10.1)	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (LC)	木部 ※ B種 ・ A種	(18.11.2) (表18.11.1)	・ オイルステイン塗り (OS)	木部 ※ () 同品目 (表18.12.1)	(18.12.2) (表18.12.1)	・ 木材保護塗料塗り (WP)	木部 ※ B種 ・ A種	(18.13.2) (表18.13.1)
塗 料 名	種 別	標仕記載番号																																						
・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部 屋外 ※ A種 屋内 ※ B種	(18.4.3) (表18.4.1)																																						
・ 塗料の種類 ※ 1種	鉄鋼面 ※ B種 ・ A種	(18.4.4) (表18.4.2)																																						
・ クリヤラッカー塗り (CL)	木部 ※ B種 ・ A種	(18.5.2) (表18.5.1)																																						
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	屋内のｺﾝｸﾘｰﾄ面, ｷﾞﾗｽ面 ※ B種 ・ A種	(18.6.2) (表18.6.1)																																						
○ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面, 亜鉛めっき鋼面 ○ 1級 (ふっ素) 2-FUE (18.7.2.3) (表18.7.1) ○ 2級 (ﾌﾞﾘｯｸ) 2-ASE (表18.7.2) ○ 3級 (ﾌﾞﾘｯｸ) 2-UE (表18.7.2)	(18.7.2.3) (表18.7.1) (表18.7.2)																																						
○ ｺﾝｸﾘｰﾄ面, ECP面	・ A種 (ふっ素) 2-FUE (18.7.4) (表18.7.3) ○ B種 (ﾌﾞﾘｯｸ) 2-ASE ・ C種 (ﾌﾞﾘｯｸ) 2-UE	(18.7.4) (表18.7.3)																																						
・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面, ｷﾞﾗｽ面, せつこうボード面, その他のボード面 ※ B種 ・ A種	(18.8.2) (表18.8.1) (表18.8.3)																																						
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (・ EP ・ EP-Si)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面, ｷﾞﾗｽ面, せつこうボード面, その他のボード面 ※ B種 ・ A種	(18.9.2) (表18.9.1)																																						
・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	屋内のｺﾝｸﾘｰﾄ面, ｷﾞﾗｽ面, せつこうボード面, その他のボード面 ※ B種 ・ A種	(18.10.2) (表18.10.1)																																						
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (LC)	木部 ※ B種 ・ A種	(18.11.2) (表18.11.1)																																						
・ オイルステイン塗り (OS)	木部 ※ () 同品目 (表18.12.1)	(18.12.2) (表18.12.1)																																						
・ 木材保護塗料塗り (WP)	木部 ※ B種 ・ A種	(18.13.2) (表18.13.1)																																						

18.7節 耐候性塗料塗り (DP)																													
●18.7.5 (付加) コンクリート系素地に適用する コンクリート素地面に 対するクリア塗装	<table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>種 別</th> <th>塗料・その他</th> <th>塗付量 kg/m²</th> </tr> <tr> <td>1 素地ごしらえ</td> <td>○ ○ ○</td> <td>下記参照</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2 下塗り (1回目)</td> <td>○ ○ ○</td> <td>浸透性吸収防止材 (濡れ色にならない溶剤系)</td> <td>0.16～0.2</td> </tr> <tr> <td>3 下塗り (2回目)</td> <td>○ — ○</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4 中塗り</td> <td>○ — ○</td> <td>常温乾燥形ふっ素樹脂クリアー (2-FUC) アクリルシリコン樹脂クリアー (2-ASC)</td> <td>0.10～0.15</td> </tr> <tr> <td>5 上塗り</td> <td>— — ○</td> <td>補修等のかかし塗装</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>6 上塗り</td> <td>○ — ○</td> <td>常温乾燥形ふっ素樹脂クリアー (2-FUC) アクリルシリコン樹脂クリアー (2-ASC)</td> <td>0.10～0.12</td> </tr> </table> <p>(注) (ア) 素地ごしらえは、18.2.6(2)B種とする。素地仕上のため、原則サンダー掛けや補修は禁止とする。 (イ) 下塗りは素地ごしらえの後、乾燥した清浄な状態で開始する。 (ロ) 1回目下塗り後、素地の吸込み状況が良好であれば3は省略することができる。 (ハ) 仕上りは素地の状況に左右されるので、必ず試験施工を行って工程を決定すること。 (ニ) 工程5は3と4の間に実施することもできる。</p> <p>種別 ※ C種 ・ A種 ・ B種 中塗り、上塗りの塗装の種類 施工箇所 ○ 図示 ・ () ・ 常温乾燥形ふっ素樹脂クリアー ○ アクリルシリコン樹脂クリアー</p>	工 程	種 別	塗料・その他	塗付量 kg/m ²	1 素地ごしらえ	○ ○ ○	下記参照	—	2 下塗り (1回目)	○ ○ ○	浸透性吸収防止材 (濡れ色にならない溶剤系)	0.16～0.2	3 下塗り (2回目)	○ — ○	—	—	4 中塗り	○ — ○	常温乾燥形ふっ素樹脂クリアー (2-FUC) アクリルシリコン樹脂クリアー (2-ASC)	0.10～0.15	5 上塗り	— — ○	補修等のかかし塗装	—	6 上塗り	○ — ○	常温乾燥形ふっ素樹脂クリアー (2-FUC) アクリルシリコン樹脂クリアー (2-ASC)	0.10～0.12
工 程	種 別	塗料・その他	塗付量 kg/m ²																										
1 素地ごしらえ	○ ○ ○	下記参照	—																										
2 下塗り (1回目)	○ ○ ○	浸透性吸収防止材 (濡れ色にならない溶剤系)	0.16～0.2																										
3 下塗り (2回目)	○ — ○	—	—																										
4 中塗り	○ — ○	常温乾燥形ふっ素樹脂クリアー (2-FUC) アクリルシリコン樹脂クリアー (2-ASC)	0.10～0.15																										
5 上塗り	— — ○	補修等のかかし塗装	—																										
6 上塗り	○ — ○	常温乾燥形ふっ素樹脂クリアー (2-FUC) アクリルシリコン樹脂クリアー (2-ASC)	0.10～0.12																										

●18.7.6 (付加) P-C面微弾性へアクリック追従型ふっ素樹脂塗り	<p>微弾性2-FUE-S 施工箇所 ・ 図示 ・ () 微弾性2-FUE-M 施工箇所 ・ 図示 ・ () プレキャストコンクリート面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>判別</th> <th>材料・その他</th> </tr> <tr> <td>1 素地ごしらえ</td> <td>○ ○</td> <td>下地に型枠の不陸、目違い、ジャンヌ、ヒコキなどがある場合は、補修材で平滑に調整を行う (素地ごしらえはPC製造工区内で行う)</td> </tr> <tr> <td>2 研磨紙すり</td> <td>○ ○</td> <td>PC面の全面をP120～220で研磨</td> </tr> <tr> <td>3 下塗り</td> <td>○ ○</td> <td>二液反応硬化型エポキシ樹脂シーラー</td> </tr> <tr> <td>4 パテ処理</td> <td>○ ○</td> <td>エポキシパテ</td> </tr> <tr> <td>5 サーフューサー</td> <td>○ ○</td> <td>PC用微弾性サーフェーサー</td> </tr> <tr> <td>6 中塗り</td> <td>○ ○</td> <td>低汚染ふっ素樹脂用中塗材 弾性メタリック用中塗材</td> </tr> <tr> <td>7 上塗り</td> <td>○ ○</td> <td>低汚染ふっ素樹脂上塗材 弾性メタリック用塗料</td> </tr> <tr> <td>8 仕上げ塗り</td> <td>○ ○</td> <td>低汚染弾性ふっ素樹脂上塗材</td> </tr> </table> <p>(注) (ア) 工程3の下塗りについては、PC面の状態が良好な場合は1回塗りとする。 (イ) 工程4のパテ処理後の仕上りの状態によっては、研磨紙すりを行う。 (ウ) その他施工に当たっての注意事項は、製造所の仕様による。</p>	工 程	判別	材料・その他	1 素地ごしらえ	○ ○	下地に型枠の不陸、目違い、ジャンヌ、ヒコキなどがある場合は、補修材で平滑に調整を行う (素地ごしらえはPC製造工区内で行う)	2 研磨紙すり	○ ○	PC面の全面をP120～220で研磨	3 下塗り	○ ○	二液反応硬化型エポキシ樹脂シーラー	4 パテ処理	○ ○	エポキシパテ	5 サーフューサー	○ ○	PC用微弾性サーフェーサー	6 中塗り	○ ○	低汚染ふっ素樹脂用中塗材 弾性メタリック用中塗材	7 上塗り	○ ○	低汚染ふっ素樹脂上塗材 弾性メタリック用塗料	8 仕上げ塗り	○ ○	低汚染弾性ふっ素樹脂上塗材
工 程	判別	材料・その他																										
1 素地ごしらえ	○ ○	下地に型枠の不陸、目違い、ジャンヌ、ヒコキなどがある場合は、補修材で平滑に調整を行う (素地ごしらえはPC製造工区内で行う)																										
2 研磨紙すり	○ ○	PC面の全面をP120～220で研磨																										
3 下塗り	○ ○	二液反応硬化型エポキシ樹脂シーラー																										
4 パテ処理	○ ○	エポキシパテ																										
5 サーフューサー	○ ○	PC用微弾性サーフェーサー																										
6 中塗り	○ ○	低汚染ふっ素樹脂用中塗材 弾性メタリック用中塗材																										
7 上塗り	○ ○	低汚染ふっ素樹脂上塗材 弾性メタリック用塗料																										
8 仕上げ塗り	○ ○	低汚染弾性ふっ素樹脂上塗材																										

18.15節 焼付け塗装 (付加)

●18.15.1 共通事項	<p>(1) 焼付け温度は、被塗物の表面温度で管理する。 (2) 裏面は原則として下塗りまでとする。 (3) 塗装ラインは、素地ごしらえと連続した処理ラインを備え、他と隔離して粉じん防止を施したクリンゾーンを形成していること。 (4) 亜鉛鋼板の溶接部は、研磨仕上げを行い、エポキシ系ジンクリッチプライマー処理を行ってから下塗り工程に移る。 (5) 外部に使用する粉体塗装は、耐候性 (付着性、退色性、光沢保持率等すべて) について、あらかじめ技術的資料を作成・提出し監理者の確認を受けること。 (6) ステンレス鋼板面の素地ごしらえについては、あらかじめ技術的資料を作成・提出し監理者の確認を受けること。</p>																																				
●18.15.2 熱可塑性ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り (高温焼付けｸﾘｯｸﾀｲﾌﾟ) (B-FU-2S)	<p>B-FU-2S 施工箇所 ・ 図示 ・ () アルミニウム素地面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>材料・その他</th> <th>標準膜厚 (μm)</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>化成皮膜処理又は製造所の仕様による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2 下塗り</td> <td>エポキシ樹脂系プライマー</td> <td>5～15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>工場塗装</td> </tr> <tr> <td>4 上塗り</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>25～45</td> <td>2コート</td> </tr> <tr> <td>5 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>1ベーク</td> </tr> <tr> <td>6 焼付け</td> <td>235±15℃×15±10分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最低膜厚</td> <td>—</td> <td>30以上</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>上塗りの色が隠蔽性の劣る色 (白、黄、赤など) の場合は、下地の色の影響が出ないよう考慮すること。</p>	工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要	素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—	1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	5～15	—	3 セッティング	10～20分	—	工場塗装	4 上塗り	ふっ素樹脂塗料	25～45	2コート	5 セッティング	10～20分	—	1ベーク	6 焼付け	235±15℃×15±10分	—	—	最低膜厚	—	30以上	—
工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要																																		
素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—																																		
1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—																																		
2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	5～15	—																																		
3 セッティング	10～20分	—	工場塗装																																		
4 上塗り	ふっ素樹脂塗料	25～45	2コート																																		
5 セッティング	10～20分	—	1ベーク																																		
6 焼付け	235±15℃×15±10分	—	—																																		
最低膜厚	—	30以上	—																																		

●18.15.3 熱可塑性ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り (高温焼付けｸﾘｯｸﾀｲﾌﾟ) (B-FU-2S)	<p>B-FU-2S 施工箇所 ・ 図示 ・ () アルミニウム素地面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>材料・その他</th> <th>標準膜厚 (μm)</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>化成皮膜処理又は製造所の仕様による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2 下塗り</td> <td>エポキシ樹脂系プライマー</td> <td>10～15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>工場塗装</td> </tr> <tr> <td>4 焼付け</td> <td>200±15℃×15±10分</td> <td>—</td> <td>2コート</td> </tr> <tr> <td>5 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>2ベーク</td> </tr> <tr> <td>6 上塗り</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>25～45</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>7 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>8 焼付け</td> <td>235±15℃×15±10分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最低膜厚</td> <td>—</td> <td>35以上</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>上塗りの色が隠蔽性の劣る色 (白、黄、赤など) の場合は、下地の色の影響が出ないよう考慮すること。</p>	工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要	素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—	1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	10～15	—	3 セッティング	10～20分	—	工場塗装	4 焼付け	200±15℃×15±10分	—	2コート	5 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	2ベーク	6 上塗り	ふっ素樹脂塗料	25～45	—	7 セッティング	10～20分	—	—	8 焼付け	235±15℃×15±10分	—	—	最低膜厚	—	35以上	—
工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要																																										
素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—																																										
1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—																																										
2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	10～15	—																																										
3 セッティング	10～20分	—	工場塗装																																										
4 焼付け	200±15℃×15±10分	—	2コート																																										
5 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	2ベーク																																										
6 上塗り	ふっ素樹脂塗料	25～45	—																																										
7 セッティング	10～20分	—	—																																										
8 焼付け	235±15℃×15±10分	—	—																																										
最低膜厚	—	35以上	—																																										

●18.15.4 熱可塑性ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り (高温焼付けｸﾘｯｸﾀｲﾌﾟ) (B-FU-2M)	<p>B-FU-2M 施工箇所 ・ 図示 ・ () アルミニウム素地面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>材料・その他</th> <th>標準膜厚 (μm)</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>化成皮膜処理又は製造所の仕様による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2 下塗り</td> <td>エポキシ樹脂系プライマー</td> <td>5～15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4 上塗り (1)</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>25～45</td> <td>工場塗装</td> </tr> <tr> <td>5 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>3コート</td> </tr> <tr> <td>6 焼付け</td> <td>235±15℃×15±10分</td> <td>—</td> <td>2ベーク</td> </tr> <tr> <td>7 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>8 上塗り (2)</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>10～15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>9 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>10 焼付け</td> <td>235±15℃×15±10分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最低膜厚</td> <td>—</td> <td>40以上</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>工場 (海外工場等) の仕様によっては上記「6.7」の工程を省略可能とする。</p>	工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要	素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—	1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	5～15	—	3 セッティング	10～20分	—	—	4 上塗り (1)	ふっ素樹脂塗料	25～45	工場塗装	5 セッティング	10～20分	—	3コート	6 焼付け	235±15℃×15±10分	—	2ベーク	7 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	8 上塗り (2)	ふっ素樹脂塗料	10～15	—	9 セッティング	10～20分	—	—	10 焼付け	235±15℃×15±10分	—	—	最低膜厚	—	40以上	—
工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要																																																		
素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—																																																		
1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—																																																		
2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	5～15	—																																																		
3 セッティング	10～20分	—	—																																																		
4 上塗り (1)	ふっ素樹脂塗料	25～45	工場塗装																																																		
5 セッティング	10～20分	—	3コート																																																		
6 焼付け	235±15℃×15±10分	—	2ベーク																																																		
7 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—																																																		
8 上塗り (2)	ふっ素樹脂塗料	10～15	—																																																		
9 セッティング	10～20分	—	—																																																		
10 焼付け	235±15℃×15±10分	—	—																																																		
最低膜厚	—	40以上	—																																																		

●18.15.5 熱可塑性ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り (高温焼付けｸﾘｯｸﾀｲﾌﾟ) (B-FU-2M)	<p>B-FU-2M 施工箇所 ・ 図示 ・ () ステンレス鋼板面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>材料・その他</th> <th>標準膜厚 (μm)</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>化成皮膜処理又は製造所の仕様による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2 下塗り</td> <td>エポキシ樹脂系プライマー</td> <td>10～15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4 焼付け</td> <td>200±15℃×15±10分</td> <td>—</td> <td>工場塗装</td> </tr> <tr> <td>5 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>3コート</td> </tr> <tr> <td>6 上塗り (1)</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>25～45</td> <td>3ベーク</td> </tr> <tr> <td>7 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>8 焼付け</td> <td>235±15℃×15±10分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>9 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>10 上塗り (2)</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>10～15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>11 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>12 焼付け</td> <td>235±15℃×15±10分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最低膜厚</td> <td>—</td> <td>45以上</td> <td>—</td> </tr> </table>	工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要	素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—	1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	10～15	—	3 セッティング	10～20分	—	—	4 焼付け	200±15℃×15±10分	—	工場塗装	5 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	3コート	6 上塗り (1)	ふっ素樹脂塗料	25～45	3ベーク	7 セッティング	10～20分	—	—	8 焼付け	235±15℃×15±10分	—	—	9 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	10 上塗り (2)	ふっ素樹脂塗料	10～15	—	11 セッティング	10～20分	—	—	12 焼付け	235±15℃×15±10分	—	—	最低膜厚	—	45以上	—
工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要																																																										
素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—																																																										
1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—																																																										
2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	10～15	—																																																										
3 セッティング	10～20分	—	—																																																										
4 焼付け	200±15℃×15±10分	—	工場塗装																																																										
5 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	3コート																																																										
6 上塗り (1)	ふっ素樹脂塗料	25～45	3ベーク																																																										
7 セッティング	10～20分	—	—																																																										
8 焼付け	235±15℃×15±10分	—	—																																																										
9 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—																																																										
10 上塗り (2)	ふっ素樹脂塗料	10～15	—																																																										
11 セッティング	10～20分	—	—																																																										
12 焼付け	235±15℃×15±10分	—	—																																																										
最低膜厚	—	45以上	—																																																										

●18.15.6 熱硬化形ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り (中温焼付けｸﾘｯｸﾀｲﾌﾟ) (B-FU-1S)	<p>B-FU-1S 施工箇所 ・ 図示 ・ () アルミニウム素地面及びステンレス鋼板面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>材料・その他</th> <th>標準膜厚 (μm)</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>化成皮膜処理又は製造所の仕様による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2 下塗り</td> <td>エポキシ樹脂系プライマー</td> <td>5～10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3 セッティング</td> <td>5～10分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4 上塗り (1)</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>15～20</td> <td>工場塗装</td> </tr> <tr> <td>5 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>3コート</td> </tr> <tr> <td>6 上塗り (2)</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>20～30</td> <td>1ベーク</td> </tr> <tr> <td>7 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>8 焼付け</td> <td>熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最低膜厚</td> <td>—</td> <td>40以上</td> <td>—</td> </tr> </table>	工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要	素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—	1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	5～10	—	3 セッティング	5～10分	—	—	4 上塗り (1)	ふっ素樹脂塗料	15～20	工場塗装	5 セッティング	10～20分	—	3コート	6 上塗り (2)	ふっ素樹脂塗料	20～30	1ベーク	7 セッティング	10～20分	—	—	8 焼付け	熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分	—	—	最低膜厚	—	40以上	—
工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要																																										
素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—																																										
1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—																																										
2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	5～10	—																																										
3 セッティング	5～10分	—	—																																										
4 上塗り (1)	ふっ素樹脂塗料	15～20	工場塗装																																										
5 セッティング	10～20分	—	3コート																																										
6 上塗り (2)	ふっ素樹脂塗料	20～30	1ベーク																																										
7 セッティング	10～20分	—	—																																										
8 焼付け	熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分	—	—																																										
最低膜厚	—	40以上	—																																										

●18.15.7 熱硬化形ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り (中温焼付けｸﾘｯｸﾀｲﾌﾟ) (B-FU-1S)	<p>B-FU-1S 施工箇所 ・ 図示 ・ () 亜鉛めっき鋼板面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>材料・その他</th> <th>標準膜厚 (μm)</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>化成皮膜処理又は製造所の仕様による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2 下塗り</td> <td>エポキシ樹脂系プライマー</td> <td>5～10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3 セッティング</td> <td>5～10分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4 上塗り (1)</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>15～20</td> <td>工場塗装</td> </tr> <tr> <td>5 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>3コート</td> </tr> <tr> <td>6 上塗り (2)</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>20～30</td> <td>2ベーク</td> </tr> <tr> <td>7 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>8 焼付け</td> <td>熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>9 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>10 焼付け</td> <td>熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最低膜厚</td> <td>—</td> <td>45以上</td> <td>—</td> </tr> </table>	工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要	素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—	1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	5～10	—	3 セッティング	5～10分	—	—	4 上塗り (1)	ふっ素樹脂塗料	15～20	工場塗装	5 セッティング	10～20分	—	3コート	6 上塗り (2)	ふっ素樹脂塗料	20～30	2ベーク	7 セッティング	10～20分	—	—	8 焼付け	熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分	—	—	9 セッティング	10～20分	—	—	10 焼付け	熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分	—	—	最低膜厚	—	45以上	—
工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要																																																		
素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—																																																		
1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—																																																		
2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	5～10	—																																																		
3 セッティング	5～10分	—	—																																																		
4 上塗り (1)	ふっ素樹脂塗料	15～20	工場塗装																																																		
5 セッティング	10～20分	—	3コート																																																		
6 上塗り (2)	ふっ素樹脂塗料	20～30	2ベーク																																																		
7 セッティング	10～20分	—	—																																																		
8 焼付け	熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分	—	—																																																		
9 セッティング	10～20分	—	—																																																		
10 焼付け	熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分	—	—																																																		
最低膜厚	—	45以上	—																																																		

●18.15.8 熱硬化形ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り (高温焼付けｸﾘｯｸﾀｲﾌﾟ) (B-FU-1M)	<p>B-FU-1M 施工箇所 ・ 図示 ・ () アルミニウム素地面及びステンレス鋼板面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>材料・その他</th> <th>標準膜厚 (μm)</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>化成皮膜処理又は製造所の仕様による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2 下塗り</td> <td>エポキシ樹脂系プライマー</td> <td>5～10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4 上塗り (1)</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>15～20</td> <td>工場塗装</td> </tr> <tr> <td>5 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>2コート</td> </tr> <tr> <td>6 上塗り (2)</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>15～20</td> <td>4ベーク</td> </tr> <tr> <td>7 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>8 焼付け</td> <td>熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>9 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>10 上塗り (3)</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>10～15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>11 セッティング</td> <td>10～20分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>12 焼付け</td> <td>熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最低膜厚</td> <td>—</td> <td>45以上</td> <td>—</td> </tr> </table>	工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要	素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—	1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	5～10	—	3 セッティング	10～20分	—	—	4 上塗り (1)	ふっ素樹脂塗料	15～20	工場塗装	5 セッティング	10～20分	—	2コート	6 上塗り (2)	ふっ素樹脂塗料	15～20	4ベーク	7 セッティング	10～20分	—	—	8 焼付け	熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分	—	—	9 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	10 上塗り (3)	ふっ素樹脂塗料	10～15	—	11 セッティング	10～20分	—	—	12 焼付け	熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分	—	—	最低膜厚	—	45以上	—
工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要																																																										
素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—																																																										
1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—																																																										
2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	5～10	—																																																										
3 セッティング	10～20分	—	—																																																										
4 上塗り (1)	ふっ素樹脂塗料	15～20	工場塗装																																																										
5 セッティング	10～20分	—	2コート																																																										
6 上塗り (2)	ふっ素樹脂塗料	15～20	4ベーク																																																										
7 セッティング	10～20分	—	—																																																										
8 焼付け	熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分	—	—																																																										
9 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—																																																										
10 上塗り (3)	ふっ素樹脂塗料	10～15	—																																																										
11 セッティング	10～20分	—	—																																																										
12 焼付け	熱風乾燥炉 170±10℃×25±10分	—	—																																																										
最低膜厚	—	45以上	—																																																										

●18.15.9 熱硬化形ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り (高温焼付けｸﾘｯｸﾀｲﾌﾟ) (P-FU-A)	<p>P-FU-A 施工箇所 ・ 図示 ・ () アルミニウム素地面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>材料・その他</th> <th>標準膜厚 (μm)</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>化成皮膜処理又は製造所の仕様による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>工場塗装</td> </tr> <tr> <td>2 上塗り</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>50</td> <td>1コート</td> </tr> <tr> <td>3 焼付け</td> <td>塗料製造所指定の温度・時間範囲による</td> <td>—</td> <td>1ベーク</td> </tr> <tr> <td>最低膜厚</td> <td>—</td> <td>40以上</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>上塗りの色が隠蔽性の劣る色 (白、黄、赤など) の場合は、最低膜厚60μm以上とする 膜厚は参考値とし、製造所の仕様による</p>	工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要	素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—	1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	工場塗装	2 上塗り	ふっ素樹脂塗料	50	1コート	3 焼付け	塗料製造所指定の温度・時間範囲による	—	1ベーク	最低膜厚	—	40以上	—
工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要																						
素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—																						
1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	工場塗装																						
2 上塗り	ふっ素樹脂塗料	50	1コート																						
3 焼付け	塗料製造所指定の温度・時間範囲による	—	1ベーク																						
最低膜厚	—	40以上	—																						

●18.15.10 熱硬化形ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り (高温焼付けｸﾘｯｸﾀｲﾌﾟ) (P-FU-S)	<p>P-FU-S 施工箇所 ・ 図示 ・ () 亜鉛めっき鋼板面及びステンレス鋼板面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>材料・その他</th> <th>標準膜厚 (μm)</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>化成皮膜処理又は製造所の仕様による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2 下塗り</td> <td>エポキシ樹脂系プライマー</td> <td>50</td> <td>工場塗装</td> </tr> <tr> <td>3 焼付け</td> <td>塗料製造所指定の温度・時間範囲による</td> <td>—</td> <td>2コート</td> </tr> <tr> <td>4 上塗り</td> <td>ふっ素樹脂塗料</td> <td>50</td> <td>2ベーク</td> </tr> <tr> <td>5 焼付け</td> <td>塗料製造所指定の温度・時間範囲による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最低膜厚</td> <td>—</td> <td>90以上</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>膜厚は参考値とし、製造所の仕様による</p>	工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要	素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—	1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	50	工場塗装	3 焼付け	塗料製造所指定の温度・時間範囲による	—	2コート	4 上塗り	ふっ素樹脂塗料	50	2ベーク	5 焼付け	塗料製造所指定の温度・時間範囲による	—	—	最低膜厚	—	90以上	—
工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要																														
素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—																														
1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—																														
2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	50	工場塗装																														
3 焼付け	塗料製造所指定の温度・時間範囲による	—	2コート																														
4 上塗り	ふっ素樹脂塗料	50	2ベーク																														
5 焼付け	塗料製造所指定の温度・時間範囲による	—	—																														
最低膜厚	—	90以上	—																														

●18.15.11 ふっ素・ポリエステル複合 (ハイブリッド) 樹脂粉体塗装 (AAMA規格2605相当) (P-FU-A)	<p>P-FU-A 施工箇所 ・ 図示 ・ () アルミニウム素地面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>材料・その他</th> <th>標準膜厚 (μm)</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>化成皮膜処理又は製造所の仕様による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>工場塗装</td> </tr> <tr> <td>2 上塗り</td> <td>ふっ素・ポリエステル複合樹脂粉体塗料</td> <td>40</td> <td>1コート</td> </tr> <tr> <td>3 焼付け</td> <td>塗料製造所指定の温度・時間範囲による</td> <td>—</td> <td>1ベーク</td> </tr> <tr> <td>最低膜厚</td> <td>—</td> <td>40以上</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>上塗りの色が隠蔽性の劣る色 (白、黄、赤など) の場合は、最低膜厚60μm以上とする 膜厚は参考値とし、製造所の仕様による</p>	工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要	素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—	1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	工場塗装	2 上塗り	ふっ素・ポリエステル複合樹脂粉体塗料	40	1コート	3 焼付け	塗料製造所指定の温度・時間範囲による	—	1ベーク	最低膜厚	—	40以上	—
工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要																						
素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—																						
1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	工場塗装																						
2 上塗り	ふっ素・ポリエステル複合樹脂粉体塗料	40	1コート																						
3 焼付け	塗料製造所指定の温度・時間範囲による	—	1ベーク																						
最低膜厚	—	40以上	—																						

●18.15.12 ふっ素・ポリエステル複合 (ハイブリッド) 樹脂粉体塗装 (AAMA規格2605相当) (P-FU-S)	<p>P-FU-S 施工箇所 ・ 図示 ・ () 亜鉛めっき鋼板面及びステンレス鋼板面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>材料・その他</th> <th>標準膜厚 (μm)</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>化成皮膜処理又は製造所の仕様による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2 下塗り</td> <td>エポキシ樹脂系プライマー</td> <td>50</td> <td>工場塗装</td> </tr> <tr> <td>3 焼付け</td> <td>塗料製造所指定の温度・時間範囲による</td> <td>—</td> <td>2コート</td> </tr> <tr> <td>4 上塗り</td> <td>ふっ素・ポリエステル複合樹脂粉体塗料</td> <td>50</td> <td>2コート</td> </tr> <tr> <td>5 焼付け</td> <td>塗料製造所指定の温度・時間範囲による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最低膜厚</td> <td>—</td> <td>90以上</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>膜厚は参考値とし、製造所の仕様による</p>	工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要	素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—	1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	50	工場塗装	3 焼付け	塗料製造所指定の温度・時間範囲による	—	2コート	4 上塗り	ふっ素・ポリエステル複合樹脂粉体塗料	50	2コート	5 焼付け	塗料製造所指定の温度・時間範囲による	—	—	最低膜厚	—	90以上	—
工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要																														
素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—																														
1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—																														
2 下塗り	エポキシ樹脂系プライマー	50	工場塗装																														
3 焼付け	塗料製造所指定の温度・時間範囲による	—	2コート																														
4 上塗り	ふっ素・ポリエステル複合樹脂粉体塗料	50	2コート																														
5 焼付け	塗料製造所指定の温度・時間範囲による	—	—																														
最低膜厚	—	90以上	—																														

●18.15.13 高耐候性ポリエステル樹脂粉体塗装 (AAMA規格2604相当) (P-PE)	<p>P-PE 施工箇所 ・ 図示 ・ () 金属系素地面に適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>工 程</th> <th>材料・その他</th> <th>標準膜厚 (μm)</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>化成皮膜処理又は製造所の仕様による</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1 エアブロー</td> <td>塗装面をエアブローし、ごみなどを除去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2 </td></tr></table>	工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要	素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—	1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—	2
工 程	材料・その他	標準膜厚 (μm)	摘要											
素地ごしらえ	化成皮膜処理又は製造所の仕様による	—	—											
1 エアブロー	塗装面をエアブローし、ごみなどを除去	—	—											
2														

Table with 6 columns: Item No., Description, Material/Spec, etc. Includes items like グリーストラップ, ガソリントラップ, コーナプロテクター, etc.

Table with 2 columns: Item No., Description. Includes items like 車止めブロック, 敷地境界石標, 人工木デッキ, etc.

21章 排水工事

Table with 2 columns: Item No., Description. Includes items like 屋外雨水排水, 排水管用材料, 排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手, etc.

Table with 2 columns: Item No., Description. Includes items like 地業, 現場打ちコンクリート, 鉄筋コンクリート造, etc.

21.2.2 施工

Table with 2 columns: Item No., Description. Includes items like 21.3節 街きよ、緑石及び側溝, 21.3.1 材料, 21.3.2 施工, etc.

22章 舗装工事

Table with 2 columns: Item No., Description. Includes items like 22.1節 一般事項, 22.2節 路床, 22.3節 路盤, 22.4節 アスファルト舗装, 22.5節 コンクリート舗装, etc.

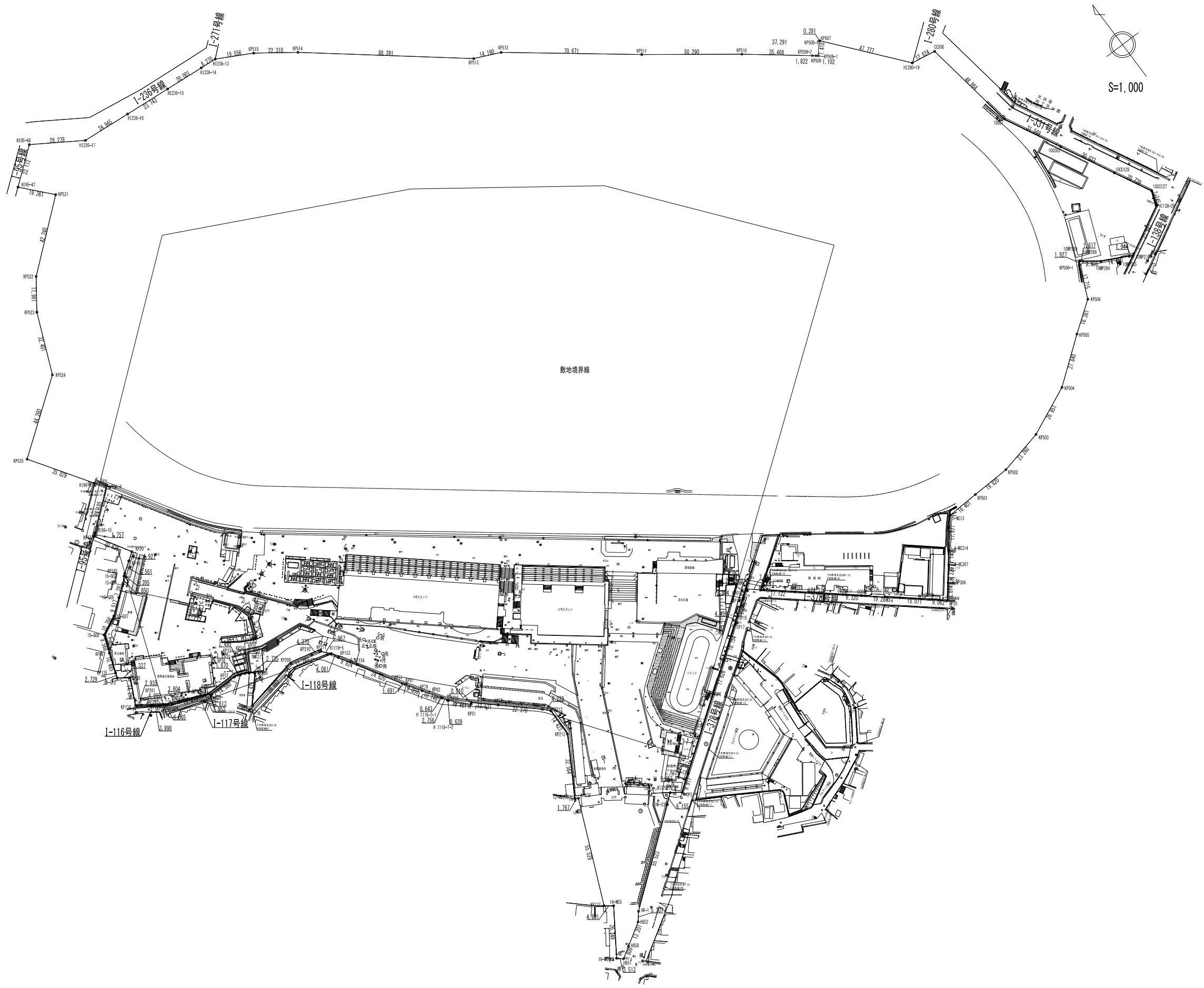
NIHON SEKKEI 株式会社 日本設計

特記 埼玉県浦和競馬組合 課長 飛塚 副参事 石井 主幹 阿相 主査 矢島 担当 阿相

設計 1級建築士登録第 322398号 平塚 智 設計 1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑 設計 1級建築士登録第 213138号 飯坂 寛

図面名称 TOK_H1HATU.dwg 特記仕様書(12) 浦和競馬場非常用発電機棟建築工事 図面番号 A-1014 縮尺 no-scale 区分 建築図

<p>○22.5.4 施工 (置換)</p>	<p>(5) (7)目地の種類及び間隔 「標仕」表22.5.3は下表に置き換える。 コンクリート舗装の目地</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>目地の種類</th> <th>目地の間隔</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">駐車場、広場等</td> <td>縦横方向</td> <td>伸縮目地</td> <td>10m程度ごと</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収縮目地</td> <td>伸縮目地の間に3m程度ごと</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">車路及び歩行者用通路</td> <td>縦方向</td> <td>突き合せ目地</td> <td>3m程度ごと</td> </tr> <tr> <td>横方向</td> <td>収縮目地</td> <td>3m程度ごと</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>伸縮目地</td> <td>10m程度ごと</td> </tr> <tr> <td>舗装内の柵の周囲</td> <td></td> <td>伸縮調整目地</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>建築物、構造物との取合い</td> <td></td> <td>伸縮調整目地</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>表内の「伸縮目地」は、図22.5.1の「伸縮調整目地」にならない、突き合せ目地に加え注入目地板を施工すること。 図がない場合は、「構内舗装・排水設計基準(社団法人公共建築協会)平成27年版」2.5.4目地の図2.5.3コンクリート舗装の目地の構造「横膨張目地」と同構造とする。 (付加) 注入目地材の底部は粘着テープ、バックアップ材等でコンクリート版、目地板から絶縁を行うこと。 (付加) 目地の割付は図面を監理者に提出し、位置を確認すること。 (付加) 真空コンクリート工法 ※行わない ・ 行う (・ 円形溝 ・ 横溝 ・ 溝なし)</p>	部位	目地の種類	目地の間隔	駐車場、広場等	縦横方向	伸縮目地	10m程度ごと		収縮目地	伸縮目地の間に3m程度ごと	車路及び歩行者用通路	縦方向	突き合せ目地	3m程度ごと	横方向	収縮目地	3m程度ごと			伸縮目地	10m程度ごと	舗装内の柵の周囲		伸縮調整目地	—	建築物、構造物との取合い		伸縮調整目地	—	<p>22.10節 半たわみ性舗装 (付加)</p> <p>○22.10.1 基本要品質</p> <p>○22.10.2 舗装の構成と仕上り</p> <p>構成および厚さ ※ 図示 ・ 下表による 路盤 ※ 150mm ・ 開粒度アスファルト ※ 40mm ・ 50mm ・ 100mm 舗装厚さの許容差 ※ 22.4.2(3)による ・ 舗装の平坦性 ※ 水たまりを生じない程度 ・</p> <p>○22.10.3 材料</p> <p>開粒度アスファルト ※ I型 ・ II型 浸透用セメントミルク ※ 普通タイプ ・ 早強タイプ ・ 超硬タイプ</p> <p>○22.10.4 仕上げ</p> <p>顔料の添加 ※ 行わない ・ 行う (色:現場指示による) 表面仕上げ処置 ※ ショットプラスト ・ 行わない ・</p> <p>○22.10.5 試験</p> <p>舗装厚さの試験 ※ 22.4.6(1)による ・ 舗装の平坦性 ※22.4.6(2)による アスファルト混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う アスファルト混合物の抽出試験を行わない場合、アスファルト混合物の材料計量印字記録を提出し、配合が基準値を満足する事を示すこと。</p>																										
部位	目地の種類	目地の間隔																																																							
駐車場、広場等	縦横方向	伸縮目地	10m程度ごと																																																						
		収縮目地	伸縮目地の間に3m程度ごと																																																						
車路及び歩行者用通路	縦方向	突き合せ目地	3m程度ごと																																																						
	横方向	収縮目地	3m程度ごと																																																						
		伸縮目地	10m程度ごと																																																						
舗装内の柵の周囲		伸縮調整目地	—																																																						
建築物、構造物との取合い		伸縮調整目地	—																																																						
<p>22.6節 カラー舗装</p> <p>○22.6.2 舗装の構成及び仕上り</p> <p>(1) カラー舗装の種類 ※ 図示 ・ 下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>表層</th> <th>部位</th> <th>カラー舗装の厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">※ 加熱系 カラー舗装</td> <td rowspan="2">アスファルト混合物 石油樹脂系混合物</td> <td>※ 車路 (基層なし)</td> <td>※ 50 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 車路 (基層あり)</td> <td>※ 30 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 常温系 カラー舗装</td> <td>・ ニート工法 ・ 塗布工法</td> <td>車路及び歩行者用通路</td> <td>※ 30 ・ 3~5 1程度以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) (c)舗装の平坦性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ (3) (7)着色部の下部 ※ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装 ・ 図示</p> <p>○22.6.3 材料</p> <p>(1) (f)加熱系混合物に添加する着色骨材又は自然石 ・ 有色骨材(焼成) ・ 着色骨材(樹脂被覆) ・ 図示 ・</p> <p>○22.6.4 配合その他</p> <p>(1) (f)加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料の添加量 ・ 図示 ・ (2) ニート工法及び塗布工法の配合その他 ・ 図示 ・</p> <p>○22.6.6 試験 (付加)</p> <p>(1) (f)加熱系混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う 加熱系混合物の抽出試験を行わない場合、混合物の材料計量印字記録を提出し、配合が基準値を満足する事を示すこと。</p>		種類	表層	部位	カラー舗装の厚さ	※ 加熱系 カラー舗装	アスファルト混合物 石油樹脂系混合物	※ 車路 (基層なし)	※ 50 ・	・ 車路 (基層あり)	※ 30 ・	・ 常温系 カラー舗装	・ ニート工法 ・ 塗布工法	車路及び歩行者用通路	※ 30 ・ 3~5 1程度以下	<p>22.11節 透水性コンクリート舗装 (ポーラスコンクリート舗装) (付加)</p> <p>○22.11.1 基本要品質</p> <p>透水性コンクリート舗装 (ポーラスコンクリート舗装) はNETIS登録済みの工法、または同等品とし、技術資料を提出して監理者の承認を受ける。 施工については、(社)日本道路協会「舗装施工便覧」(最新版)および「透水性舗装ガイドブック2007」に基づき、施工計画書を提出すること。</p> <p>○22.11.2 舗装の構成と仕上り</p> <p>構成及び厚さ ※ 図示 ・ 下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路盤</th> <th>※ 150mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>透水性コンクリート</td> <td>・ 150mm (大型車) ※ 130mm (緊急車両) ・ 100mm (駐車場) ・ 80mm (歩道)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 図示 ・ 下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>強度</th> <th>透水係数</th> <th>仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 曲げ強度 2.5N/m²</td> <td>10⁻³ cm/sec以上</td> <td>※ 標準品 ・ 吹付着色 ・ 洗い出し</td> </tr> <tr> <td>・ 曲げ強度 4.5N/m²</td> <td>10⁻² cm/sec以上</td> <td>※ 標準品</td> </tr> </tbody> </table> <p>○22.11.3 材料・仕上げ</p> <p>目地は、標仕22.5.4(5) (7)、(f)による。目地の構造、間隔は舗装の製造所の基準に基づき、割付図を作成し、監理者に提出すること。</p> <p>○22.11.5 試験</p> <p>コンクリート版の厚さ ※22.5.6(1)による ・ 舗装の平坦性 ※22.4.6(2)による ・</p>		路盤	※ 150mm	透水性コンクリート	・ 150mm (大型車) ※ 130mm (緊急車両) ・ 100mm (駐車場) ・ 80mm (歩道)	強度	透水係数	仕上げ	※ 曲げ強度 2.5N/m ²	10 ⁻³ cm/sec以上	※ 標準品 ・ 吹付着色 ・ 洗い出し	・ 曲げ強度 4.5N/m ²	10 ⁻² cm/sec以上	※ 標準品																											
種類	表層	部位	カラー舗装の厚さ																																																						
※ 加熱系 カラー舗装	アスファルト混合物 石油樹脂系混合物	※ 車路 (基層なし)	※ 50 ・																																																						
		・ 車路 (基層あり)	※ 30 ・																																																						
・ 常温系 カラー舗装	・ ニート工法 ・ 塗布工法	車路及び歩行者用通路	※ 30 ・ 3~5 1程度以下																																																						
路盤	※ 150mm																																																								
透水性コンクリート	・ 150mm (大型車) ※ 130mm (緊急車両) ・ 100mm (駐車場) ・ 80mm (歩道)																																																								
強度	透水係数	仕上げ																																																							
※ 曲げ強度 2.5N/m ²	10 ⁻³ cm/sec以上	※ 標準品 ・ 吹付着色 ・ 洗い出し																																																							
・ 曲げ強度 4.5N/m ²	10 ⁻² cm/sec以上	※ 標準品																																																							
<p>22.8節 ブロック系舗装</p> <p>○22.8.2 舗装の構成及び仕上り</p> <p>(1) 舗装の構成及び厚さ ※ 図示 ・ 表22.8.1による (7) コンクリート平板舗装の目地材 ※ 砂 ・ モルタル ・ 図示 (f) 舗石舗装の基層 ※ 図示 ・ アスファルト混合物(50mm) ・ コンクリート版(70mm) (9) コンクリート平板舗装のクッション材 ・ 砂 ※ 空練りモルタル 舗石舗装のクッション材 ・ 砂 ※ 空練りモルタル (2) 仕上がり面の平坦性 ※ 歩行に支障となる段差がないこと ・</p> <p>○22.8.3 材料 (付加)</p> <p>(1) コンクリート平板の種類、寸法及び厚さ ※ 図示 ・ 厚さ60mm 視覚障害者誘導用ブロック等はJIS T9251により色は黄色系とする。車路及び駐車場は厚さ80mm、歩行者用通路は厚さ60mmとし、平面寸法は300×300mmとする。</p> <p>(2) インターロッキングブロック (JIS A 5371による) ※ 図示 ・ 下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法・厚さ (mm)</th> <th>表面加工等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 普通ブロック (N)</td> <td>厚さ 車路 ※ 80mm ・</td> <td>※ 標準品</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック (P)</td> <td>歩行者用通路 ※ 60mm ・</td> <td>・ 擬石ショットプラスト仕上</td> </tr> <tr> <td>・ 保水性ブロック (M)</td> <td>※ 平面100×200mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 植生用ブロック (V)</td> <td>※ 厚さ80mm ・ 厚さ100mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 舗石用石材の種類、形状及び寸法 ※ 図示 ・ 下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法・厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 小舗石 (花こう岩)</td> <td>※ 約90×約90×約90 ・ 図示</td> <td>※ 目地張り</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ うろこ張り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(付加) (6) 透水性ブロック系舗装 (透水平板、透水性インターロッキングブロック等) の路盤とクッション材 (砂) の間には透水シートを敷設する。 品質: 不織布製透水シート 透水性: 1×10-2cm/sec以上 引張り強度: 25kg/5cm</p>		種類	形状・寸法・厚さ (mm)	表面加工等	※ 普通ブロック (N)	厚さ 車路 ※ 80mm ・	※ 標準品	・ 透水性ブロック (P)	歩行者用通路 ※ 60mm ・	・ 擬石ショットプラスト仕上	・ 保水性ブロック (M)	※ 平面100×200mm		・ 植生用ブロック (V)	※ 厚さ80mm ・ 厚さ100mm		種類	形状・寸法・厚さ (mm)	施工方法	※ 小舗石 (花こう岩)	※ 約90×約90×約90 ・ 図示	※ 目地張り	・	・	・ うろこ張り	<p>22.12節 その他 (付加)</p> <p>○22.12.1 路面表示区画線</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示位置・間隔等</th> <th colspan="3">※ 図示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗料種類: JIS K 5665 路面表示用塗料</td> <td>※ 3種1号 (溶融)</td> <td>・ 1種 (常温)</td> <td>・ 2種 (加熱)</td> </tr> <tr> <td>路面標示塗料用ガラスビーズ JIS R 3301</td> <td>※ 1号</td> <td colspan="2">(含まない)</td> </tr> <tr> <td>色</td> <td>※ 白</td> <td colspan="2">・ 黄</td> </tr> <tr> <td>塗布幅、通行方向</td> <td>※ 150mm</td> <td colspan="2">・ 100mm</td> </tr> <tr> <td>塗布幅、通行直角方法</td> <td>※ 300mm</td> <td colspan="2">・ 450mm</td> </tr> <tr> <td>塗布厚さ</td> <td colspan="3">※ 1.0mm以上 ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>○22.12.2 道路付属施設</p> <p>防護柵 表示、材質などは日本道路協会制定「防護柵の設置基準・同解説 (改訂版)」及び「車両用防護柵標準仕様・同解説 (改訂版)」による。 形状、取付位置 (※ 図示 ・)</p> <p>道路標識 表示、材質などは日本道路協会制定「道路標識設置基準・同解説」による。 形状、取付位置 (※ 図示 ・)</p>		表示位置・間隔等	※ 図示			塗料種類: JIS K 5665 路面表示用塗料	※ 3種1号 (溶融)	・ 1種 (常温)	・ 2種 (加熱)	路面標示塗料用ガラスビーズ JIS R 3301	※ 1号	(含まない)		色	※ 白	・ 黄		塗布幅、通行方向	※ 150mm	・ 100mm		塗布幅、通行直角方法	※ 300mm	・ 450mm		塗布厚さ	※ 1.0mm以上 ・				
種類	形状・寸法・厚さ (mm)	表面加工等																																																							
※ 普通ブロック (N)	厚さ 車路 ※ 80mm ・	※ 標準品																																																							
・ 透水性ブロック (P)	歩行者用通路 ※ 60mm ・	・ 擬石ショットプラスト仕上																																																							
・ 保水性ブロック (M)	※ 平面100×200mm																																																								
・ 植生用ブロック (V)	※ 厚さ80mm ・ 厚さ100mm																																																								
種類	形状・寸法・厚さ (mm)	施工方法																																																							
※ 小舗石 (花こう岩)	※ 約90×約90×約90 ・ 図示	※ 目地張り																																																							
・	・	・ うろこ張り																																																							
表示位置・間隔等	※ 図示																																																								
塗料種類: JIS K 5665 路面表示用塗料	※ 3種1号 (溶融)	・ 1種 (常温)	・ 2種 (加熱)																																																						
路面標示塗料用ガラスビーズ JIS R 3301	※ 1号	(含まない)																																																							
色	※ 白	・ 黄																																																							
塗布幅、通行方向	※ 150mm	・ 100mm																																																							
塗布幅、通行直角方法	※ 300mm	・ 450mm																																																							
塗布厚さ	※ 1.0mm以上 ・																																																								
<p>22.9節 砂利敷き</p> <p>●22.9.2 材料</p> <p>砂利敷きの種別と適用範囲 ※ 下表による ○ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>歩行者用通路</th> <th>※ A種</th> <th>・ B種</th> <th>・</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物周囲その他</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>(付加) 砂利敷きと土の境界部の見切り材 ※ 不要 ・ 図示 ・ 杉目地板 (防腐処理) ・ 土木安定シート ・ 金属製見切り材 ・ PVC製見切り材</p>		歩行者用通路	※ A種	・ B種	・	建物周囲その他	・ A種	※ B種	・																																																
歩行者用通路	※ A種	・ B種	・																																																						
建物周囲その他	・ A種	※ B種	・																																																						



点番号	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn)Yn	面積
H105-9	-15691.473	-14699.004	789499.718458	24.167
H105-10	-15706.611	-14811.866	242446.152222	1.167
CP1	-15707.725	-14919.226	280705.218376	20.636
CP20	-15726.426	-14906.616	306836.348624	4.921
CP19	-15728.239	-14912.664	93866.689856	6.561
CP18	-15761.980	-14918.038	69896.098714	1.396
15-003	-15792.862	-14919.127	52947.981723	3.850
15-004	-15795.639	-14927.894	106542.956262	7.283
15-005	-15795.936	-14927.701	162660.626238	9.511
15-007	-15745.767	-14935.222	162665.322222	10.769
15-008	-15760.418	-14944.932	203679.863704	9.568
CP6	-15769.389	-14946.261	281460.806369	10.485
CP136	-15769.247	-14957.635	186746.646265	2.729
15-012	-15771.872	-14962.788	92895.864444	5.531
CP30	-15775.430	-14947.565	246245.137110	14.260
CP134	-15788.306	-14963.672	215612.328644	2.936
CP201	-15789.842	-14961.170	71033.008670	4.982
CP202	-15783.067	-14947.260	82814.025450	3.388
CP203	-15795.369	-14944.088	87602.243856	6.565
CP204	-15798.919	-14936.565	70480.149670	3.804
CP205	-15800.087	-14935.195	74810.191366	11.473
CP206	-15803.928	-14924.343	84115.951748	3.263
CP207	-15805.723	-14920.820	46299.304460	1.613
CP38	-15807.031	-14919.875	15516.670000	14.580
CP37	-15806.763	-14926.291	700.548660	1.310
CP36	-15807.078	-14933.463	13245.150717	1.201
CP33	-15807.852	-14902.388	22204.573020	2.495
CP34	-15808.568	-14900.077	24391.426049	1.795
CP35	-15805.289	-14898.433	15390.087289	0.480
TK377	-15805.631	-14898.067	30184.208666	2.785
CP109	-15811.354	-14896.367	210941.788887	16.425
CP208	-15823.762	-14906.730	101737.178190	28.682
CP209	-15818.567	-14878.524	-31330.216716	11.261
CP210	-15821.263	-14891.580	45215.226260	4.310
CP211	-15822.271	-14883.340	80886.282280	5.367
H1118-5	-15826.695	-14893.335	126642.948865	4.061
CP153	-15830.390	-14875.648	176774.537624	9.324
CP154	-15835.788	-14880.268	448896.182748	24.200
CP17	-15860.062	-14838.367	338148.531164	1.691
CP81	-15861.480	-14839.045	136265.602225	9.050
CP19	-15869.067	-14834.110	298478.650000	10.465
CP82	-15877.653	-14828.547	133817.888728	0.545
H 1118-7-2	-15878.091	-14828.194	43654.203126	2.756
H 1118-7-2	-15880.497	-14826.849	42582.710328	0.639
CP95	-15880.883	-14826.411	130724.465717	11.461
CP51	-15885.514	-14818.561	114221.469188	0.910
CP55	-15888.671	-14817.916	25818.524756	13.531
CP67	-15891.805	-14807.933	358870.266256	22.370
CP129	-15912.906	-14791.429	26834.220715	4.239
CP128	-15915.360	-14788.510	26710.159340	14.423
CP213	-15930.400	-14788.842	628103.251104	32.564
T2-W6255	-15958.492	-14805.312	436671.720768	1.767
CP136	-15959.489	-14803.862	768216.291836	56.529
CP137	-16010.385	-14828.048	798116.364266	4.901
T6-W65	-16013.321	-14827.269	368184.912660	26.349
T6-W6168	-16036.225	-14836.306	360210.403868	3.513
H851	-16037.599	-14834.316	-17385.818362	6.909
H854	-16034.063	-14828.603	-15420.327662	13.201
H852	-16027.178	-14817.233	-163093.263631	5.307
HK-1	-16023.046	-14813.902	-566409.542910	65.523
HK-23	-15986.343	-14776.086	-561706.376580	6.155
H1319-21	-15985.016	-14785.346	-4396.081988	5.855
CP3	-15988.630	-14760.414	-33019.046118	9.911
H1378-23	-15982.719	-14762.342	-446314.195612	42.123
CP6	-15985.344	-14718.030	-510303.536160	17.626
CP7	-15945.077	-14703.681	-310895.222702	16.164
CP17	-15937.202	-14688.423	-198102.761001	4.436
CP15	-15934.620	-14684.815	-115040.840710	9.015
MP14	-15928.368	-14677.467	-46306.554444	0.949
CP013	-15923.808	-14678.702	-46176.121726	4.207
CP012	-15926.300	-14673.212	34041.861840	7.467
HK-11	-15931.128	-14667.515	233022.818805	17.122
CP018	-15942.187	-14654.443	38670.214836	24.120
CP221	-15947.780	-14638.040	310123.827862	9.162
CP022	-15963.786	-14626.913	269976.589415	19.288
CP023	-15976.235	-14614.180	324361.726100	15.071
CP024	-15985.981	-14602.684	227845.676450	9.162
MP25	-15991.638	-14595.769	-14721.130201	3.674
4-MP306	-15984.972	-14590.241	-206416.000039	9.220
4-MP307	-15977.769	-14684.488	-186908.566006	7.140
4-MP314	-15972.225	-14678.365	-262765.566006	17.577
5-MP3	-15965.369	-14676.910	-211331.470000	15.401
CP001	-15967.719	-14662.583	-26571.352362	19.820
CP002	-15965.885	-14659.776	-83884.912504	23.260
CP003	-15961.940	-14651.069	-225694.486366	26.951
CP004	-15960.561	-14648.460	-405167.170240	27.840
CP005	-15924.066	-14643.324	-388898.479200	18.361
CP006	-15913.371	-14644.389	-389196.523863	17.715
CP008-1	-15897.723	-14641.326	-266290.216222	1.927
TMP263	-15895.624	-14640.122	-4190.489222	1.517
TMP265	-15896.728	-14638.940	93762.031420	9.006
TMP264	-15902.117	-14631.724	171564.334912	14.450
TMP266	-15906.616	-14618.817	103333.678748	30.703
TMP216	-15903.661	-14611.118	-172664.945768	27.947
H138-26	-15896.650	-14597.384	-282244.824000	7.745
T000127	-15889.186	-14583.884	-371204.027644	20.739
T000128	-15870.754	-14599.491	-406665.003360	30.703
T00023	-15844.086	-14478.149	-91927.169360	31.669
T00077	-15815.830	-14427.388	-1102830.534436	48.862
CP506	-15767.699	-14434.978	-727637.326178	12.624
H1280-19	-15766.429	-14444.422	-363093.317006	47.717
CP607	-15728.566	-14477.840	-32811.409600	0.291
CP608-1	-15728.489	-14478.219	79803.943128	7.418
CP609-1	-15734.098	-14483.074	71368.195588	1.102
CP609	-15733.416	-14483.940	26215.931400	1.322
CP609-2	-15722.288	-14486.372	-324146.951296	26.468
CP610	-15710.348	-14513.240	-156443.168480	60.290
CP611	-15680.236	-14653.519	-1069785.521133	70.671
CP612	-15636.841	-14609.288	-718424.880100	14.180
CP613	-15630.981	-14622.227	-89654.889862	38.391
CP614	-15676.335	-14690.896	-1010248.842222	22.310
CP615	-15662.224	-14706.948	-328700.869966	19.596
H1236-13	-15662.988	-14726.186	-146496.098238	8.270
H1236-14	-15662.776	-14724.426	-2446.895466	20.001
H1236-15	-15660.695	-14764.263	-56620.630339	23.743
H1236-16	-15648.513	-14776.009	-61876.528833	24.945
H1236-17	-15646.368	-14802.862	-268073.095108	28.278
H1236-6	-15631.079	-14826.691	-24966.906466	22.112
H1236-47	-15644.683	-14844.084	416666.529222	19.361
CP621	-15659.142	-14831.208	613077.645996	42.240
CP622	-15656.020	-14863.784	615133.989888	17.981
CP623	-15600.944	-14874.236	860266.466814	32.401
CP624	-15630.409	-14887.011	833698.189446	44.260
CP625	-15656.689	-14922.689	807163.413900	36.829
H1236-6	-15686.509	-14900.388	94123.352736	6.365
面積			152061.67	㎡

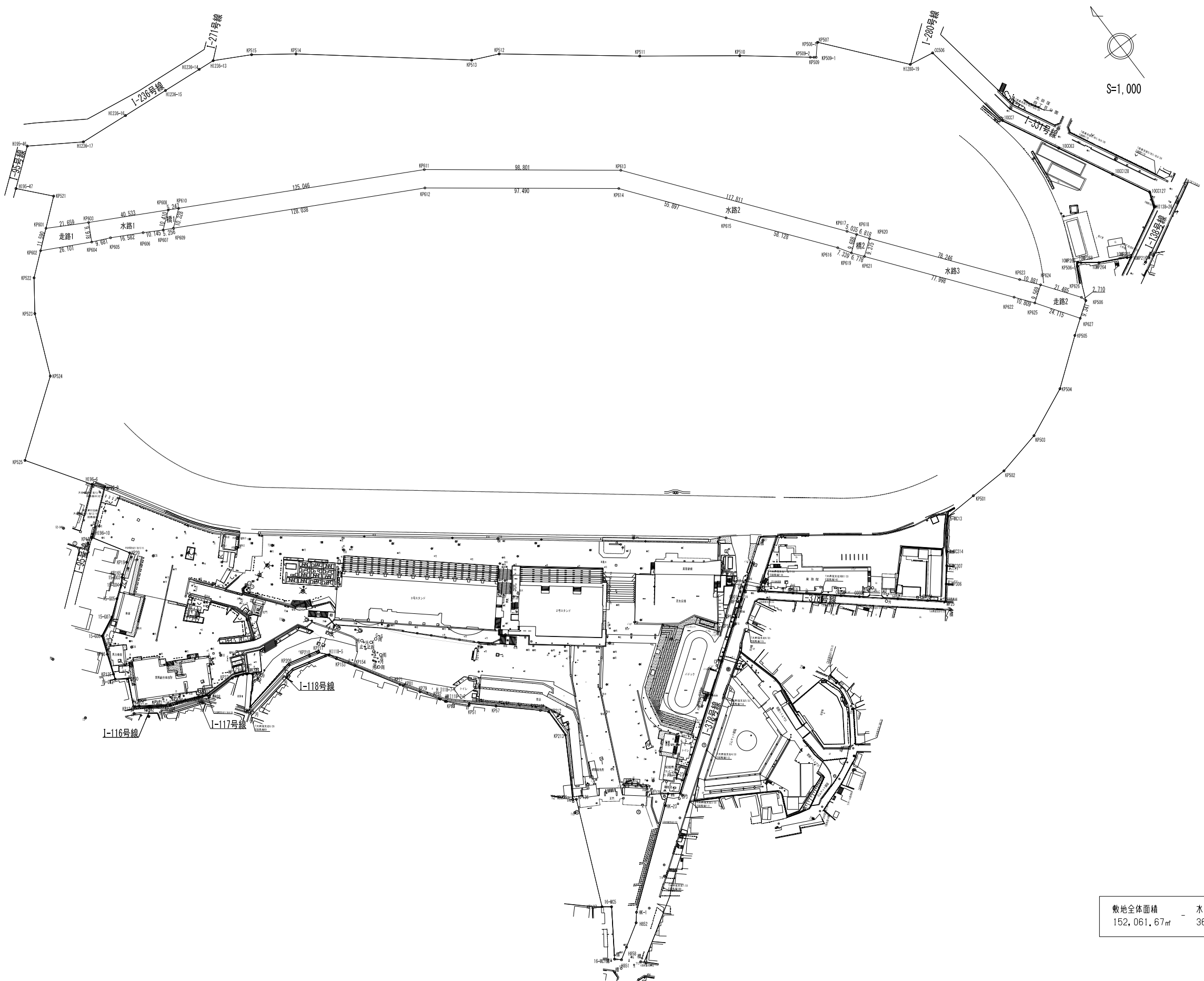
浦和記念公園区域
(無指定地域)

工事箇所
さいたま市南区大谷端一丁目内

図面名
本体求積図

縮尺
1:1,000

埼玉県浦和競馬組合



地番		公簿地積		現況地積		面積	
所有者		Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離		
CP601		-15689,737	-14844,053	-41728,868275	11,580		
CP602		-15677,112	-14852,995	28743,101170	26,101		
CP604		-15689,103	-14829,811	47084,648926	9,378		
CP603		-15680,287	-14826,136	-287103,583776	21,659		
面積				494,29844			
地積				247,145220			
面積				247,14			

地番		公簿地積		現況地積		面積	
所有者		Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離		
CP627		-15916,812	-14456,992	209308,308168	9,341		
CP606		-15913,371	-14446,399	-116165,129360	2,710		
CP626		-15910,772	-14449,167	-288997,789167	21,485		
CP624		-15893,370	-14461,769	-111805,815720	9,569		
面積				474,731449			
地積				237,3667245			
面積				237,36			

地番		公簿地積		現況地積		面積	
所有者		Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離		
CP608		-15699,375	-14789,378	59586,40362	10,410		
CP607		-15605,869	-14797,515	131520,313220	5,256		
CP609		-15608,263	-14792,835	-59600,332215	10,328		
CP610		-15601,840	-14784,746	-131406,324448	5,247		
面積				99,565619			
地積				49,7813056			
面積				49,78			

地番		公簿地積		現況地積		面積	
所有者		Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離		
CP619		-15823,324	-14526,119	163223,416356	6,718		
CP621		-15826,681	-14523,965	-4400,761356	9,375		
CP620		-15823,021	-14516,491	-163092,776385	6,818		
CP618		-15817,446	-14520,417	4396,386251	9,588		
面積				129,565536			
地積				64,7827680			
面積				64,78			

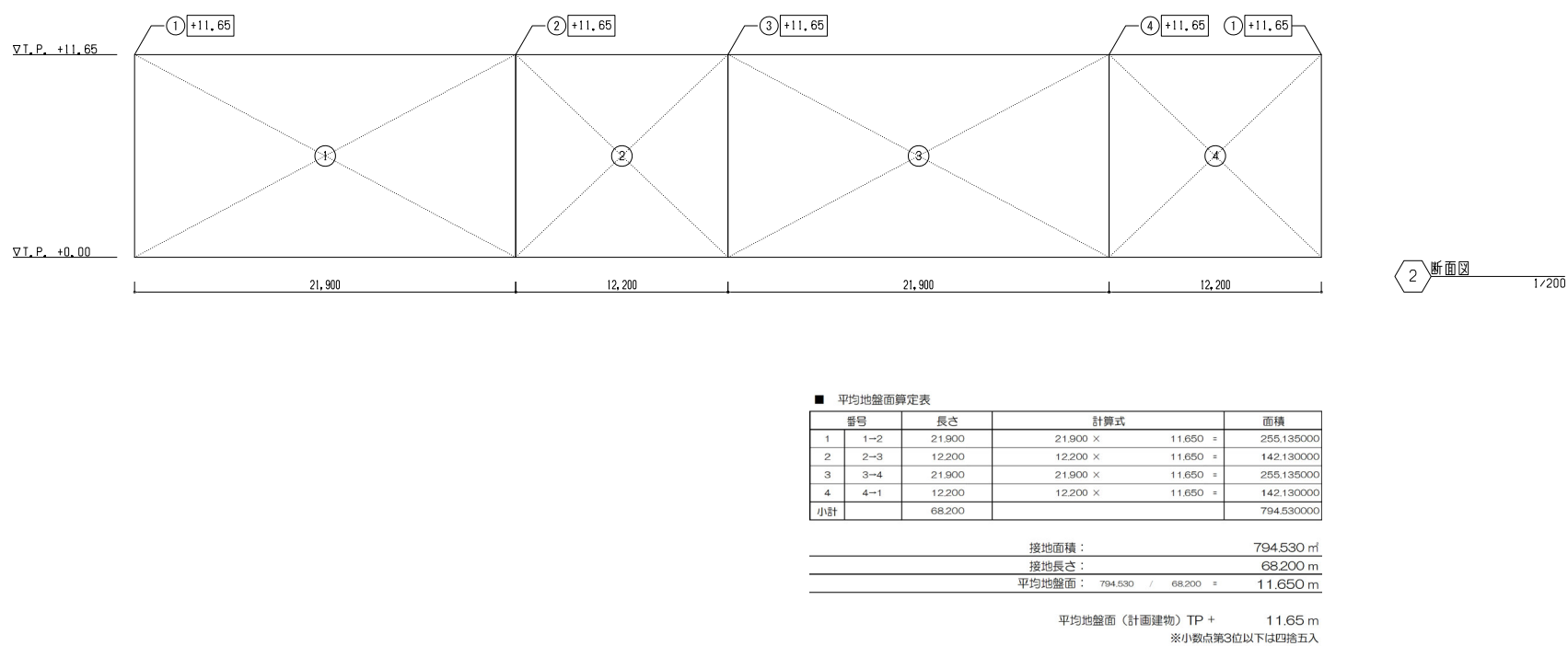
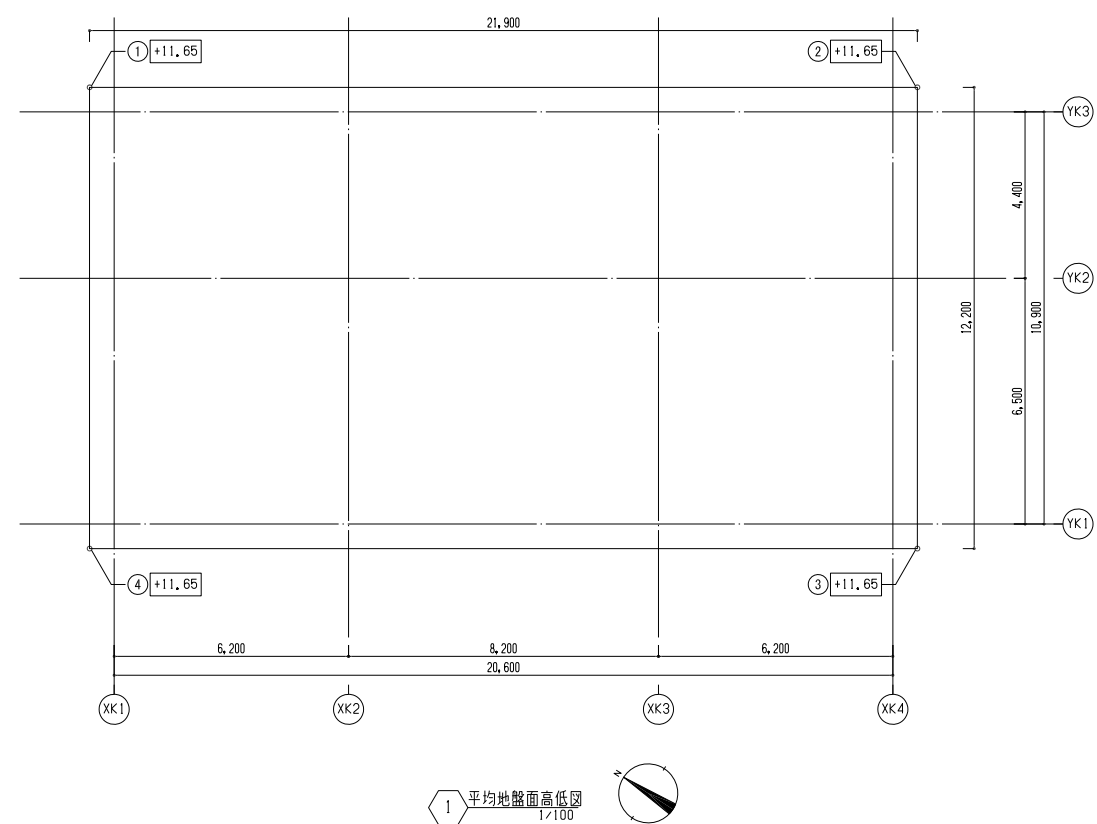
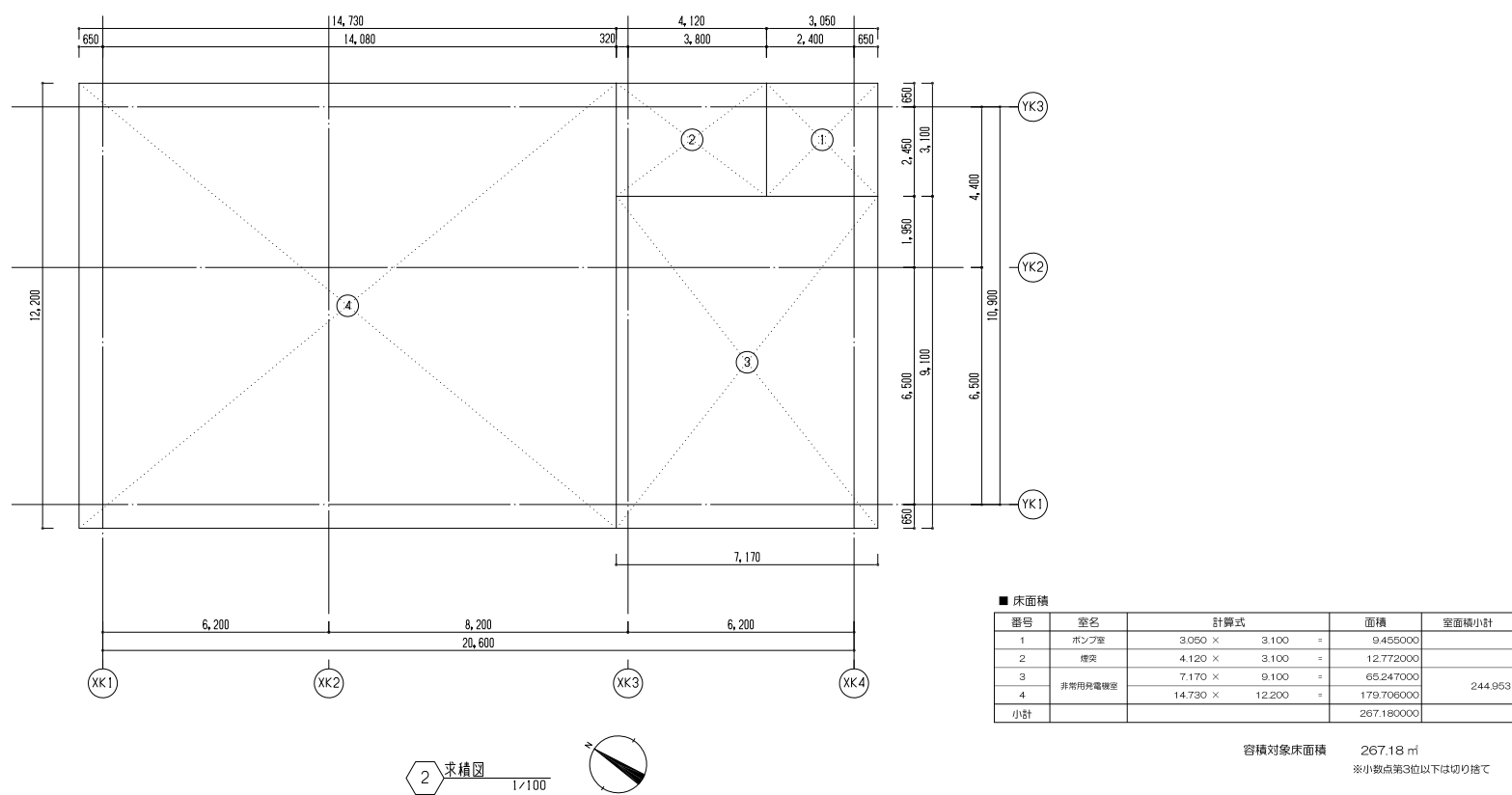
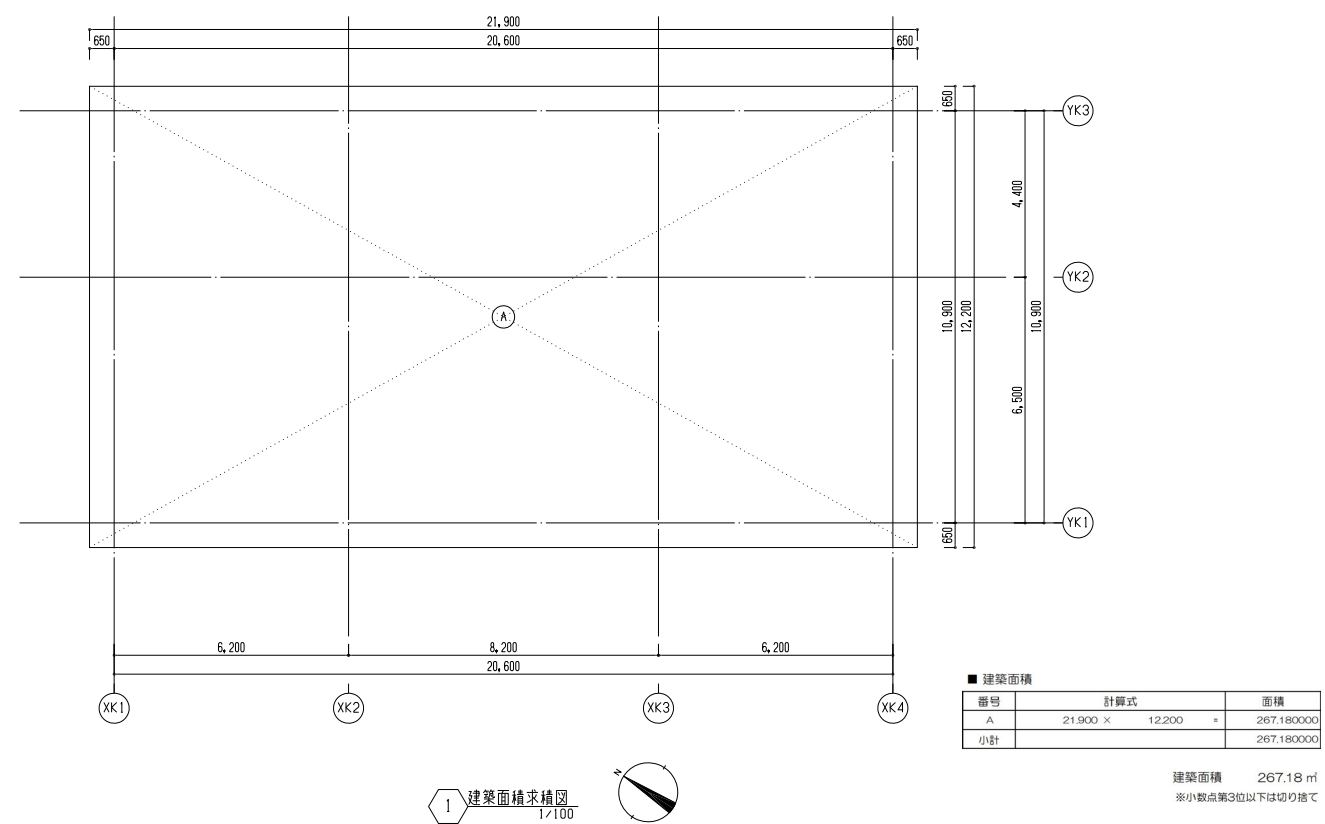
地番		公簿地積		現況地積		面積	
所有者		Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離		
CP603		-15680,287	-14826,136	-152283,796350	9,378		
CP604		-15689,103	-14829,811	89132,601324	9,681		
CP605		-15683,081	-14829,984	174636,854472	16,582		
CP606		-15600,896	-14805,353	189343,841644	10,145		
CP607		-15605,869	-14797,515	-22359,045165	10,410		
CP608		-15699,375	-14789,378	-378341,867956	40,533		
面積				727,188417			
地積				363,5942085			
面積				363,59			

地番		公簿地積		現況地積		面積	
所有者		Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離		
CP610		-15601,840	-14784,746	-772427,578228	10,328		
CP609		-15608,263	-14792,835	391401,054025	128,038		
CP612		-15668,183	-14678,683	1744078,457547	97,490		
CP614		-15727,072	-14601,988	1506800,808824	55,897		
CP615		-15771,306	-14567,813	1311613,043425	58,128		
CP616		-15717,107	-14532,019	759328,563442	7,339		
CP619		-15823,324	-14526,119	4926,032341	4,888		
CP618		-15817,446	-14520,417	-146131,567915	5,035		
CP617		-15813,329	-14523,317	-1409896,239445	117,811		
CP613		-15720,361	-14595,680	-2229731,144640	98,801		
CP611		-15660,631	-14674,382	-1159222,429022	126,046		
面積				6416,007664			
地積				3208,0037820			
面積				3208,00			

地番		公簿地積		現況地積		面積	
所有者		Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離		
CP620		-15823,021	-14516,491	-816175,189884	9,375		
CP621		-15826,681	-14523,965	377419,272605	77,998		
CP622		-15890,318	-14746,167	1076396,161231	10,809		
CP625		-15896,892	-14469,584	44161,707368	4,565		
CP624		-15893,370	-14461,769	-202276,763003	10,881		
CP623		-15884,905	-14468,607	-1017852,038843	78,246		
面積				1854,617360			
地積				831,3086900			
面積				831,30			

敷地全体面積 152,061,67㎡ - 水路1 363,59㎡ - 水路2 3,208,00㎡ - 水路3 831,30㎡ = 敷地面積 147,658,78㎡

工事箇所	さいたま市南区大谷場一丁目地内
図面名	走路・橋・水路求積図
縮尺	1:1/1000
埼玉県浦和競馬組合	



外部仕上表注記	2015_07_27_Ver.2
・防水立上りの下地以外のコンクリート打直し仕上げ及び直均しの部位は、外部打直し仕上げは20mm、床直均しは10mmのコンクリート打直しを行う。 土に接する外壁は20mm打直しを行う。 また、目地（打継ぎ目地、化粧目地など）を設置する場合は目地深さ分の打直しを行う。	

耐火・準耐火建築物	<input type="radio"/> 耐火建築物 <input checked="" type="radio"/> 準耐火建築物 (・イ-1 ・イ-2 ・ロ-1 ・ロ-2) <input type="radio"/> 指定なし
-----------	--

■屋根（バルコニー・床・庇を含む）

部 位	下地・材種・防錆処理・仕上げ等	
屋根	屋根	C直均し(スラブ水勾配1/75) アスファルト屋根保護防水(BI-1)、断熱材(押出法ポリスチレンフォームt35) 保護コンクリート t80(溶接金網φQ100) 伸縮目地(樹脂成形品) φ3000・排水溝:PC板 W300
庇	庇	スチール小庇(溶融亜鉛めっき) 2-ASE

■バラベツト・笠木

部 位	下地・材種・防錆処理・仕上げ等	
バラベツト	屋根	AS防立上りアルミ金物押え、立上り保護板: ECPt=15.
笠木	屋根	アルミ曲げ加工t=2.0 BB-1

■外 壁 等

部 位	下地・材種・防錆処理・仕上げ等	
外壁	外壁上段	PCカーテンウォール化粧リブパネル(200+30) 2-ASE
	外壁下段	PCカーテンウォールフラットパネル(200) 2-ASC
	幅木	C打放し(A) 2-ASC
外部建具	アルミ建具	アルミ縦ガリ BB-2
	鋼製建具	鋼製ドア 2-ASE

■軒天井

部 位	下地・材種・防錆処理・仕上げ等	

■犬走り・玄関回り床

部 位	下地・材種・防錆処理・仕上げ等	
犬走り	犬走り	砂利敷き、アスファルト舗装(外構工事)

■外部金物

部 位	下地・材種・防錆処理・仕上げ等	
タラップ	外壁	背かご付きタラップSUS製・堅種
ルーフトレイン	屋根	構型ルーフトレイン

■外部工作物

部 位	下地・材種・防錆処理・仕上げ等	
オイルタンクピット	外構	コンクリート製
オイルトレランチ	外構	コンクリート製
フェンス	外構	外構工事

■外 構 ・ その他

部 位	下地・材種・防錆処理・仕上げ等	
縁石	外構	外構工事
舗装	外構	アスファルト舗装(外構工事)

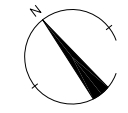
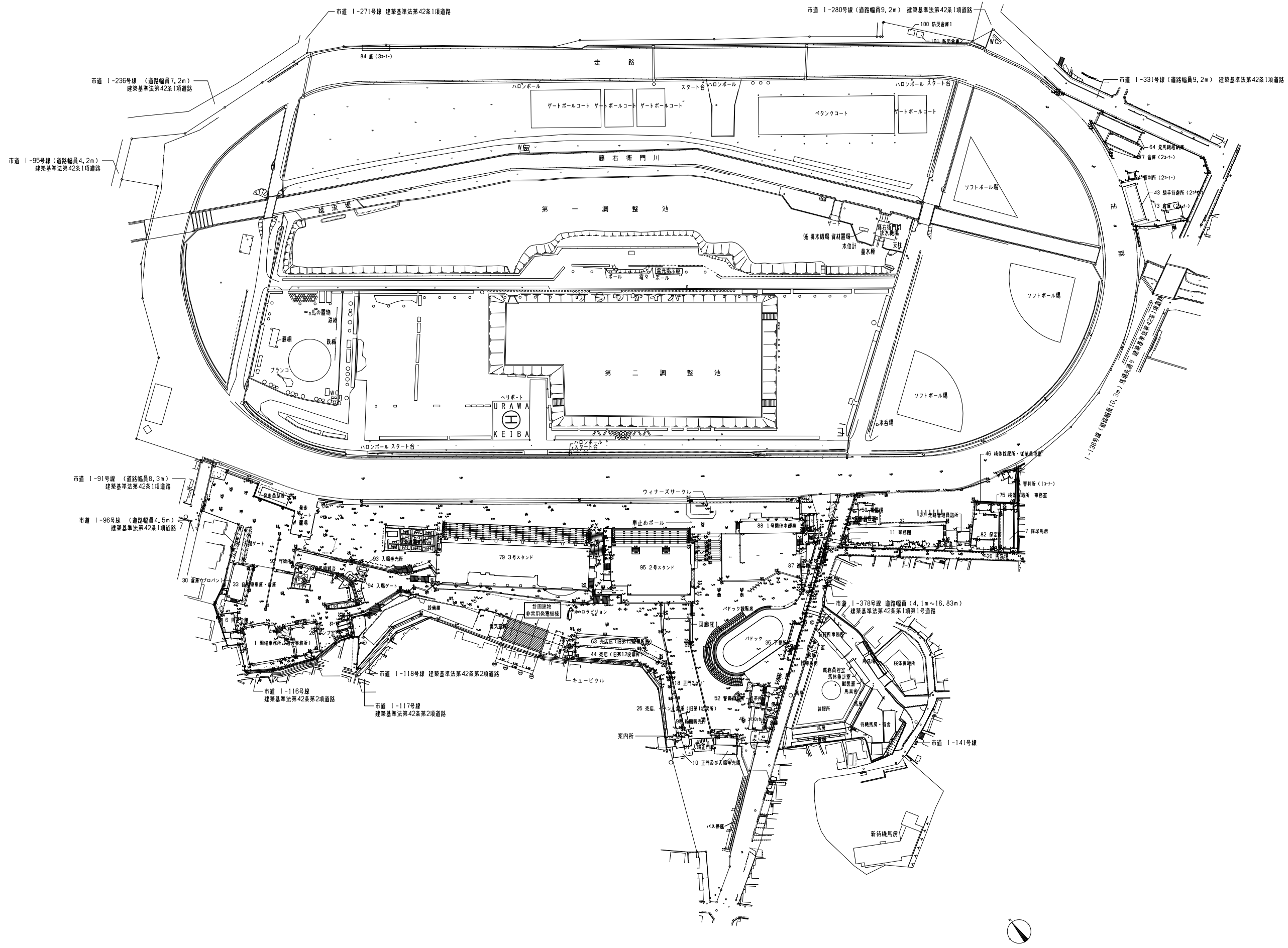
【略 号】			
2-FUE 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	EP-G つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	ST スチール	C コンクリート下地
2-FUC 常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス塗り(クリアー)	EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗り	SUS ステンレス	M モルタル下地
2-ASE アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	SIT 複層塗材S1	AL アルミニウム	LC 軽量コンクリート
2-ASC アクリルシリコン樹脂ワニス塗り(クリアー)		LGS 軽量鉄骨	PC プレキャストコンクリート
2-UE 2液形ポリウレタン樹脂エナメル塗り	C打放し(A) コンクリート打放し仕上げA種	FB フラットバー	CB コンクリートブロック
NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	C打放し(B) コンクリート打放し仕上げB種	PL プレート	ALC 軽量気泡コンクリート
SOP 合成樹脂調合ペイント塗り	C打放し(C) コンクリート打放し仕上げC種	HL ヘアライン	ECP 押出成形セメント板
CL クリアラッカー塗り	C素地 幅仕6,2.5(b)(1)(1)の打放し	MR 鏡面	AS防 アスファルト防水
UC ウレタン樹脂ワニス塗り	FK 無石綿セメントけい酸カルシウム板 (比重を指定する場合は、0.8FK、1.0FK)	GB-R セッコウボード	見切縁
LE 木部ラッカーエナメル塗り		GB-NC 不燃積層セッコウボード(フラット)	① アルミ回り縁
OS オイルステイン塗り		GB-NC(T) 不燃積層セッコウボード(トラバーチン)	② 塩ビ回り縁
WP 木材保護塗料塗り	GB-D 化粧セッコウボード(フラット)	GB-S シーキングセッコウボード	③ 目透し目地
B-FU ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り	GB-D(T) 化粧セッコウボード(トラバーチン)	GB-F 強化セッコウボード	④ 内装制限
B-UE ポリウレタン樹脂焼付けエナメル塗り	GB-D(W) 化粧セッコウボード(木目)	GB-H 硬質セッコウボード	⑤ 難燃材料
B-AE アクリル樹脂焼付けエナメル塗り	DR ロックウール化粧吸音板	GW-B グラスウール吸音ボード	⑥ 準不燃材料
外装RP 外装薄塗材E	GW-B/GC グラスウールの上ガラスクロス張り		⑦ 不燃材料
BET 防水形複層塗材E			⑧ 不燃材料(下地共)

内部仕上表注記	2021_04_28_Ver.3						
・FLは各階基準仕上げ床高を表す。 ・天井高は床仕上げレベル(二仕上高)からの天井高を表す。 ・仕上高は床仕上げレベルをFLからの高さとして表す。仕上表に表記無き場合は平面図表記値とする。 ・スラブ高は構造図のスラブ高を表示する。 スラブレベルとコンクリート天端レベル(仕上高から仕上代を引いたレベル)との差は打直しコンクリートとする。 ・下記以外のコンクリート直均し・打放し仕上げの部位は、内部打放し仕上げは10mm、床直均しは10mmのコンクリート打直しを行う。 また、目地(打継ぎ目地、化粧目地など)を設置する場合は目地深さ分の打直しを行う。							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>打直しが不要な場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スラブ・梁上面の直均し</td> <td>セルフレベリング材塗り、FAフロア、鋼製床下地、乾式二重床</td> </tr> <tr> <td>垂直面(壁、柱、梁)の打放し仕上げ</td> <td>防水立上がり、防水・防食を施工するビツト水櫃</td> </tr> </tbody> </table>		部位	打直しが不要な場合	スラブ・梁上面の直均し	セルフレベリング材塗り、FAフロア、鋼製床下地、乾式二重床	垂直面(壁、柱、梁)の打放し仕上げ	防水立上がり、防水・防食を施工するビツト水櫃
部位	打直しが不要な場合						
スラブ・梁上面の直均し	セルフレベリング材塗り、FAフロア、鋼製床下地、乾式二重床						
垂直面(壁、柱、梁)の打放し仕上げ	防水立上がり、防水・防食を施工するビツト水櫃						
・ビニル床シート・ビニル床タイル張り・タイルカーペット・塗床などの床下地のコンクリート直均しの場合、スラブ高と仕上げ高との差から仕上げ材の厚さを除いた高さを打直しコンクリートとする。 ・壁下地「LGSボード」とは、圍仕切壁リストに記載されている「性能壁」及び「非性能壁」のうちLGS下地の壁の総称のこと。 仕切については圍仕切り壁リスト参照のこと。箇所及び範囲については圍仕切り壁符号のある図面を参照のこと。 ・防水範囲・種別は防水範囲図を参照のこと。 ・断熱仕様及び範囲は断熱範囲図を参照のこと。 ・特記なき限り、幅木下地は壁下地と同じものとする。 ・特記なき限り、天井下地はLGSとする。							

【備考欄記入項目】		見切縁		単位図番号または標準詳細図番号		図面番号	
項目	図面番号	単位図番号	項目	図面番号	単位図番号	項目	図面番号
屋内機械基礎C	8	1301	配線ビツト	10	1301	防油堤	9
						タラップD	2
							1302

階	室名	部位	床	幅木	壁 柱型	天井 梁型			見切縁	備考				
		天井高 仕上げ スラブ高	仕上げ 下地	仕上げ 下地	仕上げ 下地	塗装	内装制限	仕上げ 下地		塗装	内装制限	塗装		
1階	非常用発電機室	直天井 +300~+350 ±0	薄膜型エポキシ 樹脂系塗床	床材立上げH=150	GW-B/GCt50(FL+1450上部)	—	ⓐ	直天井	—	ⓐ	—	屋内機械基礎C 配線ビツト	天面: C直均し 笠 側面: 薄膜エポキシ樹脂 厚膜エポキシ樹脂	
		直天井 +10~+40 ±0	厚膜型エポキシ樹脂系塗床	床材立上げH=400	GW-B/GCt50(FL+1450上部)	—	ⓐ	直天井	—	ⓐ	—	屋内機械基礎C 防油堤	天面: 厚膜エポキシ樹脂 側面: 厚膜エポキシ樹脂	
	燃料小出スペース	直天井 +10~+40 ±0	厚膜型エポキシ樹脂系塗床	床材立上げH=150	ALC H2200上部/PC板表し C打放し(B)H2200	—	—	直天井	—	—	—	屋内機械基礎C PS内部	天面: 厚膜エポキシ樹脂 側面: 厚膜エポキシ樹脂 厚膜エポキシ樹脂	
		直天井 +10~+50 ±0	薄膜型エポキシ 樹脂系塗床	床材立上げH=150	ALC H2200上部/PC板表し C打放し(B)H2200	—	—	直天井	—	—	—	PS内部	厚膜エポキシ樹脂	
	ボンブ室	直天井 +300 ±0	薄膜型エポキシ 樹脂系塗床	床材立上げH=150	ALC H2200上部/PC板表し C打放し(B)H2200	—	—	直天井	—	—	—	PS内部	厚膜エポキシ樹脂	
		直天井 -1630 -1650	—	—	—	—	—	直天井	—	—	—	—	タラップD	
	煙突	直天井 -1630 -1650	—	—	—	—	—	直天井	—	—	—	—	—	
		直天井 -1630 -1650	—	—	—	—	—	直天井	—	—	—	—	—	
	ピット	直天井 -1630 -1650	—	—	—	—	—	直天井	—	—	—	—	—	
		直天井 -1630 -1650	—	—	—	—	—	直天井	—	—	—	—	—	

 株式会社 日本設計	特記	埼玉県 浦和競馬組合	課長 飛塚	副参事 石井	主幹 阿相	主査 矢島	担当 阿相	設計 1 級建築士登録第 322998号 平塚 智	図面名称 外部・内部仕上表	G_NSH_HIHATU.dwg	
								設計 1 級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑			浦和競馬場非常用発電機棟建築工事
								縮尺	no-scale	区分	



特記	埼玉県浦和競馬組合	課長	副参事	主幹	主査	担当
	飛塚	石井	阿相	矢島	阿相	

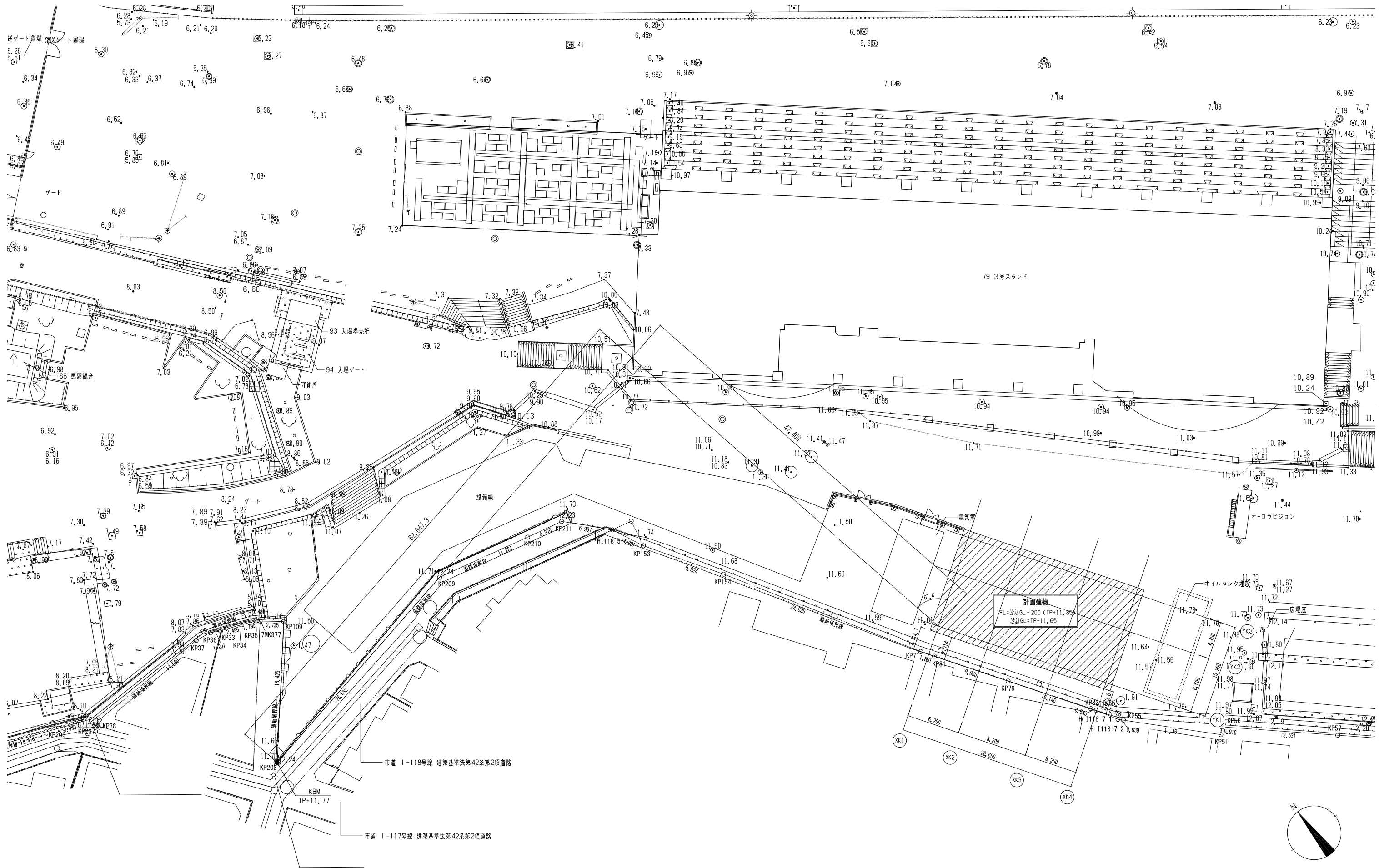
設計	1級建築士登録第 322998号 平塚 智
設計	1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑
設計	1級建築士登録第 213138号 熊坂 寛

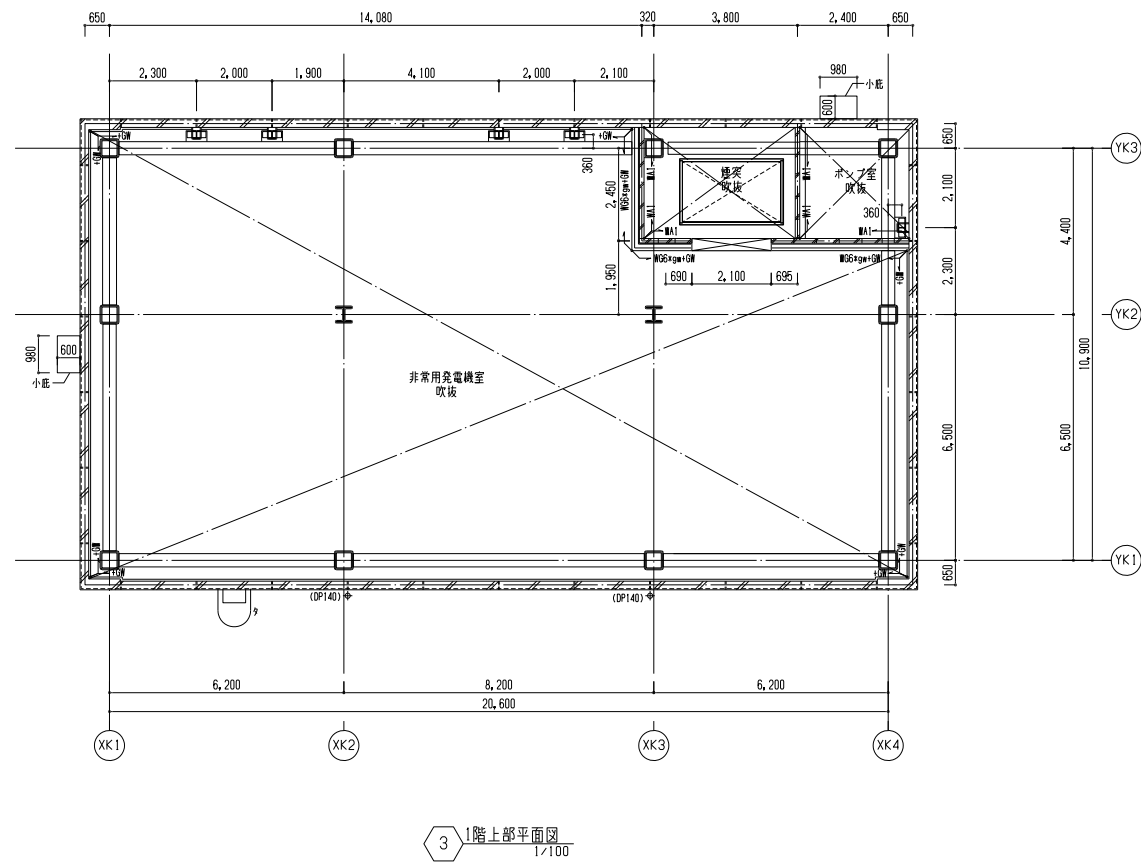
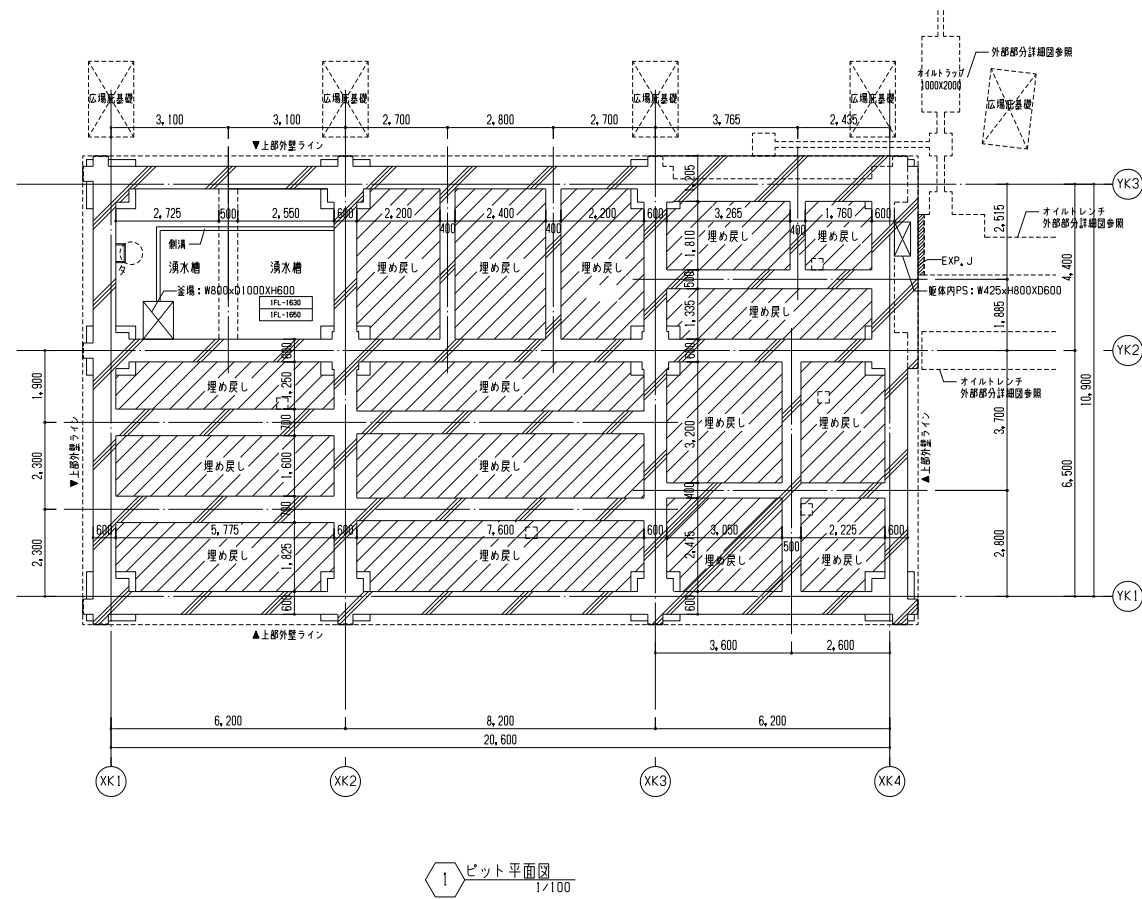
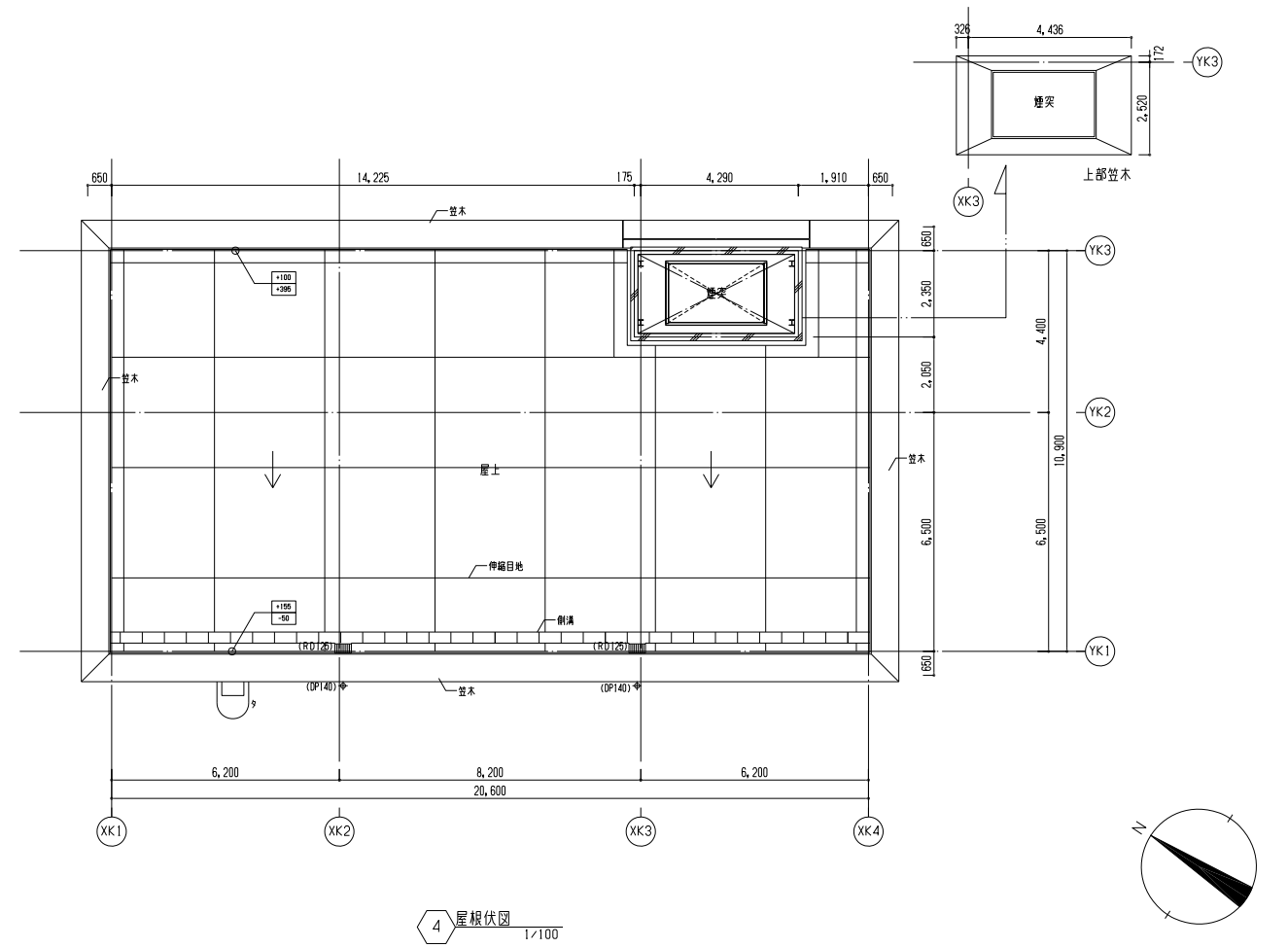
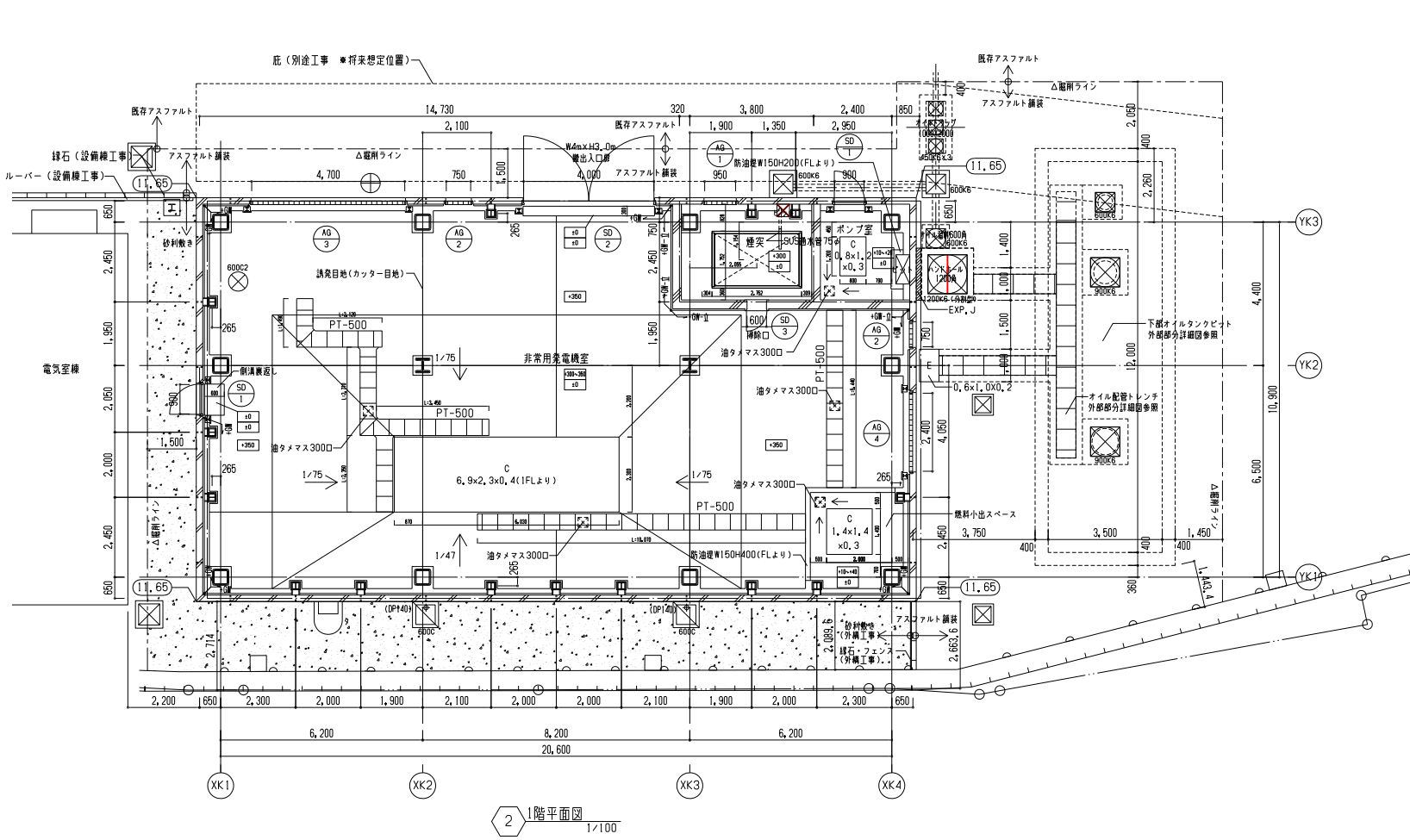
浦和競馬場非常用発電機棟建築工事

図面名称	敷地全体配置図
縮尺	no-scale

図面番号	A-1101
区分	建築図

HAI_HITATU.dwg

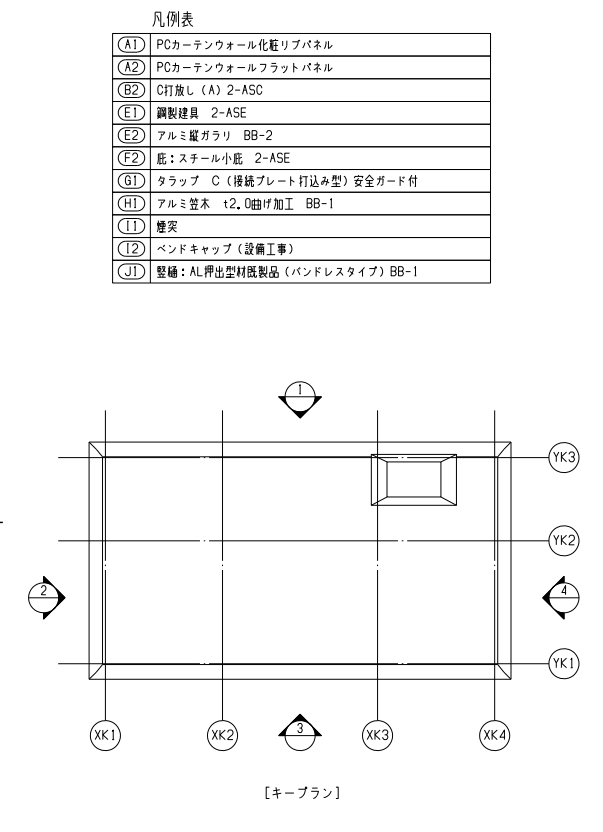
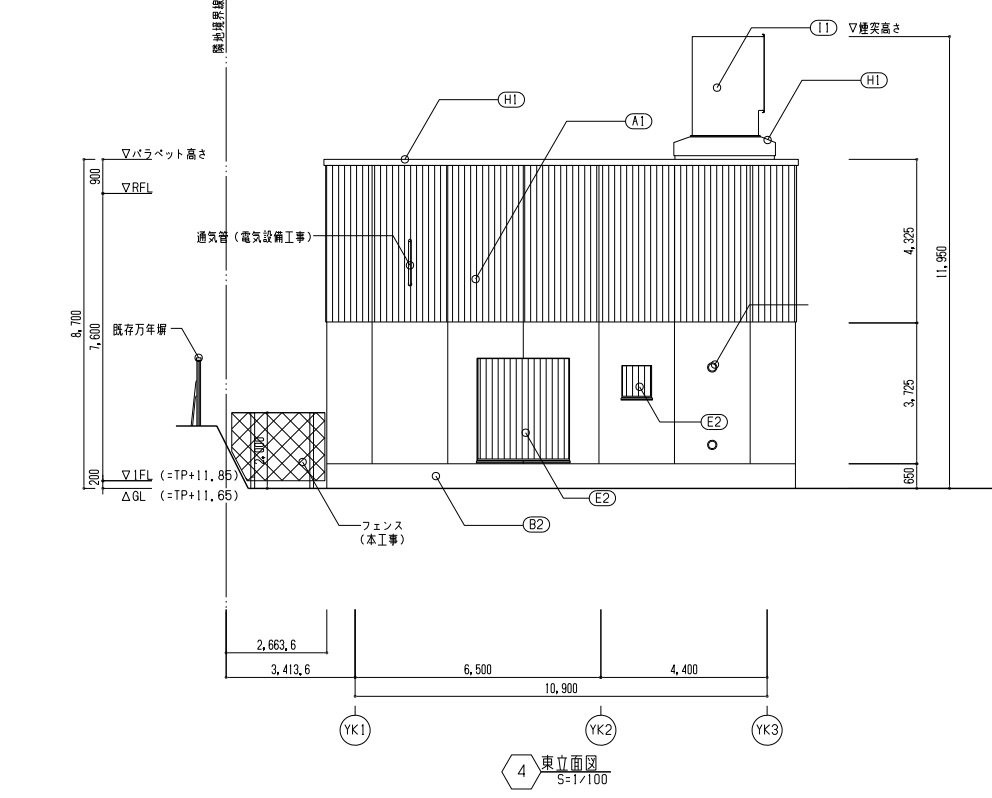
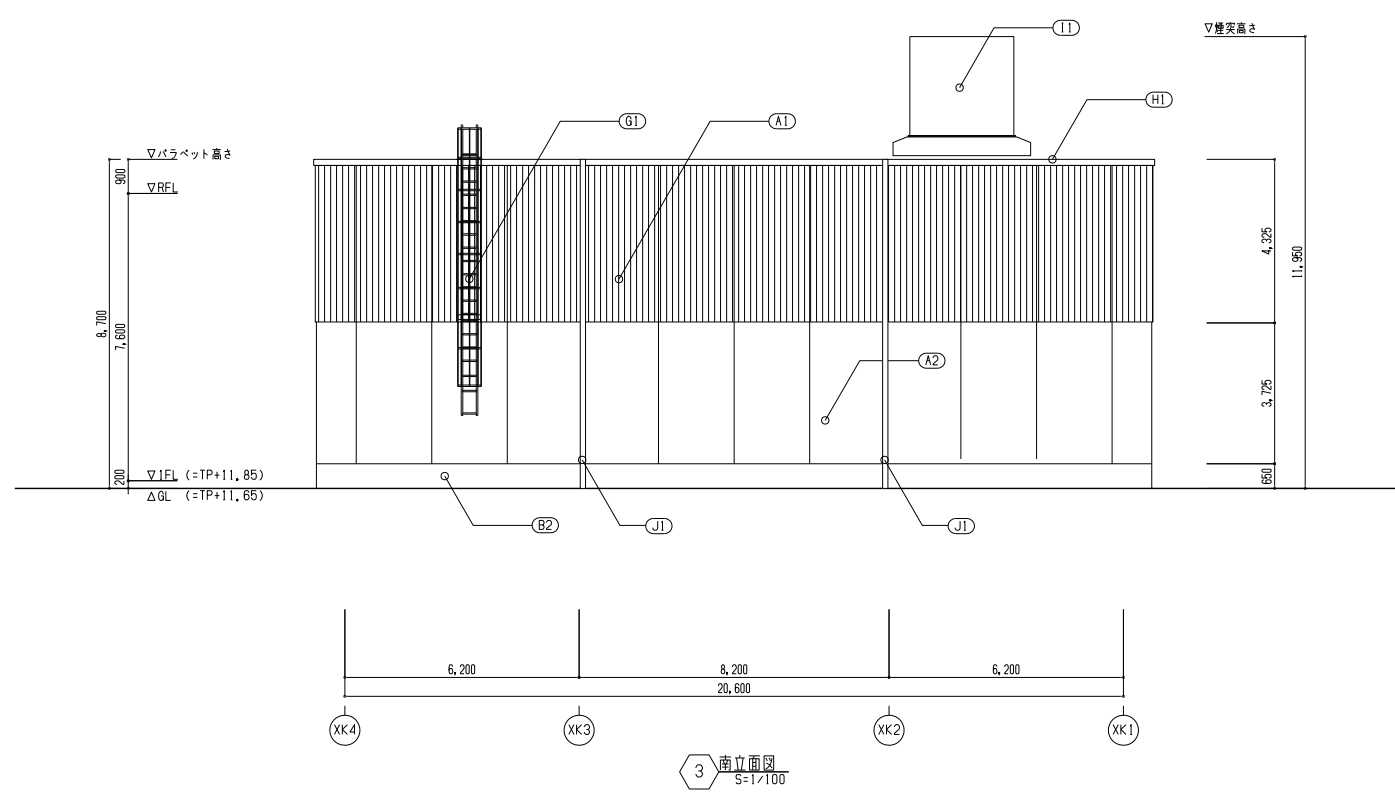
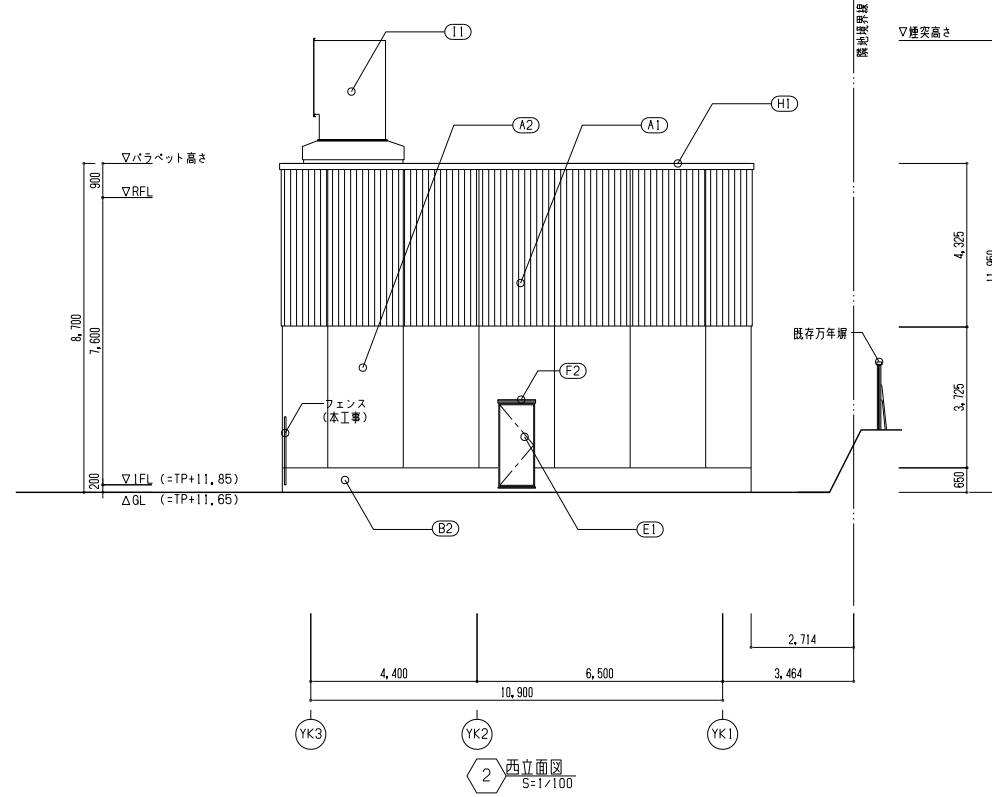
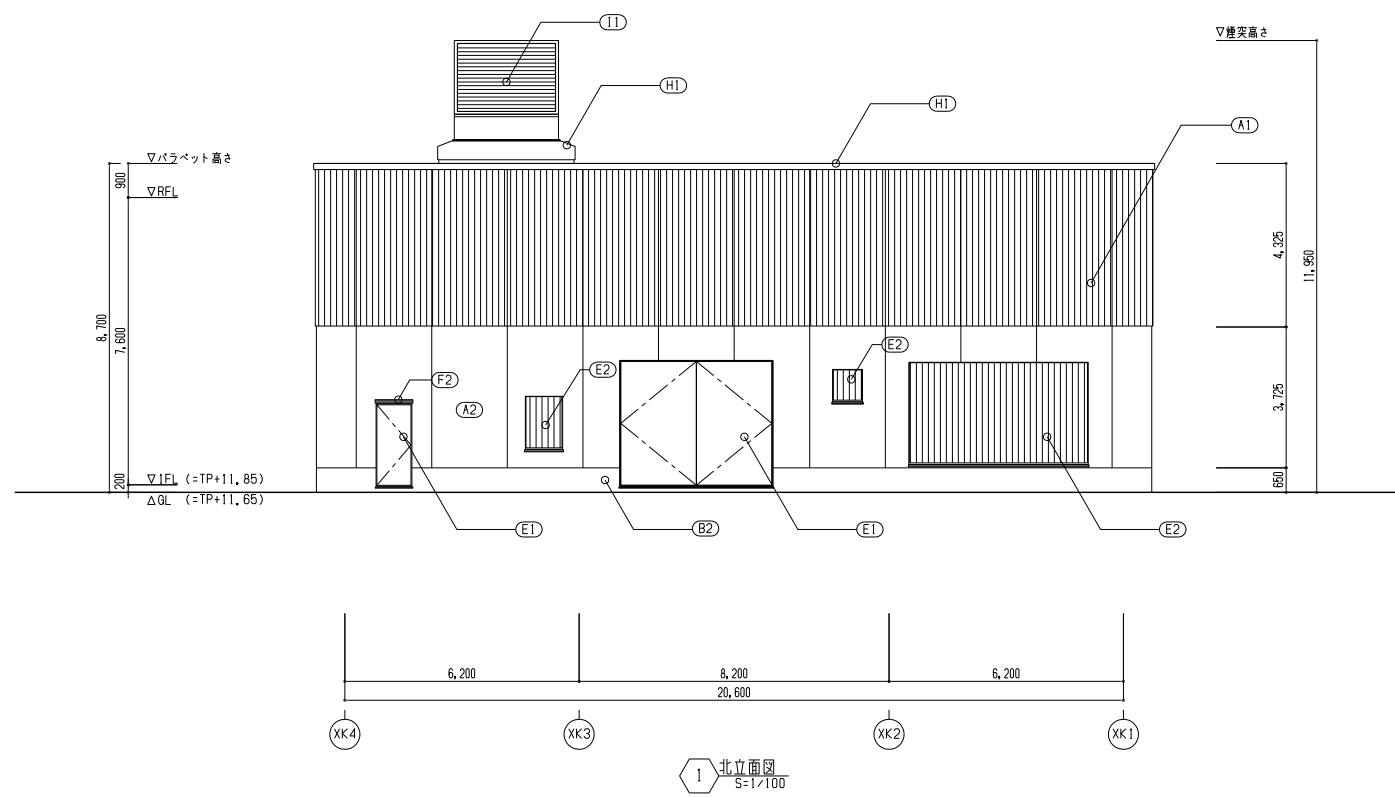


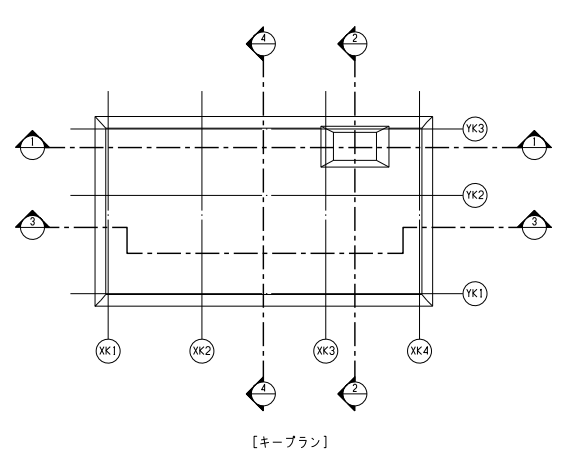
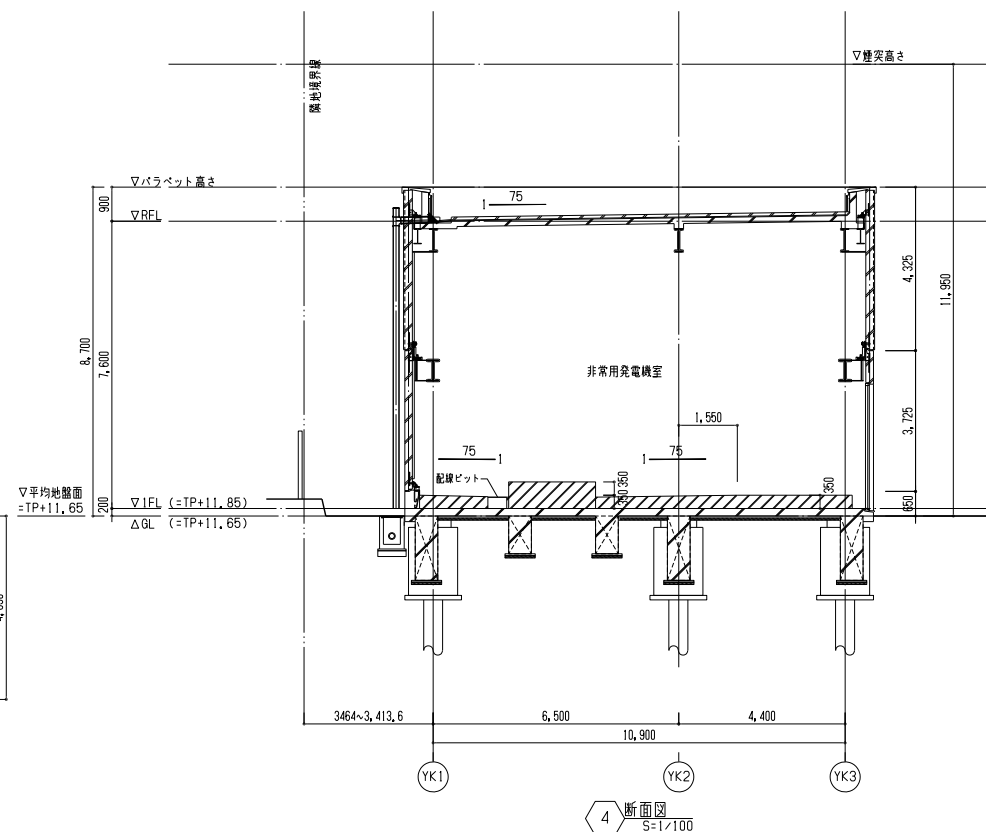
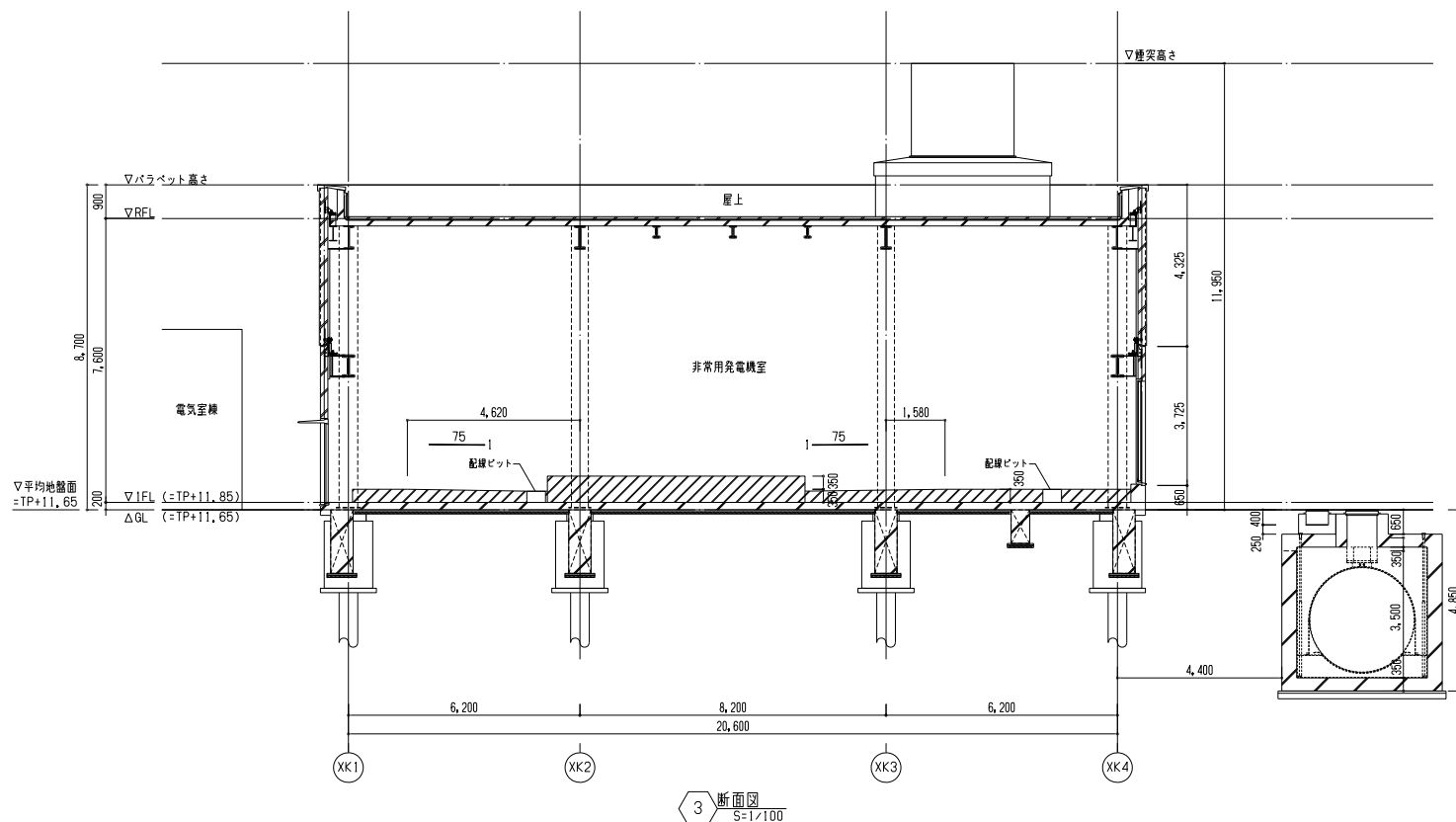
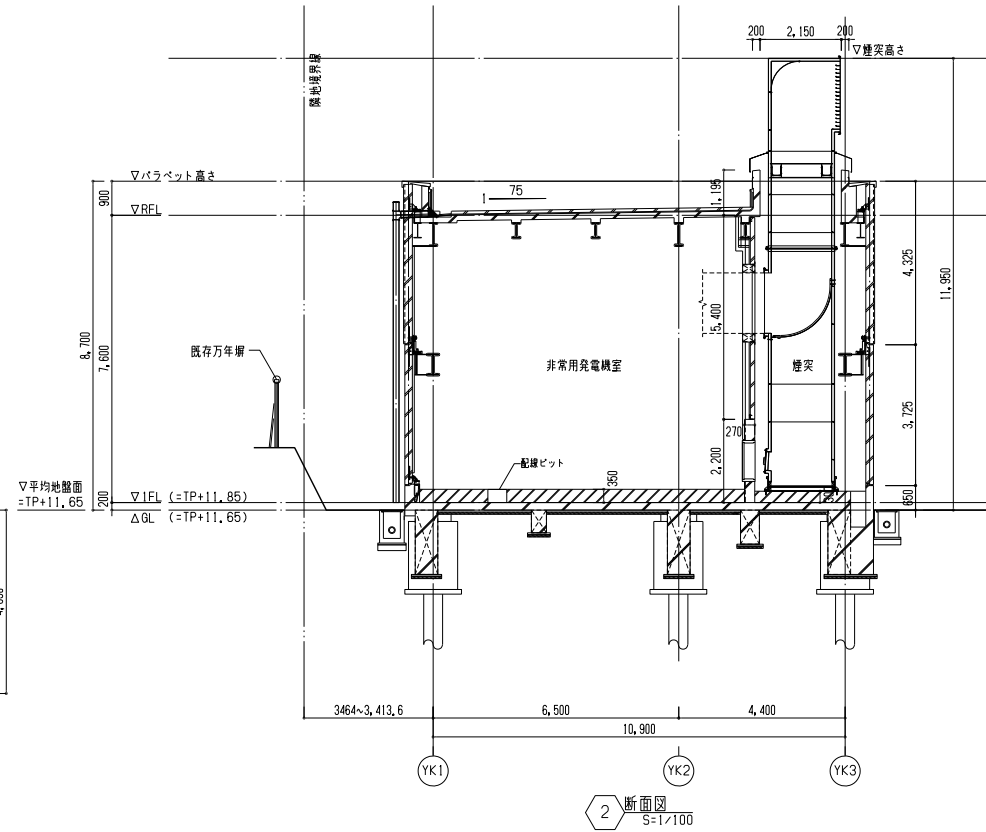
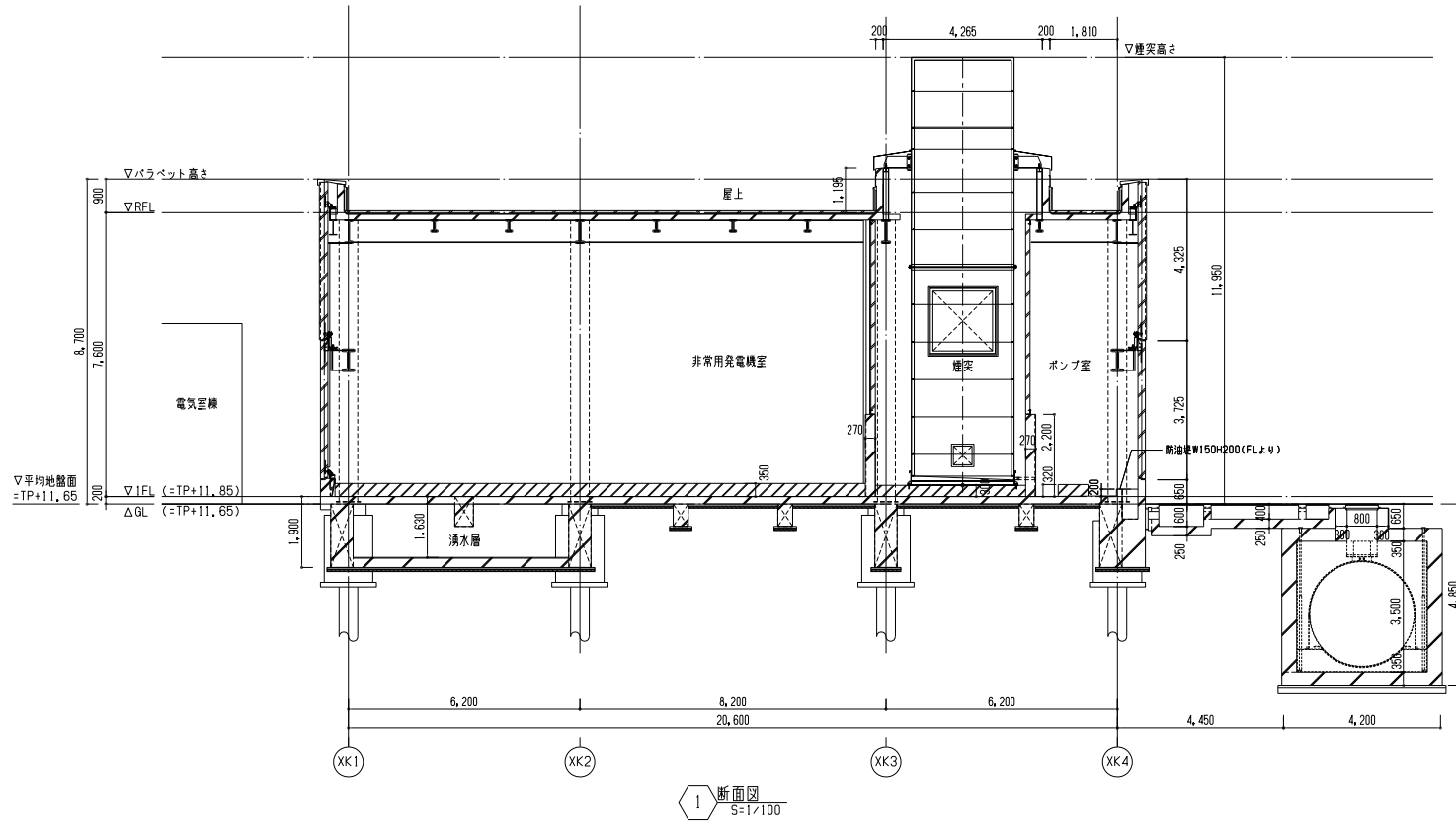


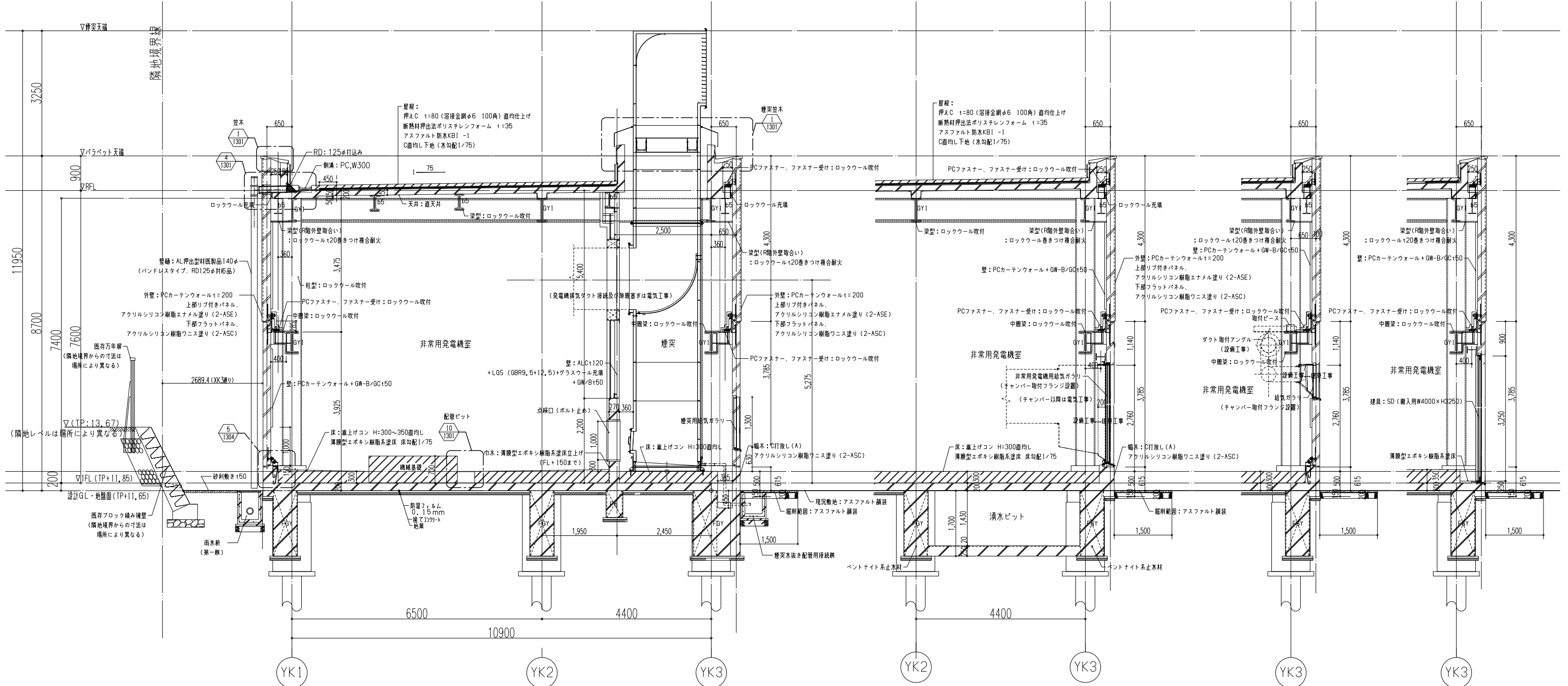
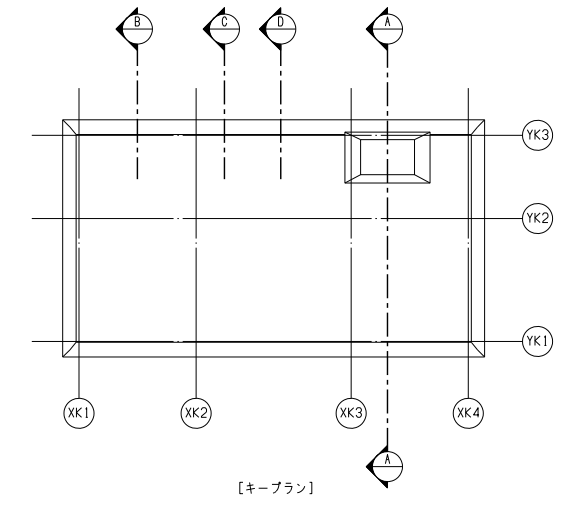
凡例表

壁種別関係	
	コンクリート
	PC板
	ALCパネル
床レベル、構造躯体関係	
	上段:床仕上げ高さ (FLより) 下段:下地コンクリート天端高さ (FLより) ●特記なき限り ±0 とする
(11.65)	外構仕上げレベル (TP表示)
	室内機械基礎B (ポンプ等) 数値は寸法 (WxDxH) Hは仕上面よりの高さを示す [A-1302-8図]
	屋外機械基礎E (その他機器) 数値は寸法 (WxDxH) Hは設計GLよりの高さを示す
建具関係	
	ガラス
排水関係	
グレーチング・マンホールふた共通記号	
数字1+英字1+数字2	
数字1:集水側寸法、グレーチング幅、マンホール径を示す	
英字1:ふたの材質・仕上等を示す	
S:ステンレス、G:溶融垂れつき、C:鋼鉄、P:樹脂、K:スリット化粧ふた・化粧用鉄ふた、D:断熱材付鉄ふた	
数字2:ふたの耐荷重性能を示す (省略時はT-2)	
T-2、6、14、20、25	
	密閉形 (排水器具)・耐荷重型 ロックマンホールカバー 例/600C:600φ鉄ふたT-20 [A-1301-7図]
	化粧ふた付集水側 例/600K20:600角スリット化粧ふたT-20
	角型化粧ふた付密閉形 (排水器具) ロックマンホールカバー 例/600K20:600φ化粧鉄ふたT-20
	ハンドホール (別途電気工事)
	雨水第一册 (グレーチングふた付) [A-1302-3図] 例/600C:600角SUSグレーチングふたT-6
	屋根 (建築工事) [A-1302-5図]
	ルーフドレン (構形) [A-1301-2, 4図]
	水勾配 (矢印側が水下)
建築金物関係	
	配線ビット (数字は溝幅を示す) [A-1301-10図]
その他	
	トラップC (防漏構付) [A-1301-3図]

(●非見隠について、屋内基礎のHは水勾配の最高高さよりの高さを示す)





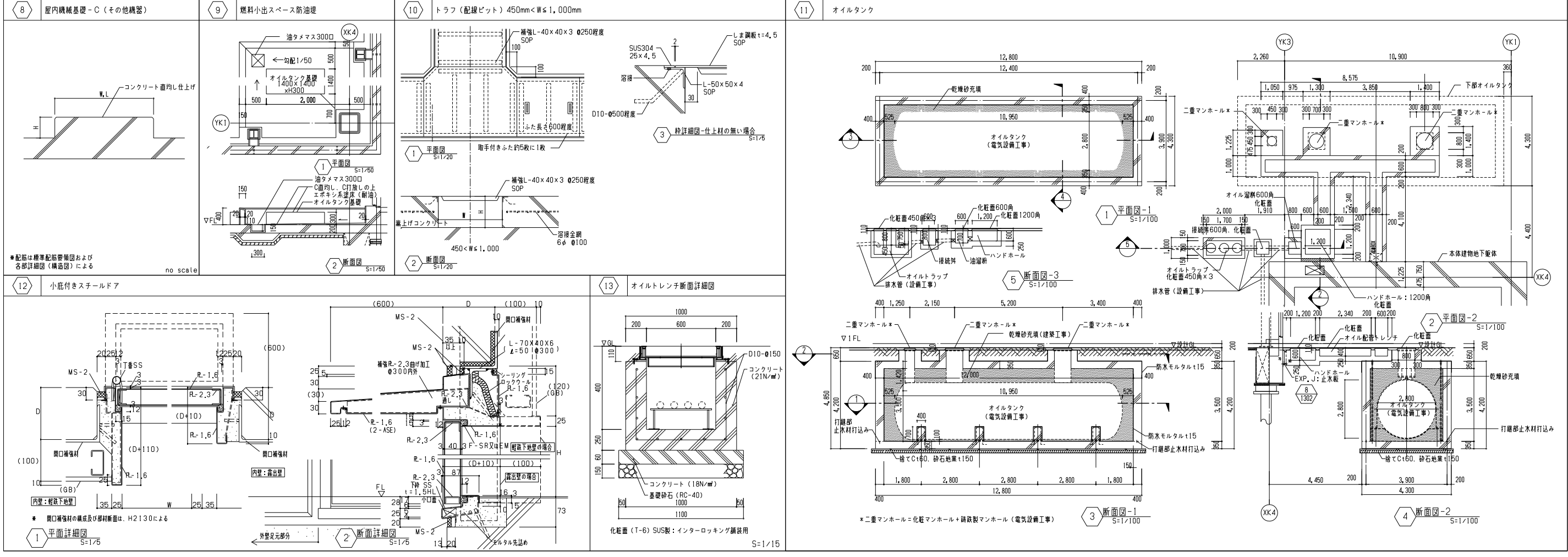
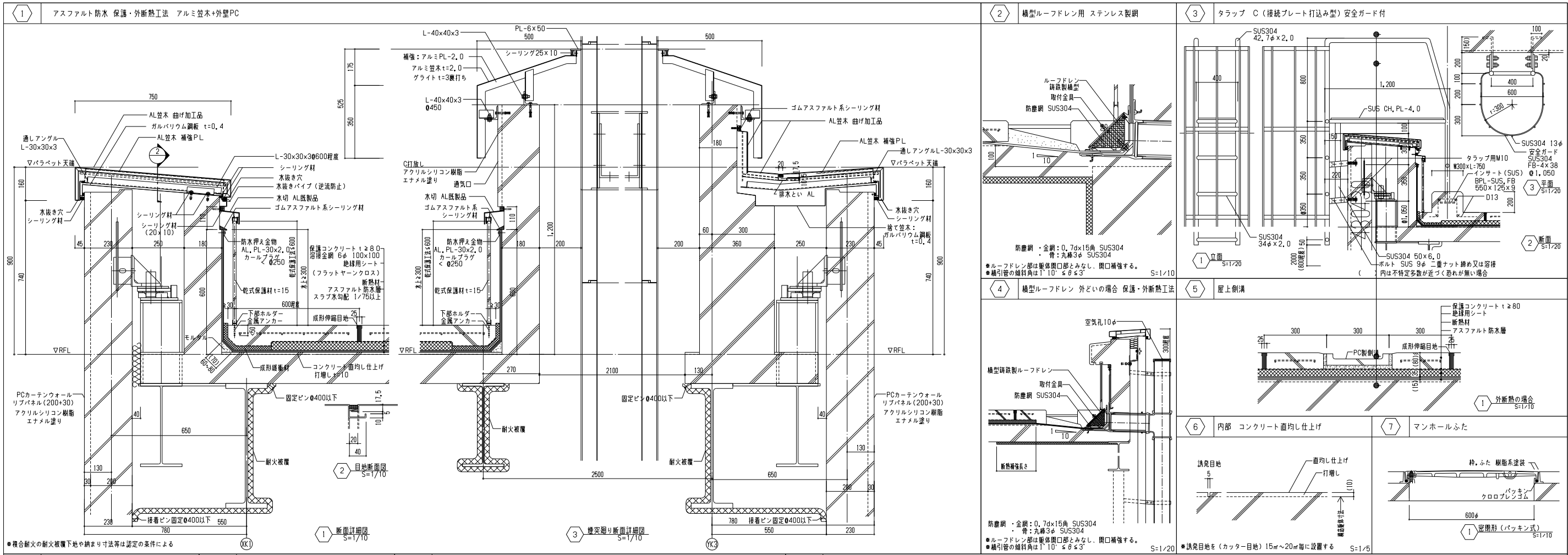


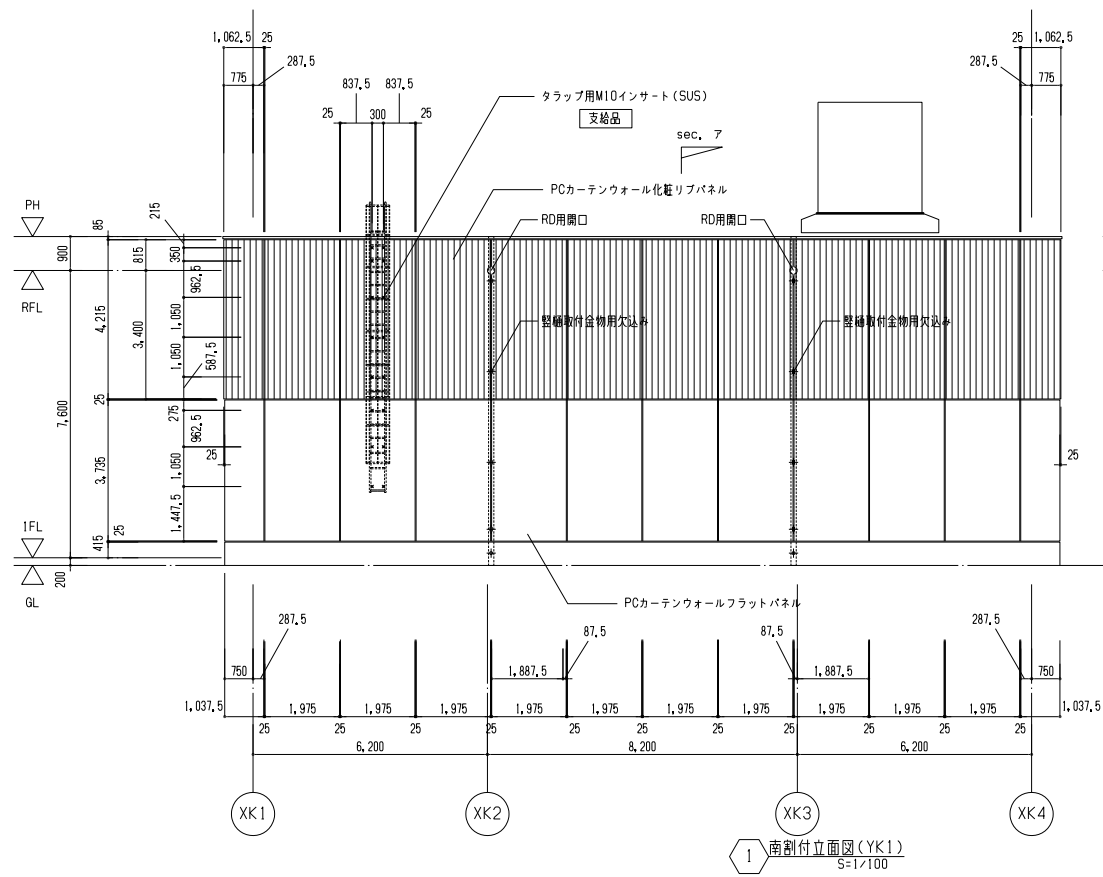
1 A-A 矩計図 1/50

2 B-B 矩計図 1/50

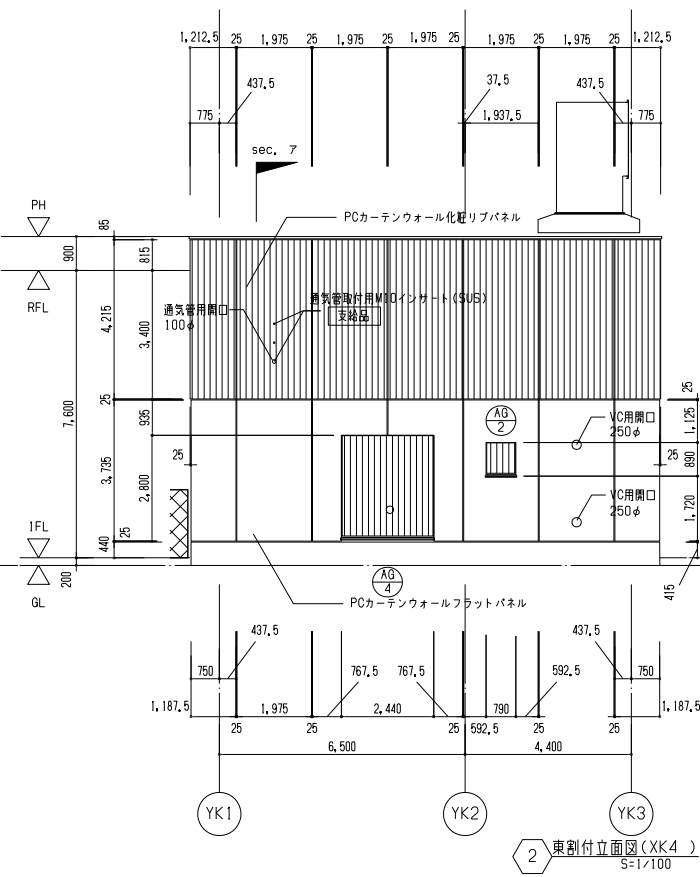
3 C-C 矩計図 1/50

4 D-D 矩計図 1/50

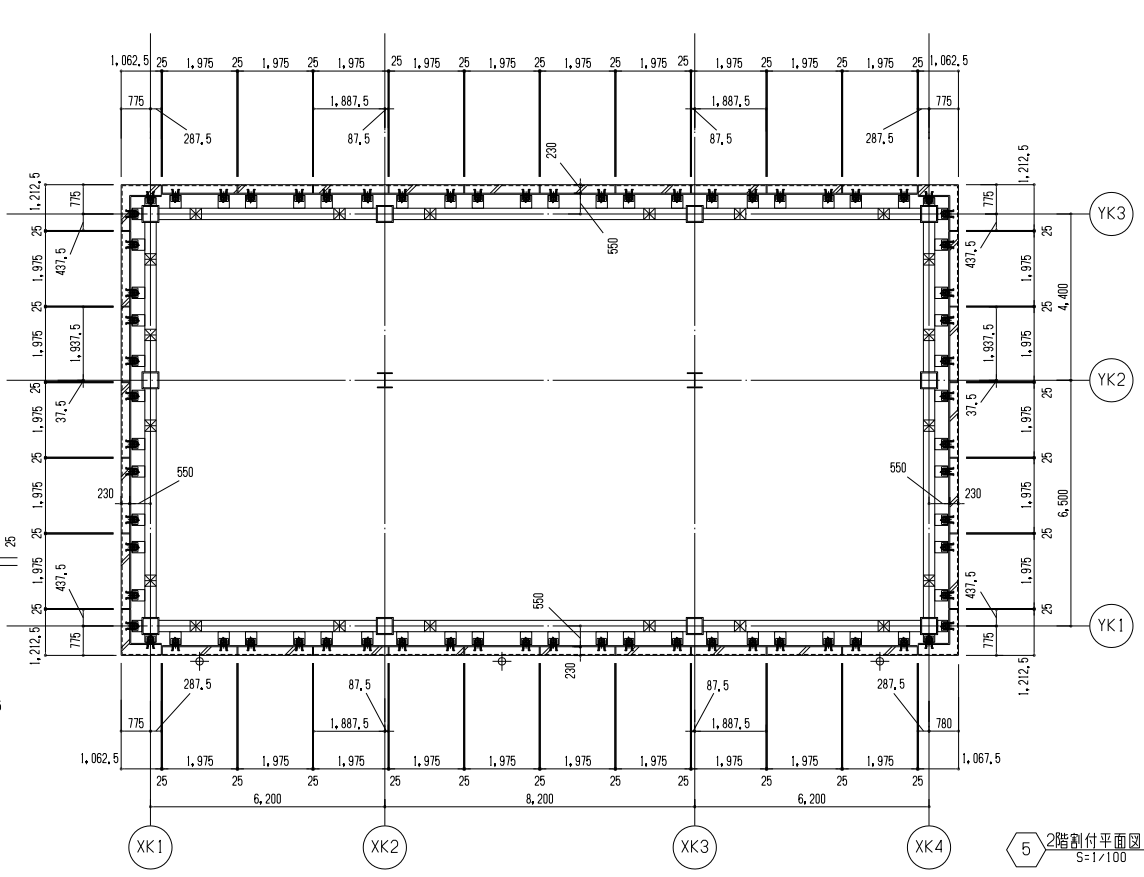




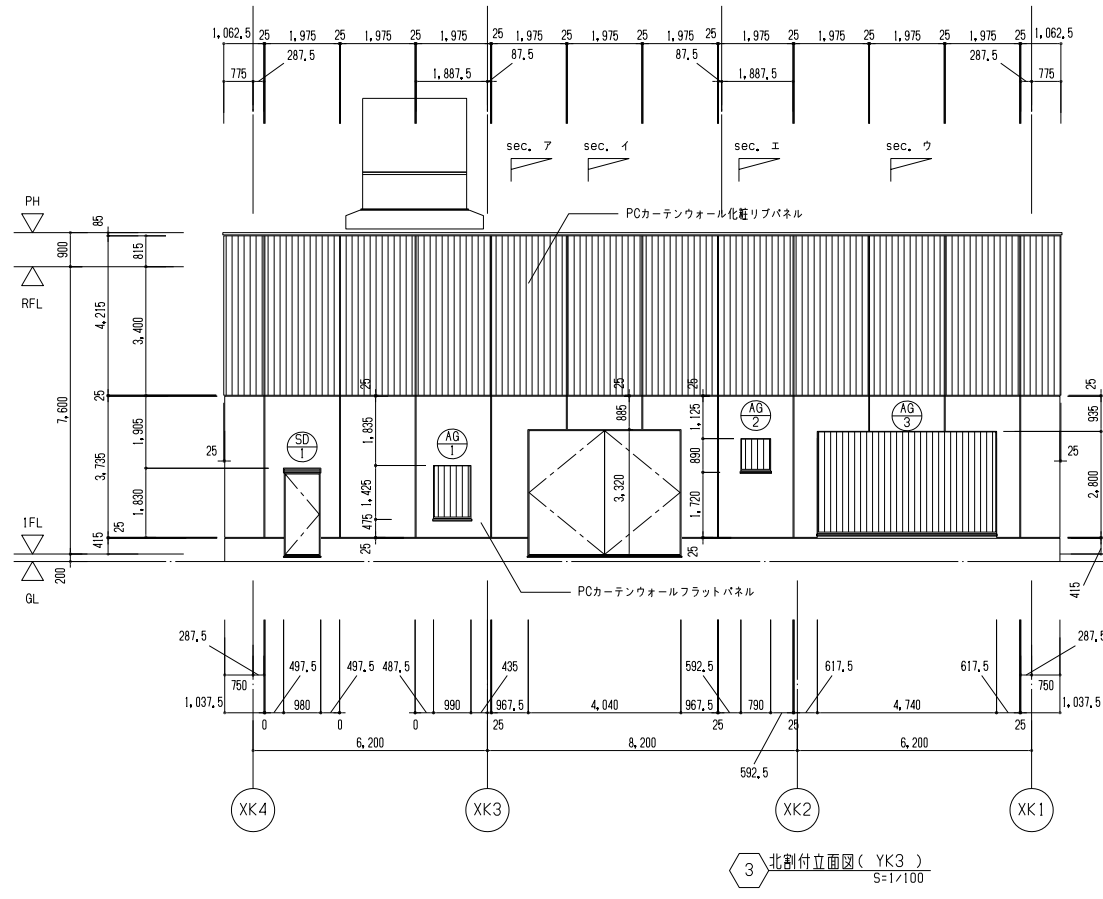
1 南側付立面図 (YK1)
S=1/100



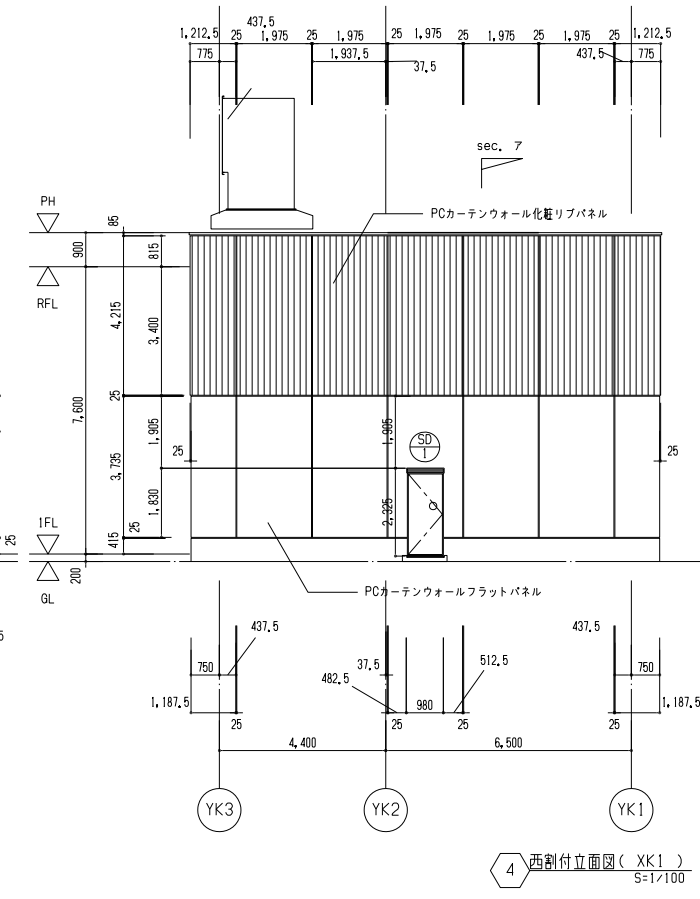
2 東側付立面図 (XK4)
S=1/100



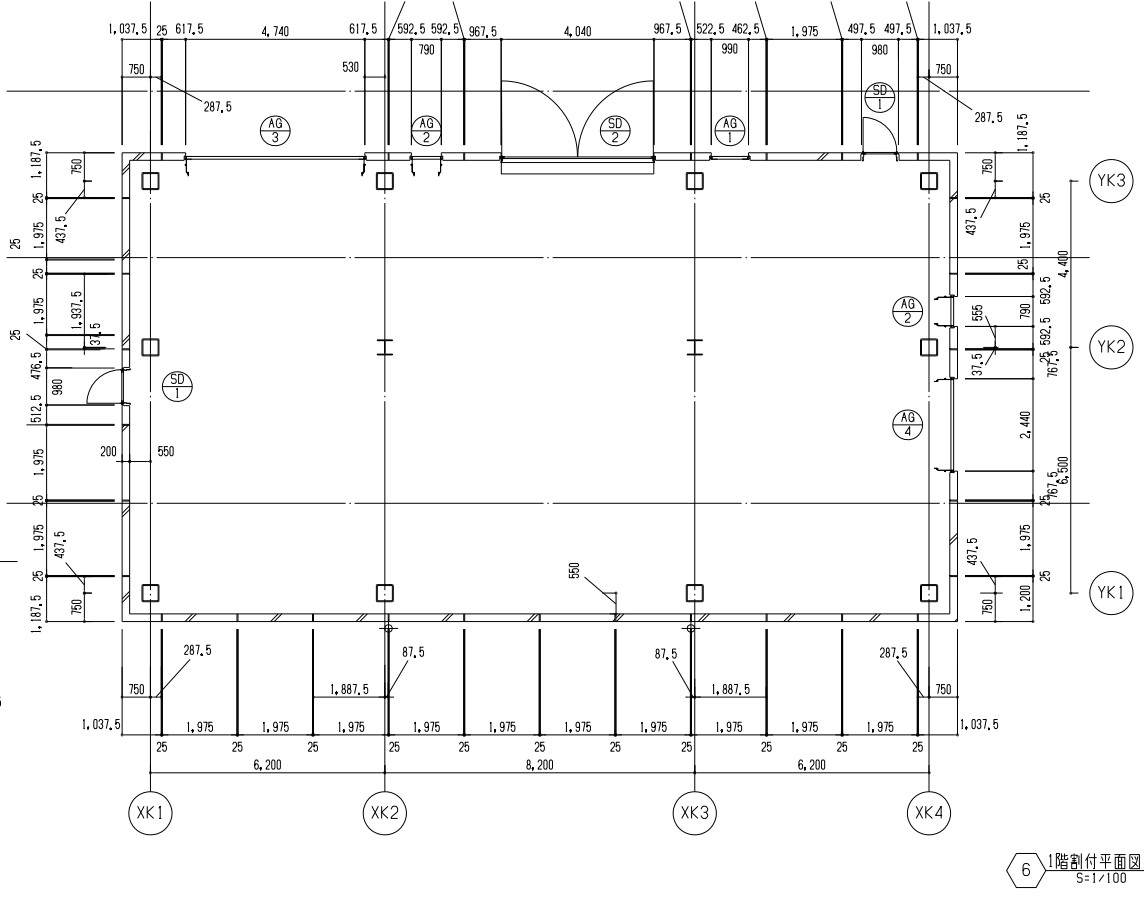
5 2階側付平面図
S=1/100



3 北側付立面図 (YK3)
S=1/100

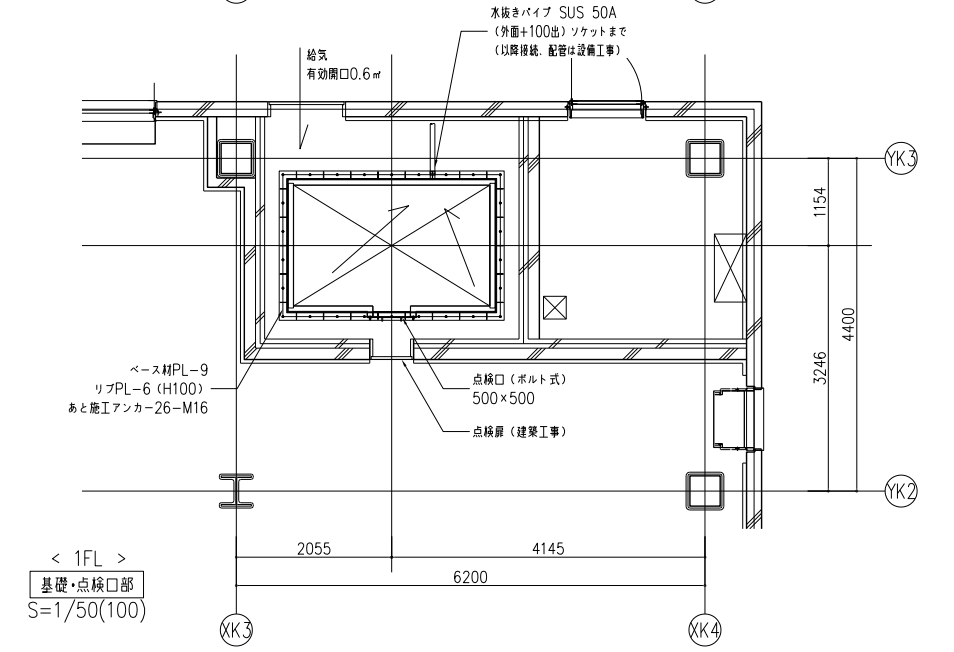
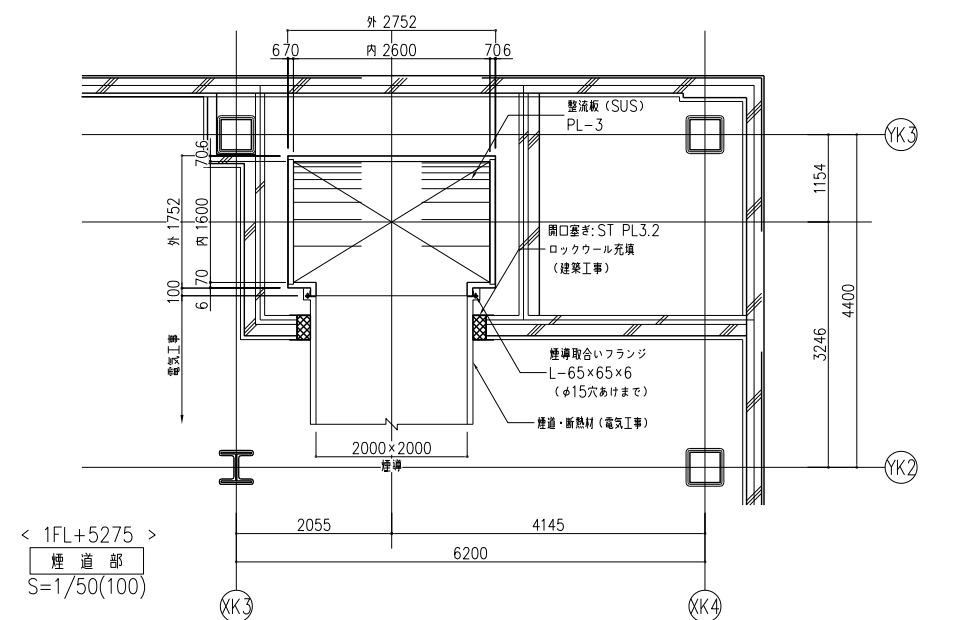
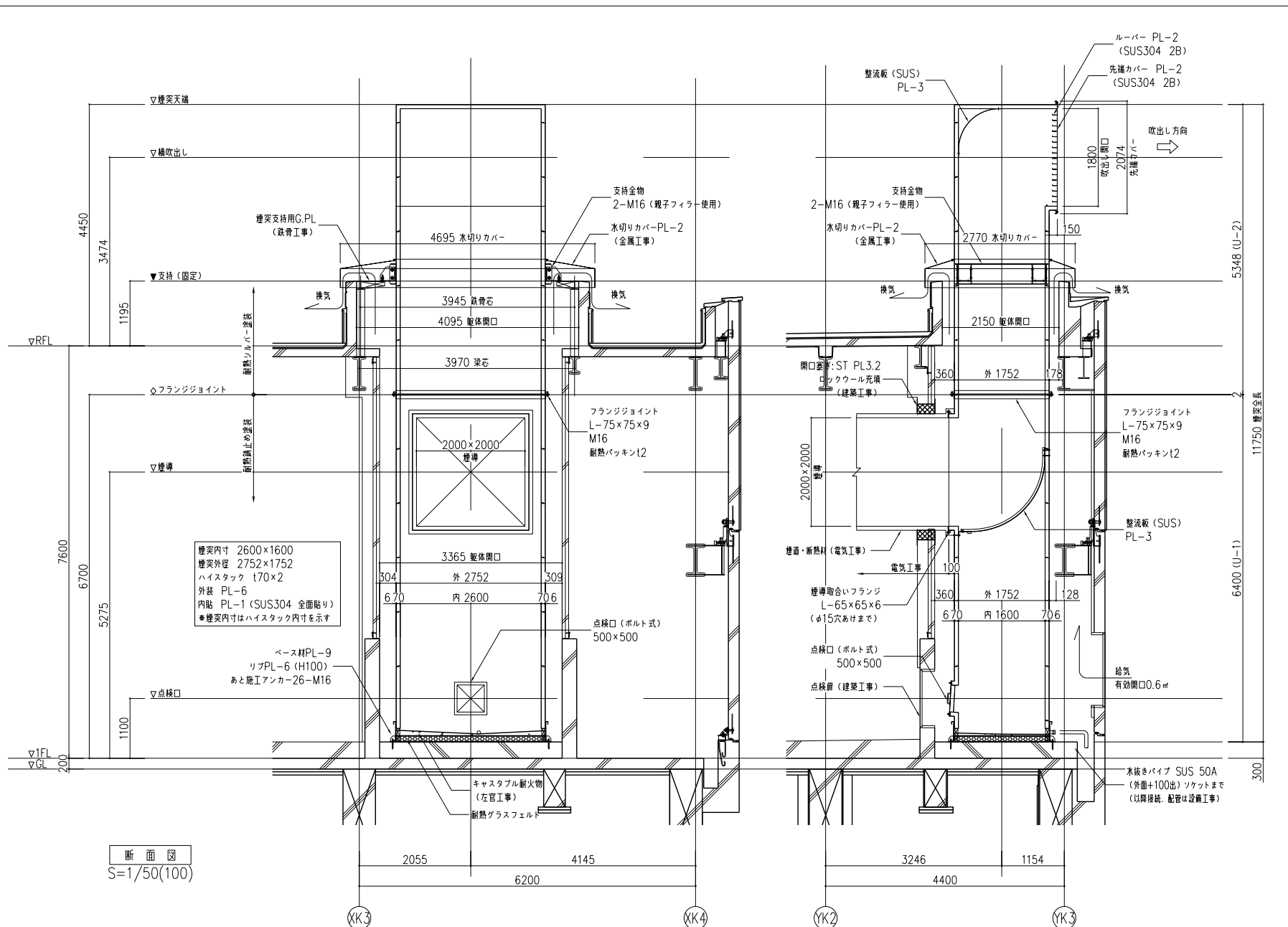
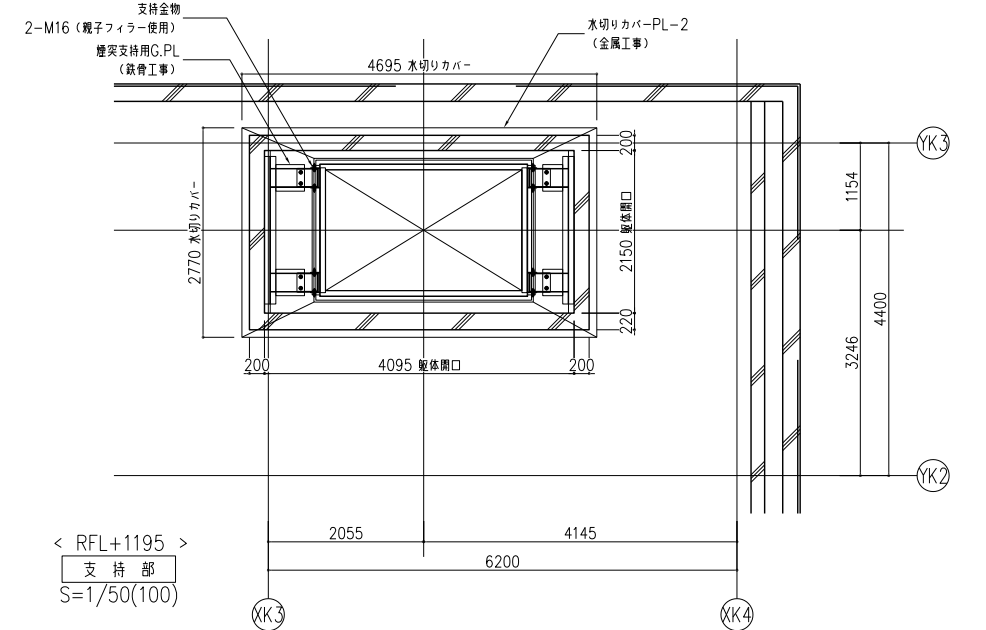
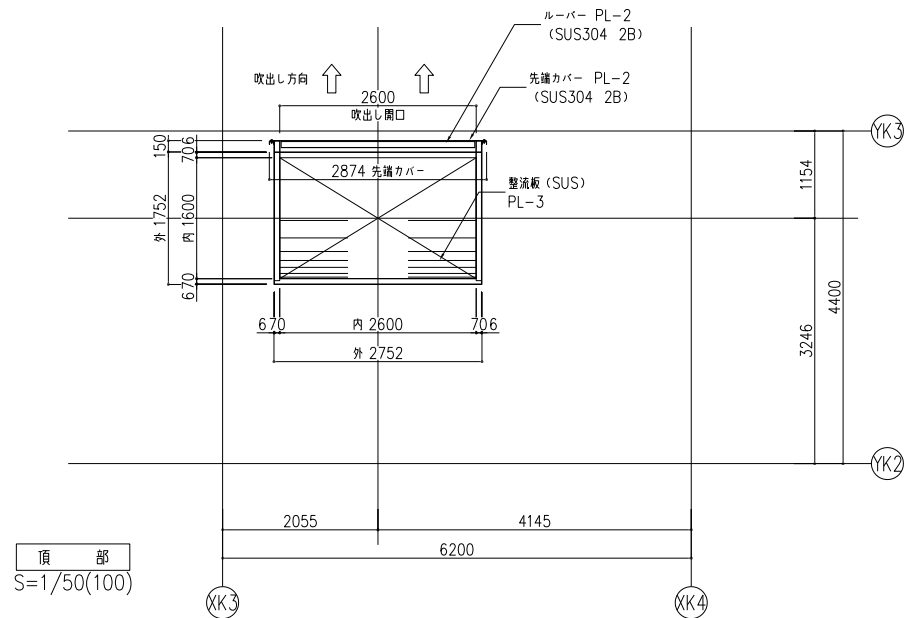


4 西側付立面図 (XK1)
S=1/100

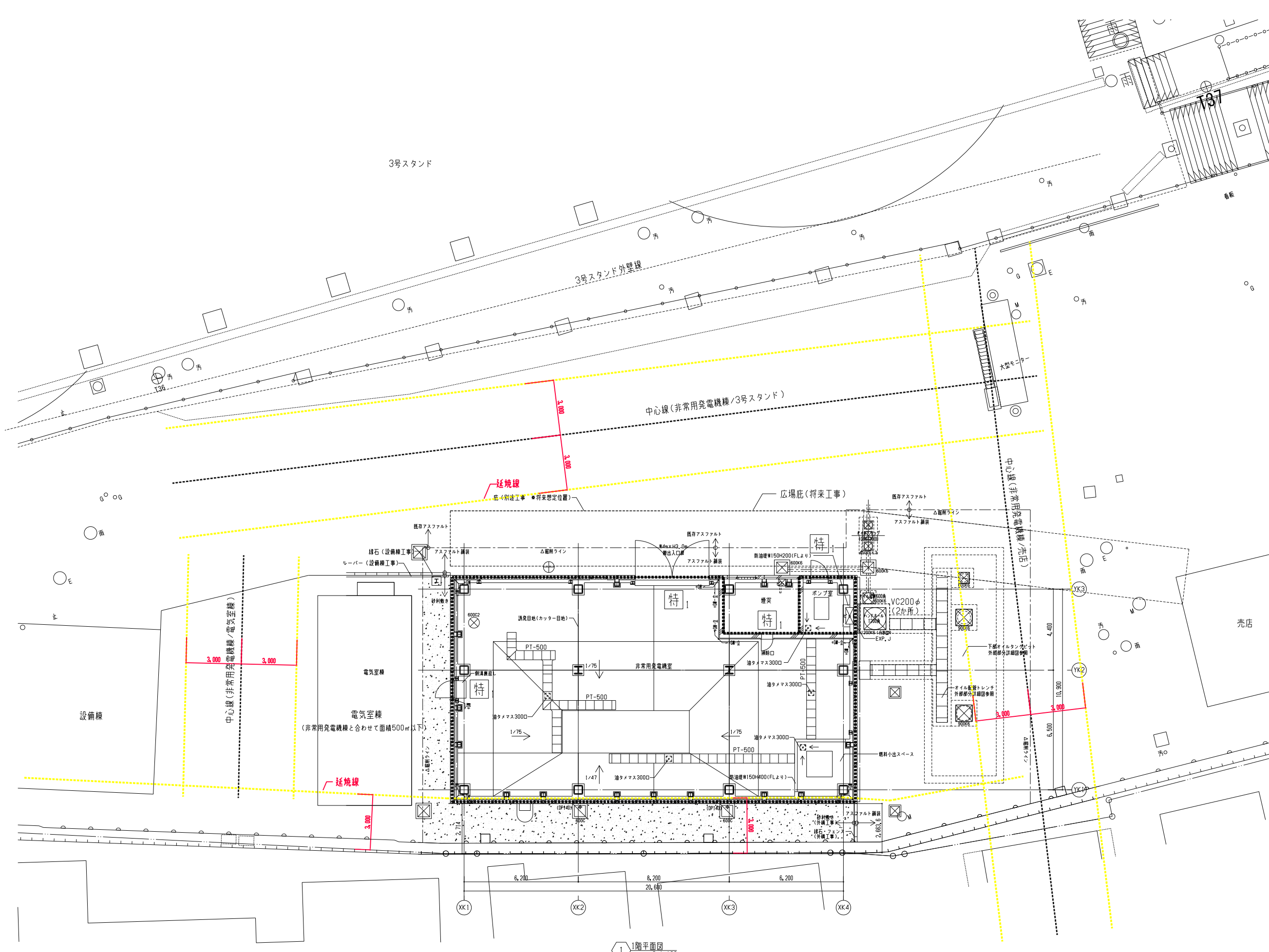


6 1階側付平面図
S=1/100

特記事項	
煙突ライニング材	ゾノトライト系ケイ酸カルシウム成型品 フジモリ産業(株)ハイスタック同等品以上
使用鋼材	特記なき限り、SS400
防錆処理	屋内：耐熱錆止め塗装 屋外：耐熱シルバー塗装
・ライニング材は不定形材及び耐火被覆を目的とした断熱材は不可とする 又、単一材料内に補強鋼材を含まないものとする(鋼材熱伸びによる貫通割れ防止) ・煙突工事は、通風力・周辺温度分布・頂部排煙伝導等の検討可能な煙突メーカーとする ・内法の表記は断熱材(ハイスタック)からの寸法を示す	



建具共通事項					建具符号と図面表示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>1. 一般共通事項</p> <p>1) 建具共通事項は特に図示がない場合に適用する。設計図書の特記事項は、特記仕様書、建具表、建具共通事項、標準仕様書とする。</p> <p>2) 建具寸法は、特記なき限り枠内寸法とする。</p> <p>3) カーテンウォールの仕様は、特記仕様書17章カーテンウォール工事及び16章2節(3)の既製カーテンウォールによる。</p> <p>4) 飛散防止フィルムの範囲は、建具表及び16章14節ガラス工事特記仕様書による。</p> <p>5) トイレブースドアは、特記仕様書20章ユニット及びその他工事による。</p> <p>6) 防火設備、特定防火設備、遮煙性能は、告示に適合したもの若しくは大臣認定品とする。</p> <p>7) 開き勝手は平面図によるものとする。</p>					<p>2) 鋼製建具・鋼製軽量建具・ステンレス建具の把手、錠、支持金物は原則下記を取り付けるものとし、選択は建具表による。下記付属金物以外に付加するものは建具表による。</p> <table border="1"> <tr> <th>性能・開閉方式</th> <th>把手</th> <th>錠</th> <th>支持金物</th> <th>付属金物</th> </tr> <tr> <td>外部：開き戸</td> <td>レバーハンドル</td> <td>シリンダー箱錠 本締錠</td> <td>丁番(SUS)</td> <td>ドアクローザ、 あおり付き戸当り、 フランス落し(親子・両開き) 順位調整器(親子・両開き防火戸)</td> </tr> <tr> <td>内部：開き戸</td> <td>レバーハンドル</td> <td>シリンダー箱錠 本締錠</td> <td>丁番(SUS) 縦棒付ピボットヒンジ フロアヒンジ</td> <td>ドアクローザ、戸当り、 フランス落し(親子・両開き) 順位調整器(※1)</td> </tr> <tr> <td>気密/遮音ドア</td> <td>グレモンハンドル レバーハンドル</td> <td>グレモン錠 シリンダー箱錠 本締錠</td> <td>丁番(SUS)</td> <td>ドアクローザ、戸当り、 フランス落し(親子・両開き) 順位調整器(※1) オートドアトムおよびマグネット 入りタイトゴム(レバーハンドルの場合)</td> </tr> <tr> <td>引戸</td> <td>引棒</td> <td>引戸用錠</td> <td>自閉式上吊り引戸装置</td> <td>戸当り</td> </tr> <tr> <td>壁埋込型 防火戸</td> <td>縦込引手 ケースハンドル</td> <td>-</td> <td>中心吊形オートヒンジ</td> <td>トッパ/ビス/ナット、戸袋保持金物、 中周金物(上下2段式)</td> </tr> <tr> <td>壁埋込型 防火折戸</td> <td>縦込引手 ケースハンドル</td> <td>-</td> <td>中心吊形オートヒンジ 折戸用オートヒンジ</td> <td>トッパ/ビス/ナット、戸袋保持金物、 折戸保持装置、 中周金物(上下2段式)</td> </tr> <tr> <td>点検口扉</td> <td>ケースハンドル 平面ハンドル</td> <td>本締錠 点検口錠</td> <td>軸吊りヒンジ 隠し丁番</td> <td>アームストッパーまたはワイヤ ストッパー、 ドアクローザ(法的に必要な場合)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※1 親子・両開きの防火戸、常時閉鎖式不燃扉の場合</p>					性能・開閉方式	把手	錠	支持金物	付属金物	外部：開き戸	レバーハンドル	シリンダー箱錠 本締錠	丁番(SUS)	ドアクローザ、 あおり付き戸当り、 フランス落し(親子・両開き) 順位調整器(親子・両開き防火戸)	内部：開き戸	レバーハンドル	シリンダー箱錠 本締錠	丁番(SUS) 縦棒付ピボットヒンジ フロアヒンジ	ドアクローザ、戸当り、 フランス落し(親子・両開き) 順位調整器(※1)	気密/遮音ドア	グレモンハンドル レバーハンドル	グレモン錠 シリンダー箱錠 本締錠	丁番(SUS)	ドアクローザ、戸当り、 フランス落し(親子・両開き) 順位調整器(※1) オートドアトムおよびマグネット 入りタイトゴム(レバーハンドルの場合)	引戸	引棒	引戸用錠	自閉式上吊り引戸装置	戸当り	壁埋込型 防火戸	縦込引手 ケースハンドル	-	中心吊形オートヒンジ	トッパ/ビス/ナット、戸袋保持金物、 中周金物(上下2段式)	壁埋込型 防火折戸	縦込引手 ケースハンドル	-	中心吊形オートヒンジ 折戸用オートヒンジ	トッパ/ビス/ナット、戸袋保持金物、 折戸保持装置、 中周金物(上下2段式)	点検口扉	ケースハンドル 平面ハンドル	本締錠 点検口錠	軸吊りヒンジ 隠し丁番	アームストッパーまたはワイヤ ストッパー、 ドアクローザ(法的に必要な場合)	<p>建具符号の表示方法</p> <p>建具の種類</p> <p>防火性能</p> <table border="1"> <tr> <th>特</th> <th>特S</th> <th>防</th> <th>防S</th> <th>防外</th> <th>不</th> <th>感知</th> </tr> <tr> <td>1号特定防火設備</td> <td>2号特定防火設備(遮煙)</td> <td>1号防火設備</td> <td>2号防火設備(遮煙)</td> <td>外壁開口部 防火設備</td> <td>常時閉鎖式不燃扉</td> <td>感知器連動随時閉鎖</td> </tr> <tr> <td>T</td> <td>AT</td> <td>SAT</td> <td>H</td> <td>D</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>遮音</td> <td>気密</td> <td>簡易気密</td> <td>断熱</td> <td>耐震</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>付加機能</p> <table border="1"> <tr> <td>AUT</td> <td>自動ドア</td> </tr> <tr> <td>OP</td> <td>排煙オペレーター付</td> </tr> <tr> <td>MG</td> <td>マグネットセンサー付</td> </tr> </table> <p>建具の種類 (材質は戸の材質を示す)</p> <table border="1"> <tr> <td>SD</td> <td>鋼製ドア</td> <td>SSD</td> <td>ステンレス製ドア</td> <td>AD</td> <td>アルミニウム製ドア</td> </tr> <tr> <td>SW</td> <td>鋼製窓</td> <td>SSW</td> <td>ステンレス製窓</td> <td>AW</td> <td>アルミニウム製窓</td> </tr> <tr> <td>SG</td> <td>鋼製がらり</td> <td>SSG</td> <td>ステンレス製がらり</td> <td>AG</td> <td>アルミニウム製がらり</td> </tr> <tr> <td>SF</td> <td>鋼製一方枠〜四方枠</td> <td>SSF</td> <td>ステンレス製一方枠〜四方枠</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ST</td> <td>鋼製点検口扉(片面7ヶ所)</td> <td>SST</td> <td>ステンレス製点検口扉(片面7ヶ所)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>LD</td> <td>鋼製軽量ドア</td> <td>WD</td> <td>木製ドア</td> <td>ACW</td> <td>アルミニウムカーテンウォール</td> </tr> <tr> <td>TD</td> <td>強化ガラスドア</td> <td>WW</td> <td>木製窓</td> <td>GCW</td> <td>ガラスカーテンウォール (特殊ガラス工法)</td> </tr> <tr> <td>SH</td> <td>鋼製重量シャッター</td> <td>WF</td> <td>木製一方枠〜四方枠</td> <td>TP</td> <td>トップライト</td> </tr> <tr> <td>LSH</td> <td>軽量シャッター</td> <td>フ</td> <td>ふすま</td> <td>FSF</td> <td>固定防煙垂れ壁</td> </tr> <tr> <td>SSH</td> <td>ステンレス製シャッター</td> <td>シ</td> <td>障子</td> <td>MSF</td> <td>可動式防煙垂れ壁</td> </tr> <tr> <td>HSH</td> <td>シートシャッター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>GSH</td> <td>グリルシャッター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>OSH</td> <td>オーバーヘッドドア</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ガラスの種類 (複層ガラスなど組み合わせの場合は備考に記入)</p> <table border="1"> <tr> <td>FL</td> <td>フロート板ガラス</td> <td>TG</td> <td>強化ガラス</td> <td>PG</td> <td>複層ガラス</td> </tr> <tr> <td>SB</td> <td>すり板ガラス</td> <td>HS</td> <td>低強度ガラス</td> <td>LE</td> <td>遮熱・高断熱ガラス</td> </tr> <tr> <td>FG</td> <td>型板ガラス</td> <td>HG</td> <td>熱線吸収板ガラス</td> <td>LG</td> <td>合わせガラス</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>MG</td> <td>熱線反射ガラス</td> <td>TLG</td> <td>強化合わせガラス</td> </tr> <tr> <td>PWG</td> <td>網入板ガラス(クロス・菱形)</td> <td></td> <td></td> <td>LFG</td> <td>低膨張防火ガラス</td> </tr> <tr> <td>FWG</td> <td>網入型板ガラス</td> <td></td> <td></td> <td>HTG</td> <td>耐熱強化ガラス</td> </tr> <tr> <td>PLG</td> <td>線入板ガラス</td> <td>PBG</td> <td>鉛ガラス(カバーガラス付)</td> <td>FRG</td> <td>耐熱結晶化ガラス</td> </tr> <tr> <td>FLG</td> <td>線入型板ガラス</td> <td>GB</td> <td>ガラスブロック</td> <td>TSG</td> <td>耐火・遮熱積層ガラス</td> </tr> </table> <p>塗装の種類</p> <table border="1"> <tr> <td>2-FUE</td> <td>常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り</td> <td>B-FU</td> <td>ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り</td> <td>CL</td> <td>クリヤーラッカー塗り</td> </tr> <tr> <td>2-ASE</td> <td>アクリルシリコン樹脂エナメル塗り</td> <td>B-UE</td> <td>ポリウレタン樹脂焼付けエナメル塗り</td> <td>UC</td> <td>ウレタン樹脂ワニス塗り</td> </tr> <tr> <td>2-UE</td> <td>2液形ポリウレタン樹脂エナメル塗り</td> <td>B-AE</td> <td>アクリル樹脂焼付けエナメル塗り</td> <td>LE</td> <td>木部ラッカーエナメル塗り</td> </tr> <tr> <td>SOP</td> <td>合成樹脂溶剤ベント塗り</td> <td></td> <td></td> <td>OS</td> <td>オイルステイン塗り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>WP</td> <td>木材保護塗料塗り</td> </tr> </table> <p>その他</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>アルミニウム表面処理・仕上げ</th> <th>SUS仕上げ</th> </tr> <tr> <td>ST</td> <td>鋼</td> <td>無着色 無着色陽極酸化塗装複合皮膜 着色陽極酸化塗装複合皮膜</td> <td>HL</td> <td>ヘアライン</td> </tr> <tr> <td>AL</td> <td>アルミニウム</td> <td>無着色 焼付</td> <td>EH</td> <td>エッチング</td> </tr> <tr> <td>SUS</td> <td>ステンレス</td> <td></td> <td>MR</td> <td>鏡面</td> </tr> <tr> <td>W</td> <td>木</td> <td></td> <td>VR</td> <td>バイブレーション</td> </tr> <tr> <td>BR</td> <td>真鍮</td> <td></td> <td>BB</td> <td>ビーズブラスト</td> </tr> <tr> <td>DS</td> <td>化粧鋼板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>がらり形状</p> <table border="1"> <tr> <td>I型</td> <td>II型</td> <td>III型</td> </tr> <tr> <td>開口率約30%</td> <td>開口率約35%</td> <td>開口率約25%</td> </tr> </table> <p>水切り板形状</p> <table border="1"> <tr> <td>A (AL押出型材)</td> </tr> <tr> <td>(100)</td> </tr> <tr> <td>25</td> </tr> </table> <p>自動ドア (※以外、および機能付加するものは建具表による)</p> <table border="1"> <tr> <th>起動装置</th> <th>センサー位置と補助センサー</th> <th>その他機能</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 光線式反射スイッチ タッチスイッチ 押し錠スイッチ 光電式フットスイッチ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 天井付センサー 無目付(露出)センサー 無目下側内蔵センサー 補助光電センサー </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 防振ゴムによる静音仕様 フラットガイドレール 引戸全周気密ゴム付き スリム枠(SUS)仕様 パニックオープン機構 壁(天井)付電源スイッチ(電気設備工事) </td> </tr> </table> <p>シャッター</p> <table border="1"> <tr> <th>その他機能</th> <th>ガラス用フィルム 性能</th> <th>防煙垂れ壁</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 省スペース型ボックス 2軸シャッター 袖扉連動 ポスト(ボール)レス フラットパネル式 高頻度型 高速型 高耐食SUS製 防塵 気密 遮音 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> a 日射調整(SC) b ガラス飛散防止(GS) c ガラス貫通防止(SF) d 目隠し e 耐爆風性能 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> G 固定式 繰り入りガラス GF 固定式 ガラスクロス+フレーム GT 固定式 ガラスクロス+ステンション 可 可R 可P </td> </tr> </table>					特	特S	防	防S	防外	不	感知	1号特定防火設備	2号特定防火設備(遮煙)	1号防火設備	2号防火設備(遮煙)	外壁開口部 防火設備	常時閉鎖式不燃扉	感知器連動随時閉鎖	T	AT	SAT	H	D			遮音	気密	簡易気密	断熱	耐震			AUT	自動ドア	OP	排煙オペレーター付	MG	マグネットセンサー付	SD	鋼製ドア	SSD	ステンレス製ドア	AD	アルミニウム製ドア	SW	鋼製窓	SSW	ステンレス製窓	AW	アルミニウム製窓	SG	鋼製がらり	SSG	ステンレス製がらり	AG	アルミニウム製がらり	SF	鋼製一方枠〜四方枠	SSF	ステンレス製一方枠〜四方枠			ST	鋼製点検口扉(片面7ヶ所)	SST	ステンレス製点検口扉(片面7ヶ所)			LD	鋼製軽量ドア	WD	木製ドア	ACW	アルミニウムカーテンウォール	TD	強化ガラスドア	WW	木製窓	GCW	ガラスカーテンウォール (特殊ガラス工法)	SH	鋼製重量シャッター	WF	木製一方枠〜四方枠	TP	トップライト	LSH	軽量シャッター	フ	ふすま	FSF	固定防煙垂れ壁	SSH	ステンレス製シャッター	シ	障子	MSF	可動式防煙垂れ壁	HSH	シートシャッター					GSH	グリルシャッター					OSH	オーバーヘッドドア					FL	フロート板ガラス	TG	強化ガラス	PG	複層ガラス	SB	すり板ガラス	HS	低強度ガラス	LE	遮熱・高断熱ガラス	FG	型板ガラス	HG	熱線吸収板ガラス	LG	合わせガラス			MG	熱線反射ガラス	TLG	強化合わせガラス	PWG	網入板ガラス(クロス・菱形)			LFG	低膨張防火ガラス	FWG	網入型板ガラス			HTG	耐熱強化ガラス	PLG	線入板ガラス	PBG	鉛ガラス(カバーガラス付)	FRG	耐熱結晶化ガラス	FLG	線入型板ガラス	GB	ガラスブロック	TSG	耐火・遮熱積層ガラス	2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	B-FU	ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り	CL	クリヤーラッカー塗り	2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	B-UE	ポリウレタン樹脂焼付けエナメル塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	2-UE	2液形ポリウレタン樹脂エナメル塗り	B-AE	アクリル樹脂焼付けエナメル塗り	LE	木部ラッカーエナメル塗り	SOP	合成樹脂溶剤ベント塗り			OS	オイルステイン塗り					WP	木材保護塗料塗り	材 質	アルミニウム表面処理・仕上げ	SUS仕上げ	ST	鋼	無着色 無着色陽極酸化塗装複合皮膜 着色陽極酸化塗装複合皮膜	HL	ヘアライン	AL	アルミニウム	無着色 焼付	EH	エッチング	SUS	ステンレス		MR	鏡面	W	木		VR	バイブレーション	BR	真鍮		BB	ビーズブラスト	DS	化粧鋼板				I型	II型	III型	開口率約30%	開口率約35%	開口率約25%	A (AL押出型材)	(100)	25	起動装置	センサー位置と補助センサー	その他機能	<ul style="list-style-type: none"> 光線式反射スイッチ タッチスイッチ 押し錠スイッチ 光電式フットスイッチ 	<ul style="list-style-type: none"> 天井付センサー 無目付(露出)センサー 無目下側内蔵センサー 補助光電センサー 	<ul style="list-style-type: none"> 防振ゴムによる静音仕様 フラットガイドレール 引戸全周気密ゴム付き スリム枠(SUS)仕様 パニックオープン機構 壁(天井)付電源スイッチ(電気設備工事) 	その他機能	ガラス用フィルム 性能	防煙垂れ壁	<ul style="list-style-type: none"> 省スペース型ボックス 2軸シャッター 袖扉連動 ポスト(ボール)レス フラットパネル式 高頻度型 高速型 高耐食SUS製 防塵 気密 遮音 	<ul style="list-style-type: none"> a 日射調整(SC) b ガラス飛散防止(GS) c ガラス貫通防止(SF) d 目隠し e 耐爆風性能 	<ul style="list-style-type: none"> G 固定式 繰り入りガラス GF 固定式 ガラスクロス+フレーム GT 固定式 ガラスクロス+ステンション 可 可R 可P 	<p>ドア枠、一方枠〜四方枠の形状と寸法 (特記なき限り下記寸法を原則とする。)(D:ドア厚)</p> <table border="1"> <tr> <th>普通枠</th> <th>引戸枠</th> <th>一方枠</th> <th>四方枠</th> </tr> <tr> <td>A, B, C, D</td> <td>E, F</td> <td>G</td> <td></td> </tr> </table> <p>遮音・気密ドア枠取り合い形状</p> <table border="1"> <tr> <td>T(遮音)</td> <td>AT(気密)</td> <td>SAT(簡易気密)</td> <td>外部一般SD/LD</td> <td>内部一般SD</td> <td>防火戸</td> </tr> <tr> <td colspan="6">T, A, SATを採用の場合、ドア枠の形状と寸法に示している「D(ドア厚)+5」は、メーカー指定の寸法とする。</td> </tr> </table> <p>くつずりの形式</p> <table border="1"> <tr> <td>A(なし)</td> <td>B(目地橋)</td> <td>B1(曲げ)</td> <td>B2(曲げ+遮煙ゴム付)</td> <td>B3(曲げ+床段差)</td> <td>C1(オートドアトム)</td> <td>C2(気密ゴム付)</td> <td>C3(気密ゴム+床段差)</td> <td>D1(外部)</td> <td>D2(外部2段)</td> <td>E(外部自動ドア)</td> </tr> </table> <p>把手の形式</p> <table border="1"> <tr> <td>h</td> <td>レバー</td> <td>レバーハンドル</td> <td>k</td> <td>シ</td> <td>錠</td> <td>K</td> <td>シリンダー箱錠</td> <td>T</td> <td>丁番</td> </tr> <tr> <td>i</td> <td>握把</td> <td>ケースハンドル</td> <td>■</td> <td>非</td> <td>錠(非常開装置付)</td> <td>D</td> <td>本締り錠</td> <td>U</td> <td>裏丁番</td> </tr> <tr> <td>j</td> <td>楕円</td> <td>楕円引手</td> <td>o</td> <td>サ</td> <td>サムターン</td> <td>P</td> <td>空錠</td> <td>P</td> <td>ピボットヒンジ</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>グレ</td> <td>グレモンハンドル</td> <td>o</td> <td>サ非</td> <td>サムターン(非常開カー付)</td> <td>G</td> <td>グレモン錠</td> <td>N</td> <td>オートヒンジ(防火戸用)</td> </tr> <tr> <td>h</td> <td>着脱</td> <td>着脱式グレモンハンドル</td> <td>■</td> <td>表示</td> <td>表示錠</td> <td>C</td> <td>ケースハンドル錠</td> <td>C</td> <td>ドアクローザ(隠蔽型)</td> </tr> <tr> <td>γ</td> <td>平面</td> <td>平面ハンドル</td> <td>o</td> <td>サ大</td> <td>大型サムターン</td> <td>T</td> <td>点検口錠</td> <td>D</td> <td>ドアクローザ(露出型)</td> </tr> <tr> <td>ll</td> <td>引棒</td> <td>引棒</td> <td>■</td> <td>空</td> <td>空錠</td> <td>S</td> <td>引戸用錠</td> <td>F</td> <td>フロアヒンジ</td> </tr> <tr> <td>ll</td> <td>押引</td> <td>押板 / 引手</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H</td> <td>ホテルロック</td> <td>H</td> <td>自閉式上吊り引戸装置</td> </tr> <tr> <td>ll</td> <td>握玉</td> <td>握玉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Y</td> <td>誘導灯開口</td> </tr> </table> <p>(機能付加)</p> <table border="1"> <tr> <td>EL</td> <td>電気錠</td> </tr> <tr> <td>CR</td> <td>カードリーダー・電気錠</td> </tr> <tr> <td>SS</td> <td>スイッチストライク</td> </tr> <tr> <td>SL</td> <td>自動錠</td> </tr> </table>					普通枠	引戸枠	一方枠	四方枠	A, B, C, D	E, F	G		T(遮音)	AT(気密)	SAT(簡易気密)	外部一般SD/LD	内部一般SD	防火戸	T, A, SATを採用の場合、ドア枠の形状と寸法に示している「D(ドア厚)+5」は、メーカー指定の寸法とする。						A(なし)	B(目地橋)	B1(曲げ)	B2(曲げ+遮煙ゴム付)	B3(曲げ+床段差)	C1(オートドアトム)	C2(気密ゴム付)	C3(気密ゴム+床段差)	D1(外部)	D2(外部2段)	E(外部自動ドア)	h	レバー	レバーハンドル	k	シ	錠	K	シリンダー箱錠	T	丁番	i	握把	ケースハンドル	■	非	錠(非常開装置付)	D	本締り錠	U	裏丁番	j	楕円	楕円引手	o	サ	サムターン	P	空錠	P	ピボットヒンジ	■	グレ	グレモンハンドル	o	サ非	サムターン(非常開カー付)	G	グレモン錠	N	オートヒンジ(防火戸用)	h	着脱	着脱式グレモンハンドル	■	表示	表示錠	C	ケースハンドル錠	C	ドアクローザ(隠蔽型)	γ	平面	平面ハンドル	o	サ大	大型サムターン	T	点検口錠	D	ドアクローザ(露出型)	ll	引棒	引棒	■	空	空錠	S	引戸用錠	F	フロアヒンジ	ll	押引	押板 / 引手				H	ホテルロック	H	自閉式上吊り引戸装置	ll	握玉	握玉						Y	誘導灯開口	EL	電気錠	CR	カードリーダー・電気錠	SS	スイッチストライク	SL	自動錠
性能・開閉方式	把手	錠	支持金物	付属金物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
外部：開き戸	レバーハンドル	シリンダー箱錠 本締錠	丁番(SUS)	ドアクローザ、 あおり付き戸当り、 フランス落し(親子・両開き) 順位調整器(親子・両開き防火戸)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
内部：開き戸	レバーハンドル	シリンダー箱錠 本締錠	丁番(SUS) 縦棒付ピボットヒンジ フロアヒンジ	ドアクローザ、戸当り、 フランス落し(親子・両開き) 順位調整器(※1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
気密/遮音ドア	グレモンハンドル レバーハンドル	グレモン錠 シリンダー箱錠 本締錠	丁番(SUS)	ドアクローザ、戸当り、 フランス落し(親子・両開き) 順位調整器(※1) オートドアトムおよびマグネット 入りタイトゴム(レバーハンドルの場合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
引戸	引棒	引戸用錠	自閉式上吊り引戸装置	戸当り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
壁埋込型 防火戸	縦込引手 ケースハンドル	-	中心吊形オートヒンジ	トッパ/ビス/ナット、戸袋保持金物、 中周金物(上下2段式)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
壁埋込型 防火折戸	縦込引手 ケースハンドル	-	中心吊形オートヒンジ 折戸用オートヒンジ	トッパ/ビス/ナット、戸袋保持金物、 折戸保持装置、 中周金物(上下2段式)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
点検口扉	ケースハンドル 平面ハンドル	本締錠 点検口錠	軸吊りヒンジ 隠し丁番	アームストッパーまたはワイヤ ストッパー、 ドアクローザ(法的に必要な場合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
特	特S	防	防S	防外	不	感知																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1号特定防火設備	2号特定防火設備(遮煙)	1号防火設備	2号防火設備(遮煙)	外壁開口部 防火設備	常時閉鎖式不燃扉	感知器連動随時閉鎖																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
T	AT	SAT	H	D																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
遮音	気密	簡易気密	断熱	耐震																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
AUT	自動ドア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
OP	排煙オペレーター付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
MG	マグネットセンサー付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
SD	鋼製ドア	SSD	ステンレス製ドア	AD	アルミニウム製ドア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
SW	鋼製窓	SSW	ステンレス製窓	AW	アルミニウム製窓																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
SG	鋼製がらり	SSG	ステンレス製がらり	AG	アルミニウム製がらり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
SF	鋼製一方枠〜四方枠	SSF	ステンレス製一方枠〜四方枠																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ST	鋼製点検口扉(片面7ヶ所)	SST	ステンレス製点検口扉(片面7ヶ所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
LD	鋼製軽量ドア	WD	木製ドア	ACW	アルミニウムカーテンウォール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
TD	強化ガラスドア	WW	木製窓	GCW	ガラスカーテンウォール (特殊ガラス工法)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
SH	鋼製重量シャッター	WF	木製一方枠〜四方枠	TP	トップライト																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
LSH	軽量シャッター	フ	ふすま	FSF	固定防煙垂れ壁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
SSH	ステンレス製シャッター	シ	障子	MSF	可動式防煙垂れ壁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
HSH	シートシャッター																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
GSH	グリルシャッター																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
OSH	オーバーヘッドドア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
FL	フロート板ガラス	TG	強化ガラス	PG	複層ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
SB	すり板ガラス	HS	低強度ガラス	LE	遮熱・高断熱ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
FG	型板ガラス	HG	熱線吸収板ガラス	LG	合わせガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		MG	熱線反射ガラス	TLG	強化合わせガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
PWG	網入板ガラス(クロス・菱形)			LFG	低膨張防火ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
FWG	網入型板ガラス			HTG	耐熱強化ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
PLG	線入板ガラス	PBG	鉛ガラス(カバーガラス付)	FRG	耐熱結晶化ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
FLG	線入型板ガラス	GB	ガラスブロック	TSG	耐火・遮熱積層ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	B-FU	ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り	CL	クリヤーラッカー塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	B-UE	ポリウレタン樹脂焼付けエナメル塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2-UE	2液形ポリウレタン樹脂エナメル塗り	B-AE	アクリル樹脂焼付けエナメル塗り	LE	木部ラッカーエナメル塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
SOP	合成樹脂溶剤ベント塗り			OS	オイルステイン塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
				WP	木材保護塗料塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材 質	アルミニウム表面処理・仕上げ	SUS仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ST	鋼	無着色 無着色陽極酸化塗装複合皮膜 着色陽極酸化塗装複合皮膜	HL	ヘアライン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
AL	アルミニウム	無着色 焼付	EH	エッチング																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
SUS	ステンレス		MR	鏡面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
W	木		VR	バイブレーション																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
BR	真鍮		BB	ビーズブラスト																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
DS	化粧鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
I型	II型	III型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
開口率約30%	開口率約35%	開口率約25%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
A (AL押出型材)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
(100)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
起動装置	センサー位置と補助センサー	その他機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
<ul style="list-style-type: none"> 光線式反射スイッチ タッチスイッチ 押し錠スイッチ 光電式フットスイッチ 	<ul style="list-style-type: none"> 天井付センサー 無目付(露出)センサー 無目下側内蔵センサー 補助光電センサー 	<ul style="list-style-type: none"> 防振ゴムによる静音仕様 フラットガイドレール 引戸全周気密ゴム付き スリム枠(SUS)仕様 パニックオープン機構 壁(天井)付電源スイッチ(電気設備工事) 																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他機能	ガラス用フィルム 性能	防煙垂れ壁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
<ul style="list-style-type: none"> 省スペース型ボックス 2軸シャッター 袖扉連動 ポスト(ボール)レス フラットパネル式 高頻度型 高速型 高耐食SUS製 防塵 気密 遮音 	<ul style="list-style-type: none"> a 日射調整(SC) b ガラス飛散防止(GS) c ガラス貫通防止(SF) d 目隠し e 耐爆風性能 	<ul style="list-style-type: none"> G 固定式 繰り入りガラス GF 固定式 ガラスクロス+フレーム GT 固定式 ガラスクロス+ステンション 可 可R 可P 																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
普通枠	引戸枠	一方枠	四方枠																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
A, B, C, D	E, F	G																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
T(遮音)	AT(気密)	SAT(簡易気密)	外部一般SD/LD	内部一般SD	防火戸																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
T, A, SATを採用の場合、ドア枠の形状と寸法に示している「D(ドア厚)+5」は、メーカー指定の寸法とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
A(なし)	B(目地橋)	B1(曲げ)	B2(曲げ+遮煙ゴム付)	B3(曲げ+床段差)	C1(オートドアトム)	C2(気密ゴム付)	C3(気密ゴム+床段差)	D1(外部)	D2(外部2段)	E(外部自動ドア)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
h	レバー	レバーハンドル	k	シ	錠	K	シリンダー箱錠	T	丁番																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
i	握把	ケースハンドル	■	非	錠(非常開装置付)	D	本締り錠	U	裏丁番																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
j	楕円	楕円引手	o	サ	サムターン	P	空錠	P	ピボットヒンジ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
■	グレ	グレモンハンドル	o	サ非	サムターン(非常開カー付)	G	グレモン錠	N	オートヒンジ(防火戸用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
h	着脱	着脱式グレモンハンドル	■	表示	表示錠	C	ケースハンドル錠	C	ドアクローザ(隠蔽型)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
γ	平面	平面ハンドル	o	サ大	大型サムターン	T	点検口錠	D	ドアクローザ(露出型)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
ll	引棒	引棒	■	空	空錠	S	引戸用錠	F	フロアヒンジ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
ll	押引	押板 / 引手				H	ホテルロック	H	自閉式上吊り引戸装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
ll	握玉	握玉						Y	誘導灯開口																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
EL	電気錠																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
CR	カードリーダー・電気錠																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
SS	スイッチストライク																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
SL	自動錠																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<p>2. アルミニウム製建具共通事項</p> <p>1) 窓枠の形状は建具表および建具詳細図による。</p> <p>2) 窓の隠蔽・露出の仕様は特記なき限りステール製とし、断熱材裏打ちとする。</p> <p>3) 水切り板は特記なき限りアルミニウム既製押出型材とする。</p> <p>4) 水切り板は壁面汚れ防止のため、アルミニウム材で先端まで両端を立ち上げる。</p> <p>5) 排煙窓の操作ワイヤー等は、枠内隠蔽式とする。</p> <p>6) 突出部等、危険部位についてはプラスチックカバーをつけること。</p>					<p>3) レバーハンドルは、特記なき限りSUS HLとする。</p> <p>4) バックセットは握り至100mm程度、レバーハンドル75mm程度とする。</p> <p>5) 引手の長さは、特記による。特記なき場合はL=600程度(SUS)とする。</p> <p>6) シリンダー箱錠は原則、室内側：サムターン、廊下側：シリンダー錠とする。</p> <p>7) 特記なき限り、親子・両開き戸はフランス落し付きとする。</p> <p>8) 特記なき限り、防火戸及び不燃扉の親子・両開き戸は閉鎖順位調整器付き(枠埋込形)とする。</p> <p>9) 特記なき限り、防火戸及び不燃扉の親子・両開き戸は、2枚ともドアクローザ付とする。</p> <p>10) 特記なき限り、防火戸及び不燃扉の戸は、ストッパーなしとする。</p> <p>それ以外のドアクローザは、全員の調整により、ストッパー有無の切り替え可能なものとする。</p> <p>11) 電気錠の場合、1次側のカードリーダー・及び配線工事は電気工事、2次側の電気錠、スイッチストライク、通電金物の取付調整、切欠き工事は建築工事とする。</p> <p>12) マスターキーシステムは特記による。</p> <p>13) 内部へ人の進入が可能な点検口は、内部から解放可能な構造とする。</p> <p>14) ドアでレバーハンドルの指定がある場合、マグネット入りタイトゴムとし、くつずりはC1とする。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>3. 鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具共通事項</p> <p>1) ドア枠の形状は、特記なき限りAとする。</p> <p>2) 特記なき限り、くつずりはSUS304 HLとする。</p> <p>3) 鋼製建具は、ドア厚≧40mmとし、鋼製軽量建具は、ドア厚≧35mmとする。</p> <p>4) ドアはドア厚≧45mmとし、特記なき限りロックウール(80kg/m³)を充填し、枠にはモルタルを隙なく充填する。性能は16章建具工事特記仕様書による。</p> <p>5) ドアは、特記なき限り廊下に向する場合は、遮音性能JIS等級T-2程度とし、居室に向する場合はT-3程度とする。</p> <p>6) 内部ATドアは、特記なき限り気密性能JIS等級A-4程度とする。</p> <p>7) T・AT・SATドアはフラッシュ戸とし、枠の四周には曲げ加工による溝を設け、クロロブレンゴム等の気密材は両面をつける。</p> <p>8) 外部に向するドアは、ドア性能SAT以上とする。</p> <p>9) 外部鋼製建具のドア枠は特記なき限りSUSとする。</p> <p>10) 外部鋼製建具の塗装仕様は特記なき限り2-ASEとする(枠・戸共)。</p> <p>11) 厨房、浴室、プール等の水がかり部の鋼製建具ドア枠および一方枠等は特記なき限りSUS HLとする。</p> <p>12) 上部に庇のない外部ドアは、上枠に水切金物(SUS304、t=1.5 出寸法30mm程度)を取り付ける。</p> <p>13) 扉面材の下端小口のスチールプレートは糸面取りをする。</p> <p>14) 鋼製軽量建具の小口包みは表面材を曲げこむ。</p> <p>15) フロアヒンジの設置は深さ70から80mm程度以上の矢張りが必要となる。RC-SRC造でフロアヒンジが梁上に設置される場合には梁を下げる。対応については監理者及び構造設計者と協議のこと。</p> <p>16) 付室の防火戸には、消防ホース通過孔用の小扉を設ける。</p> <p>17) 内部鋼製建具の塗装仕様は特記なき限り2-Uとする(枠・戸共)。</p>					<p>6. 自動ドア開閉装置、自閉式上吊り引戸装置共通事項</p> <p>1) 自動ドアには、天井付光線式反射スイッチを付け、天井及び庇のない箇所は無目取り付タイプを標準とする。(タッチスイッチなど高操作方式を使用する場合、自動検出方式のセンサーを併用する。)</p> <p>2) 防火設備、特定防火設備となる自動ドアは特記なき限り全て非常時閉鎖機構(パニッククロス仕様)とする。</p> <p>3) 戸袋付以外の自動ドアには安全柵を設ける。</p> <p>4) 挟まれ防止、衝突防止等の安全対策は、JIS-A4722(歩行者用自動ドアセット-安全性)および自動ドア安全ガイドライン(JADA全国自動ドア協会)による。</p> <p>5) 特記なき限り、本頁の建具符号と図面表示の自動ドアにある※を適用する。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>4. 木製建具共通事項</p> <p>1) 襖及び障子の敷居は敷居すべり付とする。</p> <p>2) 襖の仕上は薪鳥の子とし、枠は木枠にカシュー樹脂塗料塗りとする。</p>					<p>7. シャッター関係共通事項</p> <p>1) ガイドレールには底板をつけ、材質はSUS304HLとする。</p> <p>2) シャッターのステンレス部材はSUS304HLとする。</p> <p>3) スイッチボックスは特記なき限り埋込型とする。</p> <p>4) 特記なき限り、電動機構とする。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>5. 建具用金物共通事項</p> <p>1) アルミニウム製建具の建具金物は下記を取り付け、そのほかはメーカーの仕様による。また下記以外に機能付加する場合は、建具表および建具詳細図による。</p> <table border="1"> <tr> <th>開閉方式</th> <th>支持金物</th> <th>錠</th> <th>その他部品</th> </tr> <tr> <td>引違い窓</td> <td>戸車およびレール</td> <td>レバーハンドル型クレセント</td> <td>引手、進入口は進入口用部品</td> </tr> <tr> <td>片引き窓</td> <td>戸車およびレール</td> <td>レバーハンドル型クレセント またはハンドル</td> <td>引手、進入口は進入口用部品、 ストッパー</td> </tr> <tr> <td>片開き窓</td> <td>丁番またはフリクションステー</td> <td>ハンドル</td> <td>開き調整器、開放制限ストッパー、 進入口は内外ハンドル</td> </tr> <tr> <td>回転窓</td> <td>横軸または縦軸</td> <td>トップラッチ またはハンドル</td> <td>フック棒、開き調整器、 進入口は内外ハンドル</td> </tr> <tr> <td>突出し窓 外倒し窓 内倒し窓 すべり出し窓</td> <td>丁番またはフリクションステー またはアーム</td> <td>トップラッチ またはハンドル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高所・排煙用突出し窓 高所・排煙用外倒し窓</td> <td>丁番</td> <td></td> <td>ダンパー、消車、ワイヤー、 ハンドルボックス</td> </tr> </table>					開閉方式	支持金物	錠	その他部品	引違い窓	戸車およびレール	レバーハンドル型クレセント	引手、進入口は進入口用部品	片引き窓	戸車およびレール	レバーハンドル型クレセント またはハンドル	引手、進入口は進入口用部品、 ストッパー	片開き窓	丁番またはフリクションステー	ハンドル	開き調整器、開放制限ストッパー、 進入口は内外ハンドル	回転窓	横軸または縦軸	トップラッチ またはハンドル	フック棒、開き調整器、 進入口は内外ハンドル	突出し窓 外倒し窓 内倒し窓 すべり出し窓	丁番またはフリクションステー またはアーム	トップラッチ またはハンドル		高所・排煙用突出し窓 高所・排煙用外倒し窓	丁番		ダンパー、消車、ワイヤー、 ハンドルボックス	<p>8. ガラス・がらり関係共通事項</p> <p>1) 網入りガラス、合わせガラスの小口処理は、特記仕様書16章14節ガラス工事による。</p> <p>2) 床面よりの窓・カーテンウォールのガラスは、SUSHL衝突防止マーク(◎600程度)付とする。</p> <p>3) がらりの形状は、外部用はI型、または縦型とし、内部用はII型、またはIII型とする。</p> <p>4) 特記なき限り、がらりは枠と同材質・同仕上、ドアがらりは扉と同材質・同仕上とする。</p> <p>5) 外部に向するがらりは室内側にSUS防鳥網(1.5mm、◎15mm)付、取外し可能とし、アルミニウム製木返しを取り付ける。</p> <p>6) 外部に向するがらりでダクト接続の場合は、チャンパー接続枠(D150mm以上、ZAM鋼板t1.6mm、断熱付、がらり本体と同仕上)を取り付ける。ただしがらりが防火設備の場合、ALt2.0mmをSUSt1.5mmに読み替える。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
開閉方式	支持金物	錠	その他部品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
引違い窓	戸車およびレール	レバーハンドル型クレセント	引手、進入口は進入口用部品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
片引き窓	戸車およびレール	レバーハンドル型クレセント またはハンドル	引手、進入口は進入口用部品、 ストッパー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
片開き窓	丁番またはフリクションステー	ハンドル	開き調整器、開放制限ストッパー、 進入口は内外ハンドル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
回転窓	横軸または縦軸	トップラッチ またはハンドル	フック棒、開き調整器、 進入口は内外ハンドル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
突出し窓 外倒し窓 内倒し窓 すべり出し窓	丁番またはフリクションステー またはアーム	トップラッチ またはハンドル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
高所・排煙用突出し窓 高所・排煙用外倒し窓	丁番		ダンパー、消車、ワイヤー、 ハンドルボックス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
<p>NIHON SEKKEI 株式会社 日本設計</p>					<p>特記</p> <table border="1"> <tr> <td>埼玉県浦和競馬組合</td> <td>課長</td> <td>副参事</td> <td>主幹</td> <td>主査</td> <td>担当</td> </tr> <tr> <td></td> <td>飛塚</td> <td>石井</td> <td>阿相</td> <td>矢島</td> <td>阿相</td> </tr> </table> <p>設計: 1級建築士登録第 322398号 平塚 智 設計: 1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑 設計: 1級建築士登録第 213138号 熊坂 寛</p> <p>浦和競馬場非常用発電機棟建築工事</p> <p>図面名称: 建具共通事項一覧表 縮尺: no-scale 図面番号: A-1401 区分: 建築図</p>					埼玉県浦和競馬組合	課長	副参事	主幹	主査	担当		飛塚	石井	阿相	矢島	阿相																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
埼玉県浦和競馬組合	課長	副参事	主幹	主査	担当																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	飛塚	石井	阿相	矢島	阿相																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											



■凡例

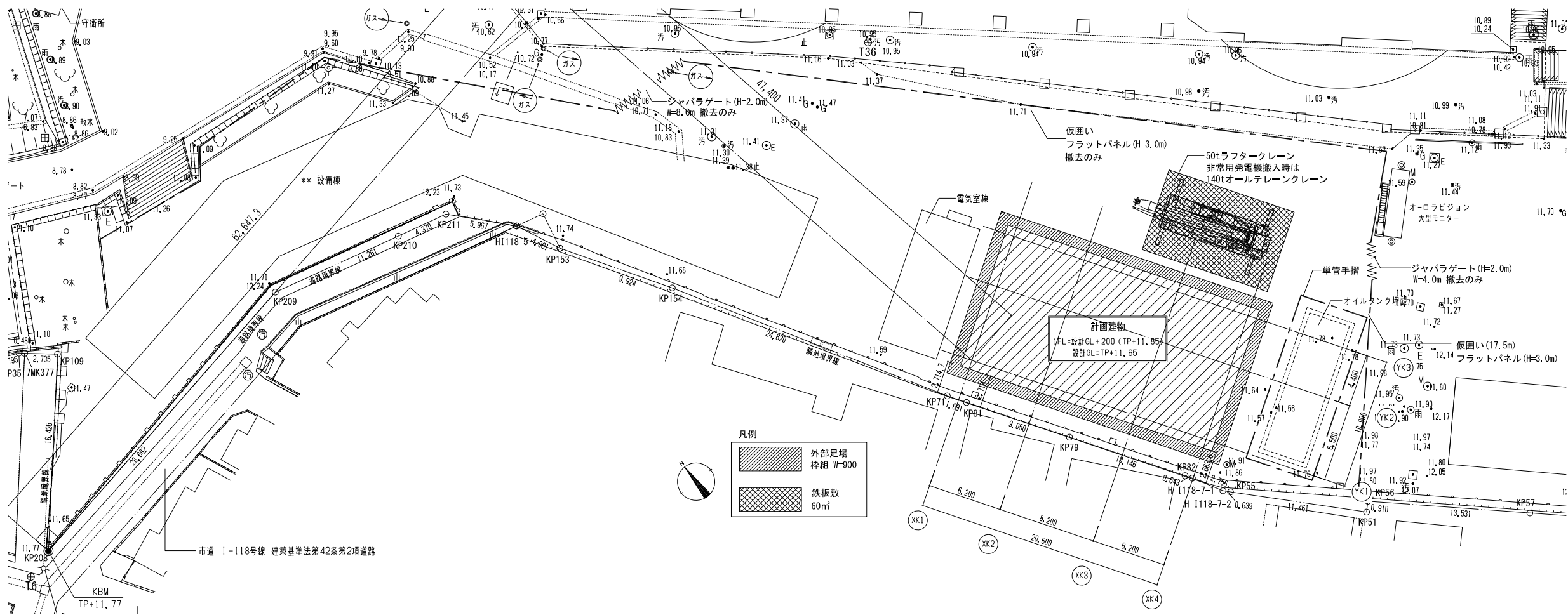
	防火区画(兼防煙区画)
	防火区画(兼防煙区画、随時閉鎖式扉等)
	防煙区画(間仕切壁)※1
	防煙区画(垂れ壁、または随時閉鎖式扉等)※1
	不燃区画 ※2
	延焼のおそれのある範囲
	避難経路(上:歩行距離、下:重複距離)
	外壁開口部用防火設備(網入りガラス等) (法第2条第9号の二ロ・法第64条)
	令第112条第19項第一号 特定防火設備(常時閉鎖式)
	令第112条第19項第一号 防火設備(常時閉鎖式)
	令第112条第19項第二号 特定防火設備(常時閉鎖式)
	令第112条第19項第二号 防火設備(常時閉鎖式)
	令第112条第19項第一号 特定防火設備(煙・熱感知の連動随時閉鎖式)
	令第112条第19項第一号 防火設備(煙・熱感知の連動随時閉鎖式)
	令第112条第19項第二号 特定防火設備(煙感知の連動随時閉鎖式)
	令第112条第19項第二号 防火設備(煙感知の連動随時閉鎖式)
	常時閉鎖式不燃扉
	随時閉鎖式煙感連動自閉式不燃扉
	自然排煙箇所
	機械排煙箇所
	排煙免除箇所 令126条の2第1項
	排煙免除箇所 H12告示1436号第四号口
	排煙免除箇所 H12告示1436号第四号ハ
	排煙免除箇所 H12告示1436号第四号(1)
	排煙免除箇所 H12告示1436号第四号(2)
	排煙免除箇所 H12告示1436号第四号(3)
	排煙免除箇所 H12告示1436号第四号(4)
	排煙免除箇所 H12告示1436号第四号ホ
	自然排煙口
	非常用出入口又は非常用進入口に代わる開口部
	廊下の幅員(mm)
	排煙オペレーター

階段の矢印
矢印は原則として
上り方向を示す。

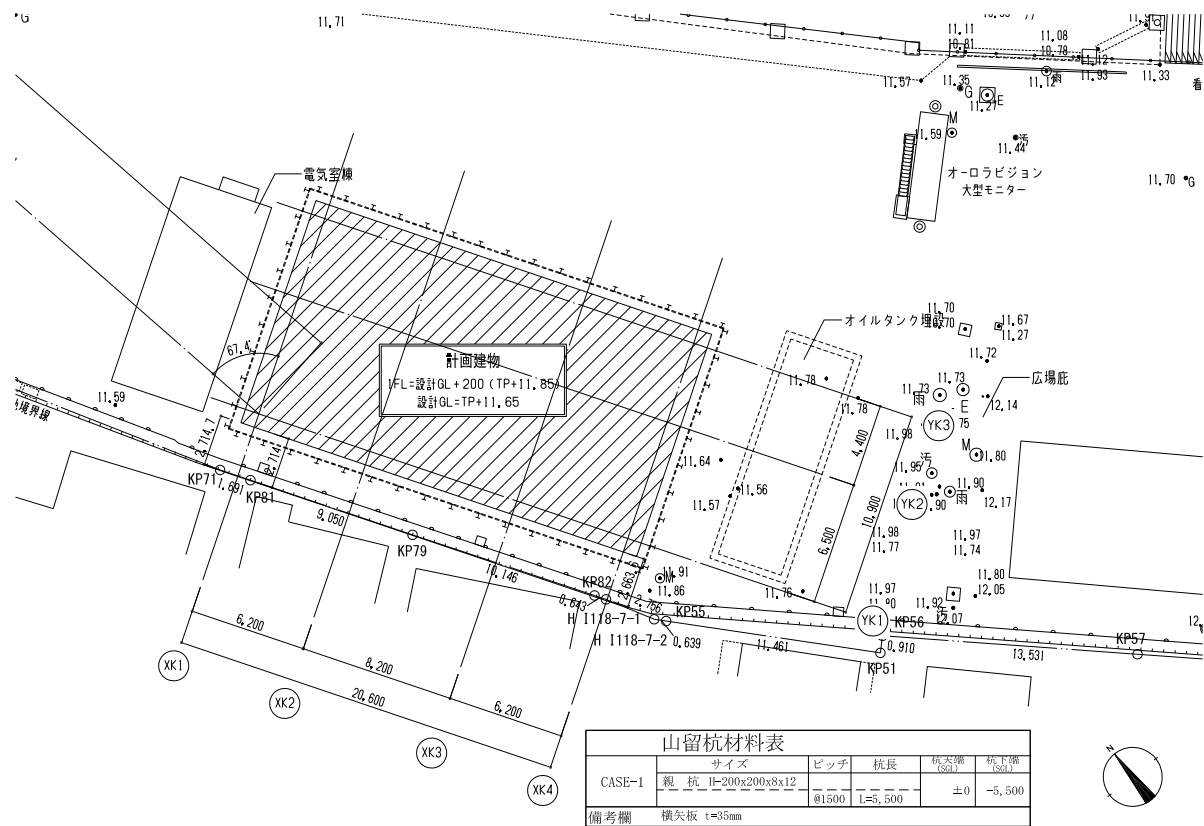
□ 共通事項

- ※1 防火区画にある開口部(建具含む)は、開口上部に防煙垂れ壁500mm以上、または300mm以上かつ常閉不燃扉を設置する。
- ※2 非常用発電機室:消防令第28号 機種の取付形態を有する一般取付に関する運用指針による。
・ポンプ室:屋内タンク貯蔵所の基準(火災令第12条)を準用。
・壁柱床及びはりを耐火構造として床壁天井を不燃材料で作し、出入口部・開口部は特定防火設備(常時閉鎖式)とし、換気及び排煙の設備にはFDを設置する。
- ※3 壁はスラブ間区画とする。
- ※4 特記なき限り、屋外への出口の解放はサムターンとする。
- ※5 スパンドレル部は、垂直方向の幅900mm以上、または水平方向の突出500mm以上を確保する。
- ※6 DS、PS、EPS等は、原則水平区画とする。ただし、壁穴区画のDSを除く。
- ※7 図内の面積値は、CAD実績による(AutoCAD)。
- ※8 屋内の避難階段について、階段室の屋外に面する壁に設ける開口部は、階段室以外の開口部から90cm以上離す。
- ※9 特記なき限り「常時閉鎖式不燃扉」とする。

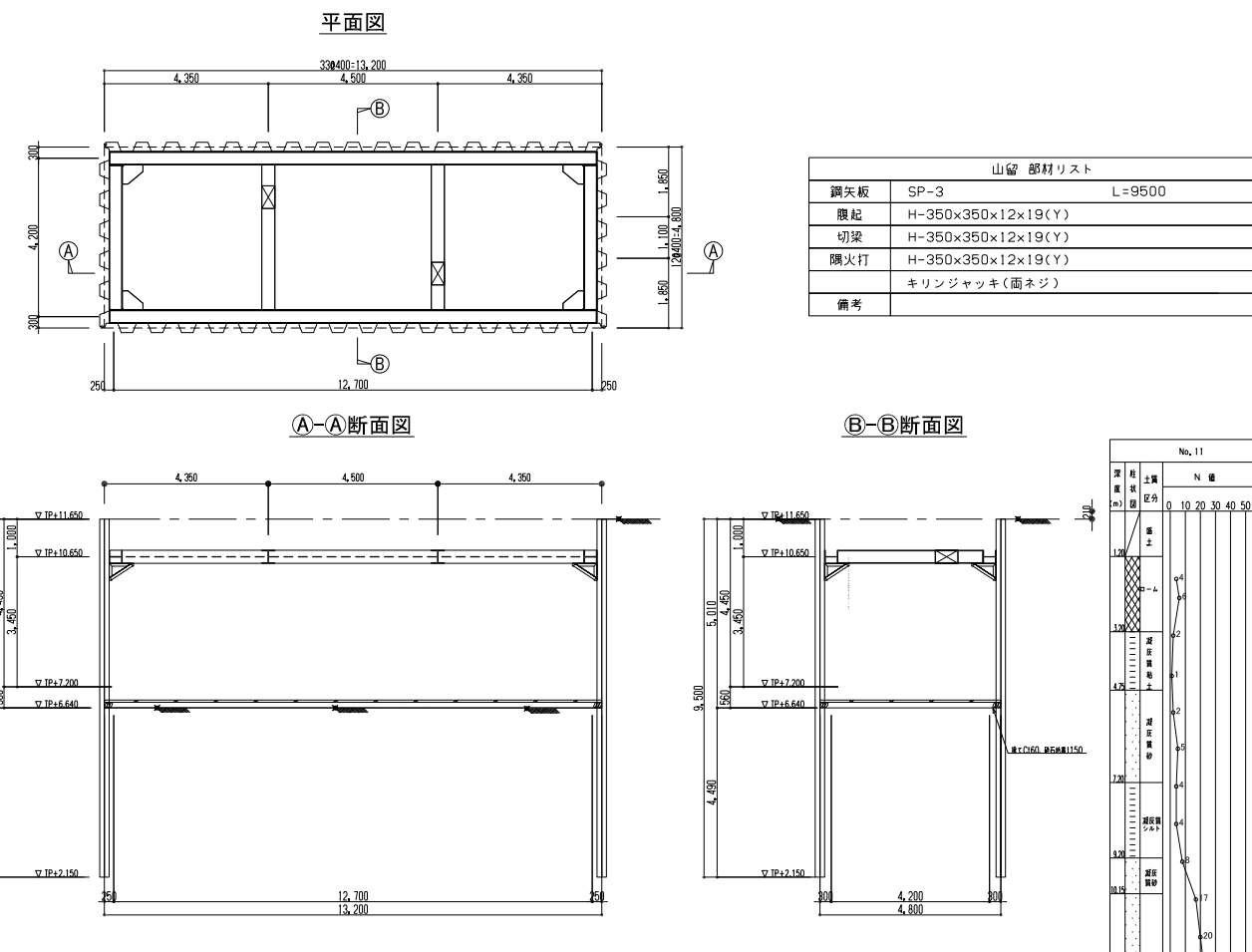
1階平面図
5-1/100



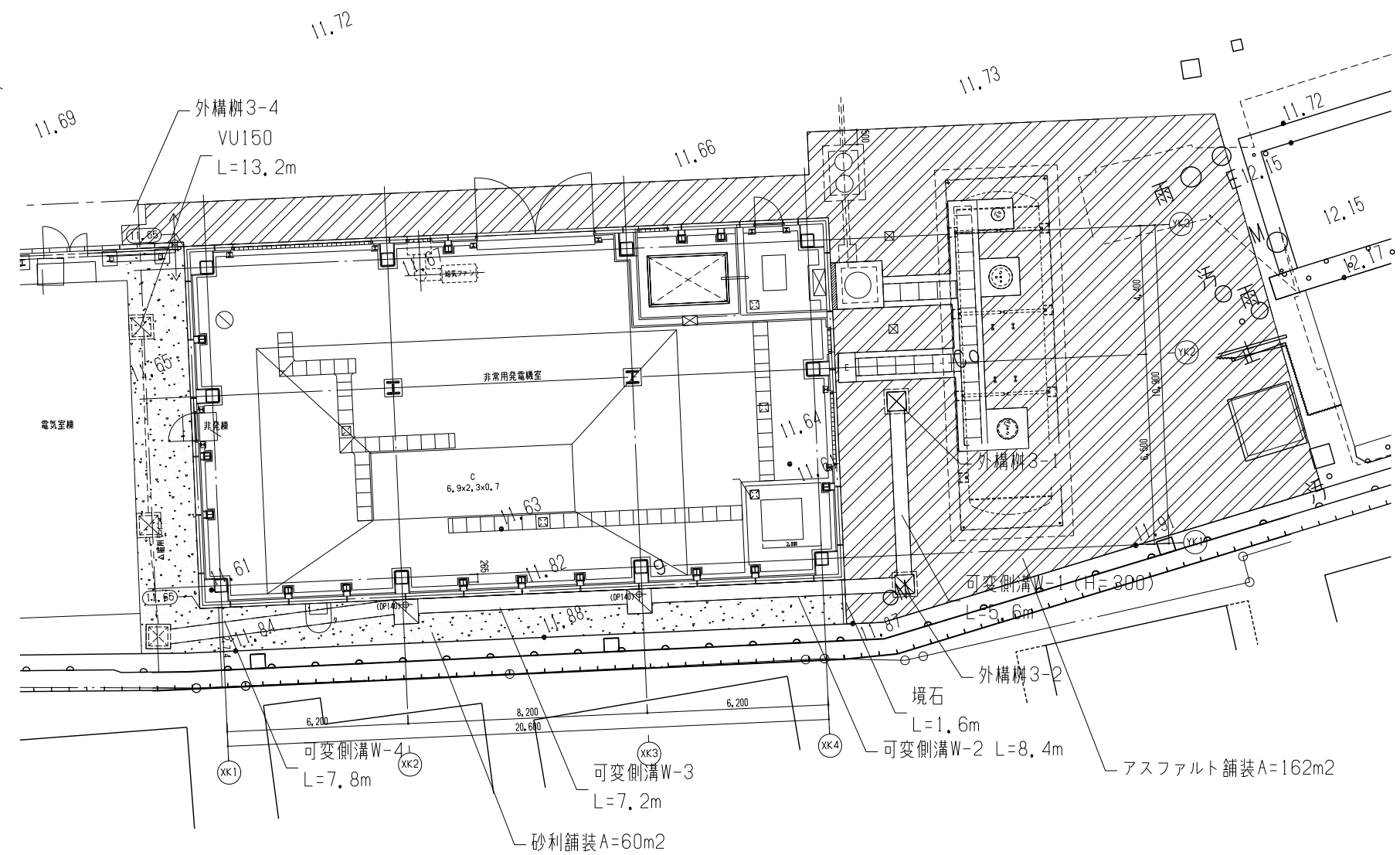
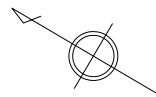
1 仮設計画図
A1:1/200, A3:1/400



2 山留計画図-1
A1:1/200, A3:1/400



3 山留計画図-2
A1:1/100, A3:1/200



凡例

- 砂利舗装
- アスファルト舗装

特記

埼玉県 浦和競馬組合	課長 飛塚	副参事 石井	主幹 阿相	主査 矢島	担当 阿相
---------------	----------	-----------	----------	----------	----------

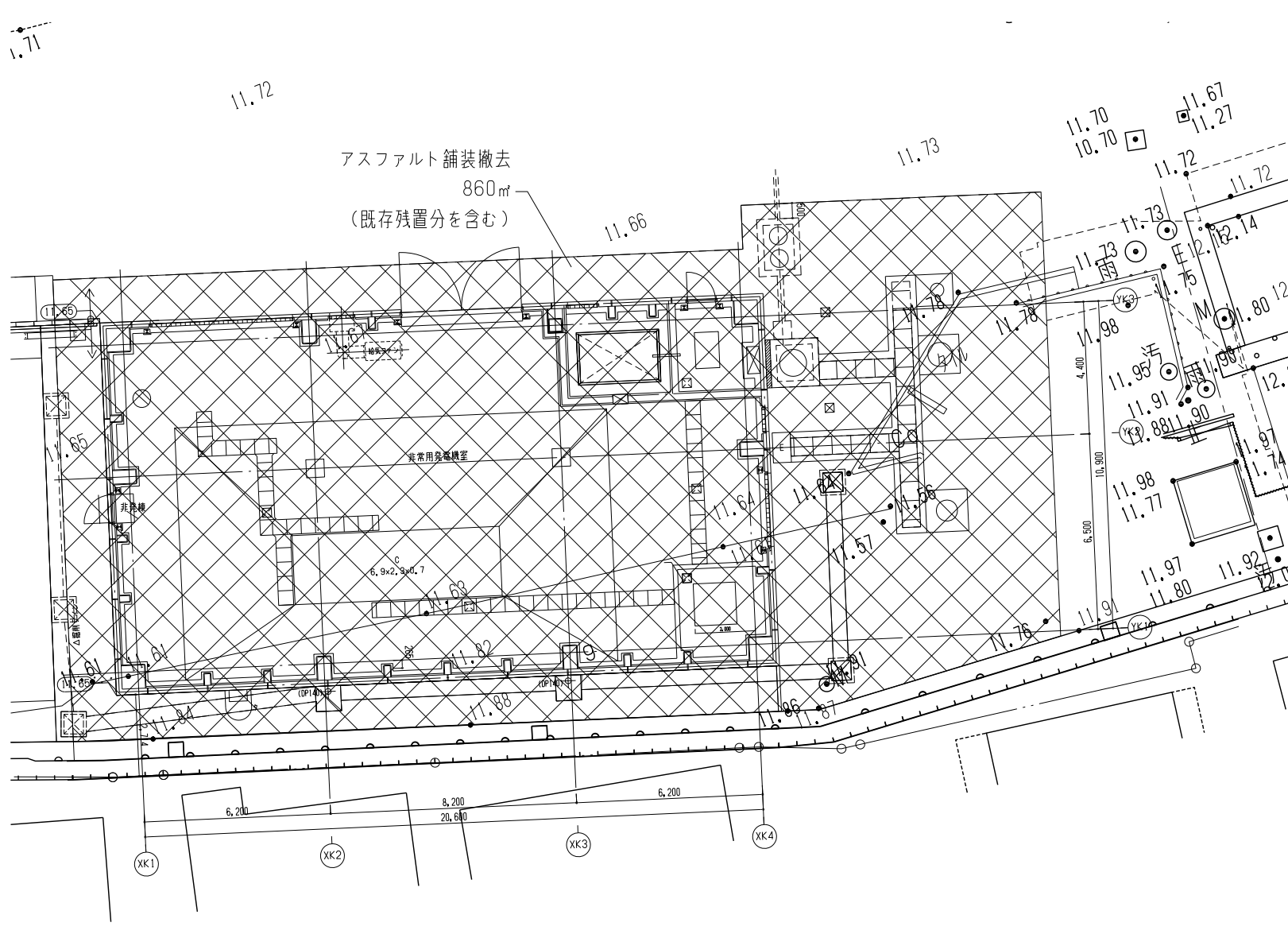
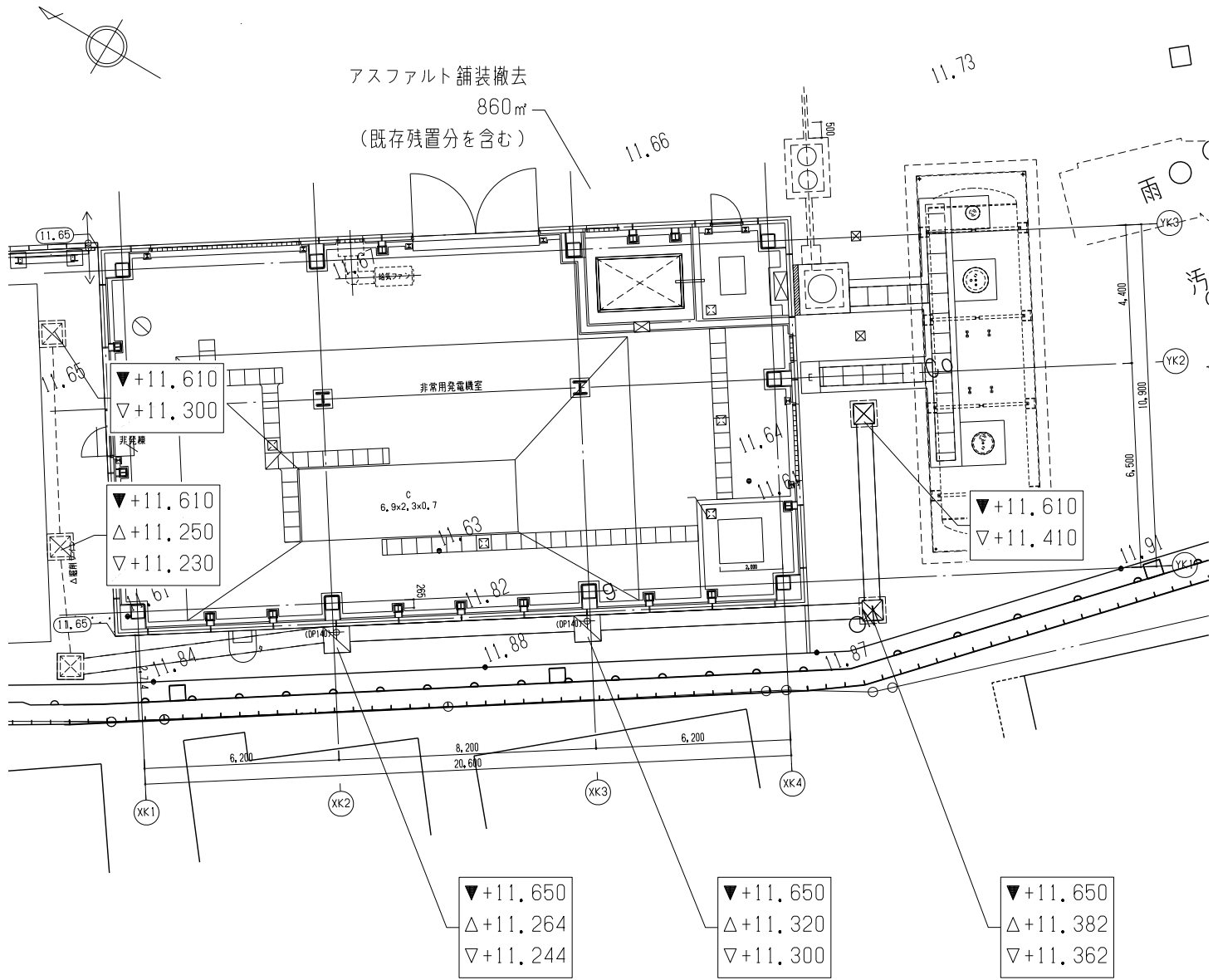
設計	1級建築士登録第 322398号 平塚 智
設計	1級建築士登録第 355122号 齋藤 昌佑
設計	1級建築士登録第 213138号 船坂 寛

浦和競馬場非常用発電機棟建築工事

図面名称	外構平面図
縮尺	A1:1/100, A3:1/200

図面番号	L-6101
区分	建築図

AH_非常用発電機棟(外構平面図).dwg



- 凡例
- +0.00: 計画高さ
 - +0.00: 現況高さ
 - 建築柵
 - ⊗ 外構柵
 - ▼ 計画高 △ 流入管底高 ▽ 流出管底高さ

1 計画高平面図
A1: 1/200, A3: 1/400

2 撤去図
A1: 1/200, A3: 1/400

- ※1 既存雨水柵、汚水柵は現地調査を実施の上撤去すること。
- ※2 杭打設時に、作業上支障がある枝葉は剪定を行う。
- ※3 状況より伐採、伐根が必要な場合、監督員と協議の上処理を行う。
- ※4 低木の干渉部分については伐採処分とする。

特記	埼玉県 浦和競馬組合	課長	副参事	主幹	主査	担当
	飛塚	石井	阿相	矢島	阿相	

設計	1級建築士登録第 322398号 平塚 賢
設計	1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑
設計	1級建築士登録第 213138号 熊坂 寛

図面名称	計画高平面図・撤去図
図面番号	L-6102
図示	図示
区分	建築図

